

平成 29 年度
事業報告書

(自) 平成 29 年 4 月 1 日

(至) 平成 30 年 3 月 31 日

社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会

目 次

総 括	1
会員の状況	2
法人運営の状況	3
地域福祉の部	13
包括支援の部	38
居宅介護の部	63
自立支援の部	81

【巻末】法人運営理念・サービス精神・職員心得

総 括

今年度は、社会福祉法が改正施行され、社会福祉法人の地域貢献が法的に義務づけられたことに伴って、地域福祉推進の中核的存在として社会福祉協議会が果たすべき役割の重要性がますます高まることとなった年となった。

当会としても、南丹市における社会福祉法人どうし地域福祉推進のために連携強化を図ることは、最優先課題の一つであると認識し、この観点から、市内社会福祉法人に当会賛助会員への入会を呼びかけることをきっかけとして、法人相互に連携協働して地域貢献活動への取り組みを進めてはどうかといった提案も行った。こうした当会の提案に対し、賛同と大きな期待の声をいただいた上で、すべての社会福祉法人に当会賛助会員として入会いただくことができた。

次年度に向け、社会福祉法人どうしの連携強化をさらに前進させ、その取り組みを具現化するべく、連携協働の場づくりや企画・立案を進めなければならない。さらに、こうした動きは、総合事業の南丹市域（第1層）における実効性のある協議体設立への足がかりとなるものとも考えられる。

また、今年度は、行政計画である地域福祉計画と、行動計画である地域福祉活動計画の一体的策定を目指して、市民・行政・社協が一体となり、今後の南丹市における住民主体の福祉のまちづくりについて、これまで以上に議論を重ねた年でもあった。

3月には「みんなでつくる、誰もが安心して、つながりながら住み続けられるまち」を基本理念とし、「住民が主体的に取り組む地域づくり」「総合的な相談・支援体制づくり」の2つの基本目標を掲げ、『第3期南丹市地域福祉計画・地域福祉活動計画』の策定に至った。今後、計画に基づく取り組みを市民とともに推進していきたい。

介護保険・障がい福祉サービスの経営事業については、本年度事業計画に掲げた数値目標達成には至らなかったものの、全体で黒字で終えることができた。今後、安定経営となるよう「利用者満足の向上」というサービス事業の原点を忘れず、さらなるサービスの質の向上を図ることで利用増につなげるとともに、職員一人ひとりコスト意識を徹底して経費削減にも取り組み、もって事業のさらなる発展を目指したい。

法人運営の発展・強化を目指して、これまで取り組んできた様々な改革に加え、今年度は、大幅な人事管理制度の見直しや新制度構築に取り組んだ。これにより、職員がやりがいをもって長く働き続けられる職場づくりと、財政を安定化させ将来にわたって事業を安定して継続させることが見通せる改革とすることができ、一部の試行的実施制度を含め、次年度からの新制度施行にこぎつけることができた。

過年度から当会施設利用者との間で係争中であった事案が、ようやく本年度11月に和解という形で決着し、安堵していたところであったが、3月には、当会において不適切事案が発覚し、当該事業をご利用の皆さまをはじめ、市民の皆さま、関係各位には、多大なご迷惑とご心配をおかけすることとなり、深くお詫びし、率直に反省しなければならない。本事案については、引き続き調査を継続するとともに、決着は、次年度以降の京都府社会福祉協議会による第三者委員会の判断に委ねることとなるが、本事案の早期解決と再発防止に向けて、全力で取り組む所存である。

平成 29 年度

会員の状況

※世帯数：南丹市公表（但し、施設等を除く【平成29年 4月 3日現在】）

エ リ ア	世帯数	普通会员		特別会員		世帯加入率 普通・特別計
		件数	金 額	件数	金 額	
本 所	—	0	0	8	16,000	—
園部事務所	6,388	2,949	2,940,500	11	25,000	46.3 %
八木事務所	3,020	1,815	1,815,000	13	31,000	60.5 %
日吉事務所	2,090	1,236	1,236,000	14	34,000	59.8 %
美山事務所	1,775	1,133	1,132,500	23	53,000	65.1 %
合 計	13,273	7,133	7,124,000	69	159,000	53.7 %

エ リ ア	賛助会員		ふるさと会員		本年度合計金額
	件数	金 額	件数	金 額	
本 所	10	105,000	1	5,000	126,000
園部事務所	68	340,000	0	0	3,305,500
八木事務所	4	47,000	1	10,000	1,903,000
日吉事務所	14	85,000	0	0	1,355,000
美山事務所	9	77,000	0	0	1,262,500
合 計	105	654,000	2	15,000	7,952,000

支 所	普通・特別会費 前年度対比		会費合計 前年度対比	
	前年度金額	増 減	前年度金額	増 減
本 所	12,000	4,000	15,000	111,000
園部事務所	3,037,000	△ 71,500	3,352,000	△ 46,500
八木事務所	1,876,000	△ 30,000	1,936,000	△ 33,000
日吉事務所	1,255,300	14,700	1,345,300	9,700
美山事務所	1,241,000	△ 55,500	1,301,000	△ 38,500
合 計	7,421,300	△ 138,300	7,949,300	2,700

平成 29 年度 法人運営の状況

＜理事会の開催状況＞

回	開催日	場所	出席	協議事項
第 1 回	5 月 30 日 (火)	本 所	理事 12	① 平成28年度 事業報告(案) ② 平成28年度 決算(案) ③ 規程改正(案) ④ 委員交代同意 ⑤ 評議員の解任及び選任候補者推薦 ⑥ 評議員選任・解任委員会の招集／評議員会の招集
			監事 1	
			その他 10	
第 2 回	6 月 21 日 (水)	本 所	理事 12	① 会長・副会長・常務理事の選定 ② 顧問選任同意 ③ 委員交代同意
			監事 1	
			その他 10	
第 3 回	3 月 28 日 (水)	本 所	理事 11	① 規程改正(案)・制定(案) ② 評議員選任候補者の推薦／評議員選任・解任委員会の招集 ③ 委員交代同意／ふれあい委員選任同意 ④ 平成30年度 事業計画(案)・収支予算(案) ⑤ 職員重要人事 ⑥ 就業規則 第76条 に基づく制裁の事実の認定
			監事 1	
			その他 12	

＜監事監査の実施状況＞

回	開催日	場所	出席	監査事項・指摘事項
第 1 回	5 月 25 日 (木)	本 所	監事 2	① 平成28年度 事業(法人運営・実施事業等) ② 平成28年度 決算(会計・経理等) ※適正と認める
			理事 1	
第 2 回	11 月 29 日 (水)	本 所	監事 2	① 平成29年度 上半期 事業(法人運営・実施事業等) ② 平成29年度 上半期 決算(会計・経理等) ※適正と認める
			理事 1	

＜評議員会の開催状況＞

回	開催日	場所	出席	協議事項
第 1 回	6 月 21 日（水）	本 所	評議員 21	① 平成28年度 事業報告(案)
			理事 3	② 平成28年度 決算(案)
			監事 2	③ 役員(理事)の選任について
※平成28年度会計に関する 定時評議員会				
第 2 回	3 月 28 日（水）	本 所	評議員 17	① 役員報酬規程の改正について
			理事 3	② 平成30年度 事業計画(案)
			監事 1	③ 平成30年度 収支予算(案)
				④ 役員(理事)の選任について
				⑤ 日吉事務所福祉サービス利用援助事業不適切事案

＜理事会総務部会の開催状況＞

回	開催日	場所	出席	協議事項
第 1 回	5 月 18 日（木）	本 所	委員 4 その他 4	① 理事会・評議員会審議事項について ② 平成28年度 事業報告(案)について ※法人運営状況 ③ 平成28年度 決算(案)について
第 2 回	8 月 31 日（木）	本 所	委員 4 その他 3	① 理事会 部会構成について ② [報告]小規模多機能ホームだんない訴訟事案(経過) ③ 人事管理制度改革について
第 3 回	12 月 1 日（金）	本 所	委員 4 その他 4	① [報告]職員人事異動、職員募集 ② [報告]上半期監事監査結果 ③ [報告]小規模多機能ホームだんない訴訟事案(和解) ④ 人事管理制度改革について
第 4 回	3 月 12 日（月）	本 所	委員 3 その他 4	① 理事会・評議員会審議事項について ② 規程改正・制定(案)／人事管理制度改革について ③ 平成30年度 事業計画(案)・収支予算(案)について ④ 職員重要人事について

＜理事会地域福祉部会の開催状況＞

回	開催日	場所	出席	協議事項
第 1 回	5 月 16 日（火）	本 所	委員 5 その他 11	① 理事会・評議員会審議事項について ② 平成28年度 事業報告(案)について ※地域福祉の部・包括支援の部 ③ 平成28年度 決算(案)について
第 2 回	8 月 30 日（水）	本 所	委員 4 その他 11	① 理事会 部会構成について ② [報告]小規模多機能ホームだんない訴訟事案(経過) ③ 事業進捗状況・現況(報告) ※地域福祉の部・包括支援の部
第 3 回	11 月 30 日（木）	本 所	委員 5 その他 10	① [報告]上半期監事監査結果／職員募集 ② [報告]小規模多機能ホームだんない訴訟事案(経過) ③ 事業進捗状況・現況について(報告) ※地域福祉の部・包括支援の部
第 4 回	3 月 6 日（火）	本 所	委員 5 その他 11	① 理事会・評議員会審議事項について ② 事業進捗状況・現況(報告) ③ 平成30年度 事業計画(案)について ※地域福祉の部・包括支援の部

<理事会事業部会の開催状況>

回	開催日	場所	出席	協議事項
第 1 回	5 月 17 日 (水)	本 所	委員 5 その他 8	① 理事会・評議員会審議事項について ② 平成28年度 事業報告(案)について ※居宅介護の部・自立支援の部 ③ 平成28年度 決算(案)について
第 2 回	8 月 30 日 (水)	本 所	委員 5 その他 5	① 理事会 部会構成について ② [報告]小規模多機能ホームだんない訴訟事案(経過) ③ 事業進捗状況・現況について(報告) ※居宅介護の部・自立支援の部
第 3 回	11 月 30 日 (木)	本 所	委員 5 その他 4	① [報告]上半期監事監査結果／職員募集 ② [報告]小規模多機能ホームだんない訴訟事案(経過) ③ 事業進捗状況・現況について(報告) ※居宅介護の部・自立支援の部
第 4 回	3 月 6 日 (火)	本 所	委員 4 その他 5	① 理事会・評議員会審議事項について ② 事業進捗状況・現況(報告) ③ 平成30年度 事業計画(案)について ※居宅介護の部・自立支援の部

<役員(理事・監事)研修会の実施状況>

回	開催日	場所	出席	内容
第 1 回	6 月 21 日 (水)	本 所	理事 5 監事 0	① 社会福祉法人の運営と役員の役割 ② 社会福祉協議会について ③ 南丹市社協の運営について ※役員就任時研修として新任役員向けに開催
第 2 回	7 月 11 日 (火)	本所および 市内の 各支所・ 各事業所	理事 9 監事 0	① 南丹市社協の組織・機構について(説明) ② 市内の各支所・各事業所 視察

〈正・副会長会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	4 月 25 日（火）	本 所	理事会・評議員会審議事項について [報告]小規模多機能ホームだんない訴訟事案(経過) [報告]職員全体研修について
第 2 回	5 月 25 日（木）	本 所	平成28年度 事業報告(案)・決算(案) 各委員会 正副委員長／委員の交代 [報告]監事監査結果について
第 3 回	7 月 27 日（木）	本 所	理事会 部会構成について 地域別懇談会の開催について [報告]小規模多機能ホームだんない訴訟事案(経過)
第 4 回	8 月 24 日（木）	本 所	京都府社会福祉大会について 人事管理制度改革について [報告]小規模多機能ホームだんない訴訟事案(経過)
第 5 回	9 月 26 日（火）	本 所	市内社会福祉法人への賛助会員入会勧誘について 人事管理制度改革について [報告]小規模多機能ホームだんない訴訟事案(経過)
第 6 回	10 月 24 日（火）	本 所	人事異動について 人事管理制度改革について [報告]小規模多機能ホームだんない訴訟事案(経過)
第 7 回	11 月 24 日（金）	日吉事務所	理事会 各部会の協議事項について 人事管理制度改革について [報告]小規模多機能ホームだんない訴訟事案(経過)
第 8 回	12 月 27 日（水）	本 所	市町村社協連合会 役職員セミナー／仕事始め・仕事納め 人事管理制度改革について [報告]小規模多機能ホームだんない訴訟事案(和解)
第 9 回	1 月 24 日（水）	本 所	平成30年度 職員募集 応募状況・選考実施状況について 人事管理制度改革について 理事会・評議員会審議事項について
第 10 回	2 月 28 日（水）	本 所	平成30年度 職員募集 採用内定状況について 平成30年度 職員人事配置(内示)について 人事管理制度改革 職員説明会開催状況について
第 11 回	3 月 27 日（火）	本 所	理事会・評議員会審議事項について 日吉事務所福祉サービス利用援助事業不適切事案 ※就業規則 第76条 に基づく制裁の事実の認定について

＜企画委員会の開催状況＞

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	10 月 27 日（金）	本 所	[報告]各小委員会より [報告]第3期 地域福祉計画 策定進捗状況 第3期 地域福祉計画 素案について
第 2 回	2 月 14 日（水）	本 所	[報告]各小委員会より 第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画案について 次年度に向けて（平成30年度事業計画案について）他

＜企画小委員会 合同会議の開催状況＞

回分	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	5 月 10 日（水）	園部公民館	各小委員会 正・副委員長の互選 各小委員会 年間活動計画 各小委員会 懇談 企画委員会 正・副委員長の互選

＜園部町企画小委員会の開催状況＞

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	6 月 2 日（金）	園部事務所	地域別懇談会の開催について
第 2 回	12 月 1 日（金）	園部事務所	地域懇談会のまとめ

＜八木町企画小委員会の開催状況＞

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	5 月 29 日（月）	八木事務所	地域別懇談会の開催について ※テーマ、開催単位、参加対象など
第 2 回	6 月 27 日（火）	八木事務所	地域別懇談会の開催について ※神吉地区の開催計画
第 3 回	8 月 29 日（火）	八木事務所	地域別懇談会（神吉地区）のふりかえり
第 4 回	9 月 7 日（木）	八木事務所	地域別懇談会の開催について ※南・東・西・北地区の開催計画
第 5 回	10 月 12 日（木）	八木事務所	地域別懇談会の開催について ※衆議院総選挙にかかり延期した地区の開催計画
第 6 回	12 月 14 日（木）	八木事務所	地域別懇談会について
第 7 回	3 月 1 日（木）	八木事務所	第3期地域福祉計画・活動計画について 平成29年度ふりかえり・平成30年度事業計画について

<日吉町企画小委員会の開催状況>

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	6 月 6 日（火）	日吉事務所	地域別懇談会の開催について
第 2 回	6 月 30 日（金）	日吉事務所	地域別懇談会打合せ（※正・副委員長のみ）
第 3 回	10 月 5 日（木）	日吉事務所	地域別懇談会ふりかえり 今後の取り組みに向けて
第 4 回	1 月 24 日（水）	日吉事務所	地域福祉モデル事業進捗状況、上胡麻地域座談会について

<美山町企画小委員会の開催状況>

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	6 月 22 日（木）	美山事務所	地域別懇談会の開催について
第 2 回	11 月 6 日（月）	美山事務所	地域別懇談会の開催について 第 3 期 地域福祉計画 素案について
第 3 回	3 月 26 日（月）	美山事務所	平成29年度ふりかえり・平成30年度事業計画について

<広報委員会の開催状況>

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	5 月 17 日（水）	本 所	正・副委員長の互選 『なんたん社協だより』（第 3 4 号）の発行について
第 2 回	8 月 2 日（水）	本 所	『なんたん社協だより』（第 3 5 号）の発行について
第 3 回	11 月 15 日（水）	本 所	『なんたん社協だより』（第 3 6 号）の発行について
第 4 回	2 月 9 日（金）	本 所	『なんたん社協だより』（第 3 7 号）の発行について

〈ボランティアバンク運営委員会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	5 月 23 日 (火)	本 所	正・副委員長の互選 V 基金の運用／平成27年度 決算／平成28年度 予算 ボランティアバンク助成(グループ・ボラ連)について
第 2 回	6 月 30 日 (金)	本 所	ボランティアグループ活動特別助成事業について 第11回 南丹市ボランティア交流会について
第 3 回	8 月 2 日 (水)	本 所	第11回 南丹市ボランティア交流会について ※ボランティア連絡協議会(ボラ連)との合同会議
第 4 回	9 月 13 日 (水)	本 所	第11回 南丹市ボランティア交流会について ※ボランティア連絡協議会(ボラ連)との合同会議
第 5 回	10 月 12 日 (木)	本 所	第11回 南丹市ボランティア交流会について ※ボランティア連絡協議会(ボラ連)との合同会議
第 6 回	2 月 5 日 (月)	本 所	第11回 ボランティア交流会 ふりかえり 次年度のボランティアバンク助成について

〈福祉資金調査委員会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	7 月 21 日 (金)	本 所	正・副委員長の互選 平成29年度 夏期 ぐらしの資金 貸付について ぐらしの資金償還状況／生福資金 新規申請・変更申請等
第 2 回	12 月 6 日 (水)	本 所	平成29年度 冬期 ぐらしの資金 貸付について ぐらしの資金償還状況について 生福資金 新規申請・変更申請等

〈苦情解決第三者委員会・個人情報保護委員会の開催状況〉

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	9 月 12 日 (火)	本 所	正・副委員長の互選 小規模多機能ホームだんない訴訟事案について
第 2 回	12 月 14 日 (木)	本 所	小規模多機能ホームだんない訴訟事案について(和解)

＜善意銀行運営委員会の開催状況＞

回	開催日	場所	主な協議事項
第 1 回	6 月 2 日（金）	本 所	正・副委員長の互選 平成28年度 善意銀行 事業報告・収支決算について 見舞金支給案件について
第 2 回	12 月 8 日（金）	本 所	見舞金支給案件について 小規模多機能ホームだんない訴訟事案について(和解)

◇ 平成29年度 ボランティア基金 運用実績

（金額単位：円）

基金原資 ①	利 息 ②	売買による損益 ③	運用益合計 ④＝②＋③	年間運用率 ⑤＝④÷①×100
93,000,000	2,179,000	0	2,179,000	2.343%

※運用率は少数点第4位切り捨て

◇ 平成29年度 福祉基金(善意銀行積立金)残額

（金額単位：円）

区分	内 容	積立額	取崩額	
繰越	前年度末積立金残高	54,248,621		
取崩	見舞金(6件)		275,000	
積立	預金利息	3,912		積立金残額
合 計		54,252,533	275,000	53,977,533

＜職員全体研修＞

【日 時】 4月23日(日) 9:00～16:15

【場 所】 南丹市日吉生涯学習センター 遊 you ひよし

【テーマ】 原点回帰 ～ あらためて「社協のアイデンティティ」を考える ～

【目 的】 「地域福祉の推進」を社会的使命とする社会福祉協議会の原点に立ち返りながら制度改正や政策動向などを理解し、私たち社協職員の立ち位置や目指すべき方向を確認した上で、各自が「今、なすべきこと」を認識し日々の業務に活かすことを目的とする。

1. 本年度事業計画・収支予算を理解・共有し、他部門との連携強化を図る。
2. 社会福祉法人改革を背景に、介護保険制度をはじめ主な社会福祉制度改正の趣旨を理解する。
3. 社会情勢の変化に対応しつつ、私たち社協職員の立ち位置・目指すべき方向を考える。
4. 社協職員として、ディスカッションやプレゼンテーション能力の向上を図る。

【内 容】

1. 開 会（「サービス精神」唱和、会長あいさつ、新任職員紹介、オリエンテーション）
2. 本会定款・規程等の主な改正点について（※社会福祉法改正に伴う社会福祉法人改革について）
3. 本年度事業計画・収支予算について
4. 地域福祉に関する政策動向について（※「我が事・丸ごと地域共生社会」について）
5. 講演「日々交通安全に気をつけて」（講師）京都府南丹警察署 交通課 交通指導係 係長 山根 良樹 警部補
6. 実践発表「ふれあいいきいきサロンと介護職員の協働」～ ほほえみ八木通所介護事業所の取り組みから ～
7. 演習（グループワーク）「社協活動の環境分析」～ 組織の強み・弱みを考えよう ～
8. 閉 会（講評）

【参 加】 常勤正規・嘱託職員：78名（参加率83.87%）[参加対象職員数計：93名（産休・育休3名除く）]

＜訴訟事案を教訓とした研修＞

【研修名】 小規模多機能ホームだんない 訴訟事案 緊急報告会・研修会

【日 時】 12月27日(水) 18:00～20:00

【場 所】 南丹市社協本所 農事研修室

【内 容】 1. 経過報告
2. 本事案を教訓として（サービス利用契約にあたって／事業所にできることには限界があることについて／記録の重要性について／専門職としての対応と組織人としての対応について／事故への心構え／個々の役割と事業・制度への理解）

【参 加】 係長以上の役職者：27名（参加率90.00%）[参加対象職員数計：30名（休職1名除く）]

【伝達研修の実施】 各職場において、すべての職場で全職員を対象に、役職者により当該研修をもとにした伝達研修を実施、「教訓をどのように生かすのか」について徹底的に話し合いを行った。

「小規模多機能ホームだんない訴訟事案」概要

利用者家族（以下「先方」）からの執拗なお叱りや苦情を内容とする多数回・長時間の電話、その他当施設に対する度を越えた様々な要求への対応などについて、再三の話し合いや理解・協力の申し入れを行うも解決せず、施設の業務に重大な支障を来すと判断し、やむを得ず利用契約の解除に踏みきった。

これに対し、先方は利用契約解除の無効を求めて裁判所に調停を申し立て、5回の調停を行うも不成立。先方の上申により裁判所は民事調停法17条に基づく決定（利用契約解除は有効である内容）がなされた。しかし、先方は決定内容を不服として異議を申し立て、この決定は無効となる。

さらに、先方は利用契約解除の無効を求めて裁判に訴え、11回にわたる弁論を経て、先方が和解の意思を示し、平成29年11月30日に和解（利用契約解除は有効である内容）が成立し、本事案は決着した。

＜発展・強化計画に基づく人事管理制度改革の取り組み＞

社協発展・強化計画に基づいて前年度に実施した業務組織・機構改革に続き、人事管理制度改革の方針を具体化し、より良い制度を構築し運用を開始するために、ワーキングチームにおいて議論を重ね、新制度を構築することができた。

■ 人事管理制度改革ワーキングチーム

「評価制度」「育成・活用制度」「処遇制度」の総合的な制度としての人事管理制度を構築するために、係長以上の役職者をメンバーとして、3つのサブシステムごとにワーキングチーム（以下「WT」）を編成し、人事管理制度構築に向けた議論を行った。

- (1) 評価システムWT [メンバー：(課長) 4名、(係長) 6名]

＜会議＞ 5回 (8/10、8/24、9/8、9/13、9/22)

- (2) 育成・活用システムWT [メンバー：(課長) 4名、(係長) 6名]

＜会議＞ 4回 (8/18、9/1、9/14、10/3)

→ 協議の結果、「評価と育成・活用は一体的に議論すべき」との考えから、WTを再編成した。

- ① 評価・育成システムWT (課長班) [メンバー：(課長) 8名]

＜会議＞ 5回 (10/17、11/2、11/20、12/5、12/19) ※10/17：合同会議

- ② 評価・育成システムWT (係長班) [メンバー：(係長) 12名]

＜会議＞ 4回 (10/17、11/6、11/21、12/13) ※10/17：合同会議

- (3) 処遇システムWT [メンバー：(局長) 1名、(部長) 4名、(課長) 4名、(係長) 1名]

＜会議＞ 12回 (8/21、9/4、9/11、9/19、9/25、10/6、10/12、10/23、11/1、11/8、11/20、12/4)

■ 成 果

総合的な人事管理制度を構築し、実施に向けて必要な規則・規程の改正を行った。尚、評価制度については、制度のブラッシュアップを目的として2年間の試行期間を経て、実施することとした。

- (1) 新キャリアパスの構築（「処務規程」の改正） ※平成30年度から施行
- (2) 育成制度の構築（業務管理制度・目標管理制度） ※平成32年度から施行（試行期間2年を経て）
- (3) 評価制度の構築（マニュアル・評価表の整備） ※平成32年度から施行（試行期間2年を経て）
- (4) 福利厚生制度の充実（「就業規則」の改正） ※平成30年度から施行
- (5) 新給与制度の構築（「給与規程」の改正） ※平成30年度から施行

■ 説明会の実施・Q&Aの作成

職員に新しい人事管理制度の内容を丁寧に説明し、理解を深めることを目的に説明会を開催した。さらに、より良い制度となるよう、説明会に質疑・応答や意見聴取の機会も設けて、出された意見等について、可能な限り反映させるとともに、全職員への周知と十分な理解が得られるようQ&Aを作成し配布した。

- (1) 説明会 ※職員の業務都合を考慮し、正規職員向けは同内容で3回実施

＜役職者向け＞ 2月14日(水) 18:00～20:00

＜正規職員向け＞ 2月15日(木) 18:00～20:00、平成30年2月16日(金) 13:30～15:30、18:00～20:00

＜嘱託職員向け＞ 2月22日(木) 18:00～20:00

- (2) Q&Aの作成

新制度に対して、全職員への周知と十分な理解が得られるよう、説明会で出された質問・意見と、説明会後に一定期間を設定して職員から聴取した質問・意見とに対する回答を「Q&A」としてまとめ、対象の全職員に配布した。

地域福祉の部

総 括

本年度は第2期南丹市地域福祉活動計画『なんたんふれあいプラン』（4カ年計画）の最終年度であった。この4年間で、ふれあい委員活動、見守りネットワーク、ふれあいいいききサロン・居場所づくり、ボランティア活動、地域福祉推進組織づくり、地域防災活動、福祉教育など、各地域における様々な地域福祉活動の発展・充実が見られた。

社協の各事務所には生活支援コーディネーターが配置され、地域福祉コーディネーターと2名体制になったことにより、地域により積極的に出向いて住民活動をサポートしたり、地域のニーズや資源を把握したりすることができるようになった。

地域によっては移動支援・買い物支援のニーズ調査や試行実験など、地域課題に対する新たな取り組みも始まっており、今後、このような支え合いのしくみづくり、協働して取り組める体制づくりを推進できるよう、社協としてしっかり支援していきたい。

生活相談センターでは各種相談事業により、市民からの様々な相談に応じ、支援にあたってきた。司法書士と連携した法的解決支援プログラムや、共同募金を活用した緊急助成事業、フードバンク事業など、この数年で新たにつくってきた支援策も活用しながら、生活に困窮する世帯等の困難な問題への対応に努めた。

3月には日吉事務所における権利擁護事業に係る不適切処理が発覚し、重大な不祥事を発生させてしまった。今後京都府社協の第三者委員会による調査に全面協力し、原因を究明するとともに、二度とこのようなことが起こらないよう再発防止対策を徹底する。

平成28年度より2年間かけ、市と協働して『第3期南丹市地域福祉計画・地域福祉活動計画』を策定した。地域福祉ワークショップを開催し、広く市民の意見を聴かせていただくとともに、作業部会、事務局会議で協議を重ね、今後の南丹市における地域福祉推進の方向性について、市と共通認識を築くことができた。平成30年度よりこの新たな計画にもとづき、南丹市における地域福祉のさらなる充実・発展を図っていきたい。

1. 身近な地域で取り組む地域福祉活動（※南丹市補助事業〔一部 南丹市委託事業〕）

① ふれあい委員 ～「ふれあい委員活動のサポート強化」

◆「ふれあい委員研修会」の開催

	日 時	会 場	参加者	対象者	参加率
園部町	4月22日(土) 10:00～12:00	園部公民館	41人	66人	62.1%
八木町	4月15日(土) 13:30～15:00	八木公民館	65人	91人	71.4%
日吉町	4月21日(水) 19:30～21:30	日吉はーとぴあ	23人	35人	63.8%
美山町	4月24日(月) 19:30～21:00	美山保健福祉センター	33人	60人	55.0%
計			162人	252人	64.2%

＜内 容＞

1. 委嘱状交付（新任・再任委員）
2. 開会あいさつ、来賓あいさつ（民児協より）
3. オリエンテーション：職員紹介、本日の流れ、配布資料の確認
4. 研修 ふれあい委員の役割・活動について
5. ふれあい委員活動実践発表「私のふれあい委員活動」（前任ふれあい委員2名）
6. 連絡事項・情報提供：年間計画、活動助成金情報、南丹地域包括支援センター情報
7. 地区・ブロック別懇談会

◆ふれあい委員についての説明、協力依頼

ふれあい委員の役割等について説明、資料配布、活動の連携の依頼等

- (1) 区長会 4/19 園部、4/25 八木、4/21 日吉、4/28 美山
- (2) 民生児童委員協議会総会・定例会 4/20 園部、4/26 八木、4/21 日吉、4/18 美山

◆「ふれあい委員ブロック会議」／「ブロック代表者会議」等

＜園部町＞ 事務局：園部事務所

「ふれあい委員ブロック長会議」

	実施日	内 容
第1回	5月29日(月)	情報交換、ブロック会議の進め方

「ふれあい委員ブロック会議」

	実施日	内 容
元 桐	6月 6日(火)	普段の活動紹介・民生児童委員と意見交換
摩 気	6月 7日(水)	半田サロン見学・レクレーション講習・民生児童委員と意見交換
川 辺	6月10日(土)	三世代交流参加・民生児童委員と意見交換
元 町	6月12日(月)	普段の活動紹介・民生児童委員と意見交換
西本梅	6月16日(金)	普段の活動紹介・民生児童委員と意見交換
元 村	7月15日(土)	普段の活動紹介・民生児童委員と意見交換

〈八木町〉 事務局：八木事務所

「ふれあいネットワーク会議」

	実施月	内 容
第 1 回	5月	情報交換、役員選出、定例ブロック会議日程、年間活動予定等
第 2 回	7月	情報交換、ふれあい事業について等
第 3 回	9月	情報交換、地域別懇談会について、ふれあい事業について
第 4 回	11月	情報交換、地域別懇談会について、ふれあい事業について 10月22日台風21号接近時について
第 5 回	2月	情報交換、地域別懇談会のまとめ、ふれあいネット活動のふりかえり、 10月22日避難勧告発令時地域の対応について等

※各10ブロック（南A・B・C、東A・B・C、西A・B、北、神吉）民生児童委員との合同会議

「ふれあいネットワーク ブロック代表者会議」

	実施日	内 容
第 1 回	6月 8日(木)	役員選出、総合事業ミニ勉強会、地域別懇談会について等

〈日吉町〉 事務局：日吉事務所

「ふれあい委員正副ブロック長会議」

	実施日	内 容
第 1 回	9月20日(水)	日吉町ふれあい委員交流会について

「日吉ふれあい委員交流会」

開催日：11月22日(水)

テーマ：見守りで誰もが元気アップ！

内 容：元気UP体操と脳トレ、意見交換・交流

講 師：原田朱美氏

〈美山町〉 事務局：美山事務所

「宮島地区 ふれあい委員・民生児童委員交流会」

	実施日	内 容
第 1 回	5月22日(月)	社協より地域別懇談会の説明 ・意見交換会 ・歌の合唱 参加者：宮島地区ふれあい委員、民生児童委員 計12名

「平屋地区 民生児童委員とふれあい委員の交流会」

	実施日	内 容
第 1 回	2月26日(月)	【テーマ】地域で気になる方々について 包括支援センターより事例報告 ・出席者による意見情報交換

「美山町 ふれあい委員正副代表者会議」

	実施日	内 容
第 1 回	3月 1日(木)	一年間の活動ふりかえり ・次年度研修についての意見交換 情報交換会 参加者：美山地区正副代表者 計10名

◆地域福祉活動助成「ミラたね助成」事業

「地域の未来（ミラ）に種（タネ）をまく」ことを目的に、新たに活動助成の要綱を整備し、地域住民どうしが協力して主体的に取り組む地域福祉活動に対して助成

助成実績：計 13 件

＜八木町＞

レクリエーション学習会：

2 ヶ月に 1 回開催（5/25、7/13、9/14、11/9、1/18）

ふれあい事業：

ふれあいネットワーク 10 ブロックで開催（8/25、10/21、10/22、11/11、11/12、11/19、11/23、11/26、12/3、3/11）

＜日吉町＞

ようきはったカフェ（生畑区）：カフェ立ち上げ時の備品（幟旗、ポット等）購入に活用

概ね 1 ヶ月に 1 回程度開催（4/14、5/19、6/2、6/17、7/5、10/26、11/28、12/10、1/23、2/21、3/27）

＜美山町＞

豊郷公民館での認知症予防体操、世代間交流事業：11/19

② 見守り活動 ～「見守りネットワークの確立」

◆「あんしんあんぜん情報（見守りチラシ）」の発行（印刷部数：4500枚）

発行月 (No.)	内 容	発行月 (No.)	内 容
4月 (No. 126)	体内時計のリセット	10月 (No. 132)	歩行運動
5月 (No. 127)	パタカラ体操	11月 (No. 133)	寒い季節の入浴
6月 (No. 128)	食中毒予防	12月 (No. 134)	低温やけどに注意
7月 (No. 129)	熱中症予防	1月 (No. 135)	冬場の路面での転倒に注意
8月 (No. 130)	正しい水分補給	2月 (No. 136)	ノロウイルス対策
9月 (No. 131)	防災	3月 (No. 137)	簡単に出来る野菜料理

※No.129 より美山管内に配布する見守りチラシの裏面に、地域のサロン活動を紹介する記事を掲載。

No.129：川谷サロン

No.130：下平屋サロン

No.131：災害準備ノート

No.132：上平屋サロン

No.133：平屋・大谷大学交流事業

No.134：内久保公民館防災講座

No.135：下吉田サロン

No.136：大野地区福祉懇談会

※美山において、ヘルパーが利用者宅を訪問の際に、見守りチラシを使って注意喚起。

◆ふれあい型給食 実施状況

事務所	対応	配食数			
		4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月
園部	給食ボランティア「あじさいの会」 (※1)	211 食	65 食	131 食	194 食
八木	給食ボランティア「里いもの会」 (※2)	123 食	116 食	115 食	124 食
美山	知井の里 食工房いろどり (※3)	72 食	50 食	76 食	73 食

※1：「あじさいの会」7月8月10月は休止。

※2：「里いもの会」6月～9月は休止。その間は業者で対応

※3：8月は休止。

◆ひとり暮らし高齢者のつどい

日 時：10月26日（木）10時00分～14時30分

場 所：南丹市国際交流会館イベントホール

内 容：西本梅ばんどさんの演奏、南丹亭百笑さんの落語、焼肉じゃんけんゲーム会食、カラオケ、大抽選会 他

参加者：70名

共 催：園部町民生児童委員協議会、南丹市社会福祉協議会園部事務所

◆高齢者等見守り活動に関する協定

- ・11/9 南丹市内郵便局（14 局）との協定締結式
- ・「協定締結事業所との懇談会」の開催
日 時：3 月 1 日（木）14：30～16：00
場 所：園部公民館中研修室
内 容：情報交換、ミニ研修「認知症の正しい理解と対応について」
- ・通報件数：3 件（いずれも京都生協からの通報。入院等による不在で大事には至らず）

③ ふれあいいきいきサロン活動 ～「サロンの多様な機能を活かした地域づくり」

◆ふれあいいきいきサロン助成（3 月末現在） 登録サロン数：124 サロン

活動助成 1人あたり月1回150円	合 計 1,608,900円（のべ10,726人分） 園部 小計 657,900円（のべ 4,386人分） 八木 小計 205,350円（のべ 1,369人分） 日吉 小計 201,600円（のべ 1,344人分） 美山 小計 544,050円（のべ 3,627人分）
立ち上げ助成 1 サロンあたり 2 万円	助成先 計 6 サロン ①南広瀬サロン（八木町 南広瀬） ④新庄サロン（八木町 船枝） ②1・2 組おたのしみ会（園部町 天引） ⑤畑郷いきいきサロン（日吉町 畑郷） ③楽しも会（園部町 木崎町） ⑥カフェ「よりみち」（八木町 野条）

◆青戸ふれあいいきいきサロンとほほえみ八木通所介護事業所介護職員との協働（八木）

地域住民と専門職が課題に対して向かいあう体制づくり

- 4 月 17 日（月） サロン参加者 29 名、社協職員 4 名
- 6 月 19 日（月） サロン参加者 30 名、社協職員 4 名
- 10 月 16 日（月） サロン参加者 23 名、社協職員 3 名、実習生 1 名
- 12 月 18 日（月） サロン参加者 30 名、社協職員 4 名
- 2 月 19 日（月） サロン参加者 30 名、社協職員 5 名

◆南丹市サロン交流会

- 園部会場 10 月 13 日（金） 10:00～12:00 [参加者：35 名]
- 八木会場 10 月 13 日（金） 13:30～15:30 [参加者：16 名]
- 日吉会場 10 月 27 日（金） 10:00～12:00 [参加者：17 名]
- 美山会場 10 月 27 日（金） 13:30～15:30 [参加者：18 名]

◆公立南丹看護専門学校とサロン会員交流（八木）6 月 2 日（金）9 名参加

◆佛教大学「ふれあい実習」の受入れ（美山）

4 月 22 日及び 5 月 13 日に実施し、町内 8 サロンに看護学部新入生が出向き参加者との触れ合いを通してコミュニケーション法や地域の状況を学んだ。

◆平屋福祉推進協と大谷大学との交流事業（美山）

10 月 7 日、学生の企画によるふれあいカフェを開催。平屋 10 地区の合同サロンとして 77 名の参加があり、学生と地域住民との交流を楽しんだ。

◆知井地区 3 サロンとワークキャンプとの交流事業（美山）

2 月 16 日、中、河内谷、知見の各サロンにワークキャンプの学生が出向き、地域住民との交流や、溝掃除、雪かき等の作業の手伝いを行った。

また、2 月 15 日には学生が地区内各集落の高齢者宅を訪問し、アンケートを基に聞き取り調査を行った。この結果は 3 月 9 日に華頂短期大学の名賀亨准教授が取りまとめて報告会を行った。

④ 地域別懇談会 ～「地域課題の解決に生きる地域別懇談会」

＜園部事務所＞

地区	開催日	区長	民生児童 委員	ふれあい 委員	老人 クラブ	地元役員	合計	参加率
元桐	7月14日(金)	6人	8人	6人	8人	0人	28人	66.6%
摩気	7月21日(金)	6人	7人	7人	4人	3人	27人	65.8%
川辺	8月4日(金)	4人	2人	4人	6人	1人	17人	68.0%
元町	8月25日(金)	1人	2人	3人	4人	0人	10人	40.0%
西本梅	9月8日(金)	6人	4人	6人	7人	0人	23人	67.6%
元村	9月22日(金)	4人	4人	5人	7人	0人	20人	37.0%
計		27人	27人	31人	36人	4人	125人	56.5%

＜八木事務所＞

地区	開催日	区長	民生児童 委員	ふれあい 委員	老人 クラブ	サロン	その他	合計	参加率
南	11月30日(木)	4人	3人	6人	1人	2人	16人	32人	94.1%
東	12月8日(金)	4人	4人	6人	2人	1人	15人	32人	94.1%
西	10月6日(金)	2人	3人	4人	1人	0人	14人	24人	88.8%
北	12月6日(水)	5人	3人	4人	1人	1人	10人	24人	72.7%
神吉	7月12日(水)	2人	3人	4人	2人	1人	9人	21人	87.5%
計		17人	16人	24人	7人	5人	64人	133人	87.4%

＜日吉事務所＞

地区	開催日	区長	民生児童 委員	ふれあい 委員	老人 クラブ	ボランティア 代表	その他	合計	参加率
世木	7月13日(木)	4人	5人	3人	3人	1人	12人	28人	50.0%
佐々江・四ツ谷	7月21日(金)	3人	2人	5人	2人	1人	6人	19人	47.5%
田原	7月28日(金)	4人	2人	2人	1人	0人	0人	9人	47.4%
胡麻	8月4日(金)	10人	6人	5人	2人	1人	2人	26人	56.5%
保野田・志和賀	8月10日(木)	2人	2人	3人	2人	1人	0人	10人	66.7%
計		23人	17人	18人	10人	4人	20人	92人	52.3%

＜美山事務所＞

地区	開催日	区長	民生児童 委員	ふれあい 委員	老人 クラブ	サロン 代表	福祉協 関係等	合計	参加率
知井	6月21日(水)	0人	5人	8人	3人	4人	9人	29人	67.0%
平屋	3月13日(火)	0人	2人	5人	1人	2人	6人	16人	50.0%
宮島	※未開催								
鶴ヶ岡	6月23日(金)	5人	4人	10人	0人	0人	18人	37人	58.7%
大野	1月24日(水)	5人	4人	4人	2人	3人	4人	22人	66.6%
計		10人	15人	27人	6人	9人	37人	104人	60.8%

⑤ 地域福祉推進モデル事業 ～「日常生活圏域における地域福祉の活動基盤づくり」

(※南丹市委託事業 [共助の基盤づくり事業])

＜モデル事業申請状況＞ ※各地区へ 10 万円(上限)助成

モデル指定地区・活動主体	新規 継続	実施内容
(1) [美山]知井地区 ／知井住みよい安全安心 の町づくり委員会	継続 (3 年目)	・サロンの内容や参加者送迎の支援 ・災害時要援護者に対する支援 ・支援集落のサポート（ワークキャンプで清掃活動、交流活動、調査活動…お年寄りの困りごとアンケート 97 名） ・地区全体での廃品回収（高齢者宅の見守りも含む取組み）
(2) [園部]川辺地区 ／川辺活性協議会	継続 (3 年目)	・男性高齢者の居場所づくり ・男女高齢者を対象にしたグラウンドゴルフで運動不足の解消と情報交換できるふれあいの場づくり ・三世代交流会を開催し、世代の親睦を図る ・防災フェスタの開催
(3) [美山]大野地区 ／虹の湖ネットワーク推 進会議	継続 (2 年目)	・大野地区福祉懇談会（1/24）（災害時高齢者支援と防災） ・交流拠点づくり（旧小学校にて虹の湖ふれあいフェスティバルの開催(11/26)） ・健康講座（ヨガ、鍼灸、体操）
(4) [日吉]佐々江・四ツ谷地区 ／住みよいむらづくり協 議会	継続 (2 年目)	・旧五ヶ荘小学校を拠点にした共助の基盤づくり ・サロンの開設（居場所づくり） ・健康体操教室（健康に暮らせる情報提供や健康づくりの場づくり） ・健康福祉相談室（住民への情報提供と気軽に相談できる場の提供） ・参加者の送迎（ボランティアによる送迎を行い、出掛けにくい人の外出の後押しを行う）
(5) [美山]宮島地区 ／美山町宮島振興会	新規 (1 年目)	・移動手段のない高齢者の支援として買い物ツアーの実施（美山町宮島地区内および園部方面）11～3 月、計 5 回、のべ 20 名参加

⑥ 各種団体・サークル・当事者組織・ふくしまつり等の支援

◆園部事務所

- ・4 月 14 日 こひつじの苑利用者の外出ボランティア調整 二条シネマ
- ・4～3 月 敬老会・夏祭り・施設行事のボランティア依頼 ボランティア調整(53 件)
- ・4～2 月 視覚障がい者の方の事業参加のための送迎 7 回のべ 18 人 ボランティア調整
- ・5～9 月 身障福祉会の方の事業参加のための送迎 2 回のべ 7 人 ボランティア調整
- ・7 月 13 日 給食ボランティア(衛生講習会)
- ・7 月 29 日 夏休みボランティア体験&バザー ボラ連会議 6/29 準備 7/28
- ・7 月 埴生ゴーゴーワークキャンプ(被災地福島の子供たちの保養キャンプ)ボランティア調整
公用車貸し出しおよびボランティア依頼 (7/30 8/5 8/11 8/19)

◆八木事務所

- ・「難聴者の会」事務局
- 5 月 11 日 「難聴者の会」平成 29 年度総会開催 15 名参加
- 6 月 21 日 「聴こえの相談」の開催 11 名参加
- 7 月 10 日 京都府中部ブロック レクリエーション教室 12 名参加
- 9 月 25 日 聴こえの相談会と交流会 （京都府の事業） 7 名参加
- 11 月 20 日 聴こえの相談会と交流会 （京都府の事業） 4 名参加
- 2 月 21 日 新年を祝う集いの開催 13 名参加

- ・「ふれあいふくしまつり検討委員会」 実行委員会事務局
 5月8日 ふくしまつり検討委員会 前三役・部会長会議 第1回
 6月6日 ふくしまつり検討委員会 前日打ち合わせ
 6月7日 ふくしまつり検討委員会 第1回
 6月15日 前委員長と打ち合わせ
 6月16日 ふくしまつり検討委員会 前三役・部会長会議 第2回
 6月21日 ふくしまつり検討委員会 第2回
 1月15日 旧ふくしまつり三役で新しい総合事業について学習会
- ・「南丹市身体障害者福祉会八木支部」送迎
 計19回 延べ142名

◆日吉事務所

- ・7月14日 明治国際医療大学看護学部学生のボランティア授業での活動先紹介
- ・9月3日 第27回全京都車いすミニ駅伝競走大会送迎
- ・9月21日 視覚障がい者送迎（園部 国際交流会館）
- ・10月6日 南丹市身体障害者福祉会スポーツ大会送迎
- ・11月10日 南丹市身体障害者福祉会福祉大会送迎
- ・12月8日 南丹市身体障害者福祉会障害者週間啓発パレード 町内一円

◆美山事務所

- ・「第9回美山福祉のつどい」（共同募金助成事業）
 開催日：12月2日（土）10：00～16：00
 場所：美山文化ホール
 内容：レクリエーション交流、展示（作品やパネル説明）、中学生等意見発表、各団体からの模擬店、舞台発表（小中学生意見発表、福祉施設、ボランティアグループ、福祉協）
 参加人数：310名
 実行委員会の構成：町内25団体と6委員の計31名（会議：6/8、8/17、10/19、12/1）
 2月15日 美山福祉のつどい実行委員会 活動ふりかえりと来年度の取り組みについて
- ・身体障害者福祉会美山支部事務局 会員数：52人
 4月28日 評議員会
 5月8日 役員会
 5月21日 第50回障害者ふれあい広場 参加19人
 5月22日 南丹市身体障害者福祉会美山支部総会の開催 参加20人
 7月28日 京北と美山の身障福祉会グラウンドゴルフ交流会の送迎支援 参加14人
- ・「美山ふるさと祭り実行委員会」
 開催日：11月3日（金）／ 場所：美山文化ホール → 台風の影響により中止
 実行委員会：8/22、10/19
 展示・体験コーナー企画部会：10/12

2. 市全体で取り組む地域福祉活動（※南丹市補助事業〔一部 共同募金事業〕）

① 福祉教育 ～「新たな層への種まき」

◆小学校等における福祉教育支援

学校名	学年	実施日	内容
八木西小学校 八木東小学校	1年～6年 (計20名参加)	7/24、7/28、8/2、 8/3、8/3、8/4、 8/7、8/10	オリエンテーション（ボランティアについて） 車イス体験、高齢者デイスサービス体験等
胡麻郷小学校	4年生親子 (PTA主催)	6月19日(月)	地域包括支援センターの認知症サポーター養成講座
八木中学校	3年生 (45名参加)	10月19日(木)	福祉避難所について学ぶ 要配慮者（相手）の立場になって考える 災害時に自分の地域で出来ることを考える
八木中央幼児学園	短時部年長組 (19名参加)	10月11日(水)	ほほえみ八木通所介護事業所の利用者と園児の交流
八木中央幼児学園	長時部年長組 (24名参加)	10月30日(月)	ほほえみ八木通所介護事業所の利用者と園児の交流
園部中学校	1年生128名 地域住民・PTA	① 1月25日(木) ② 2月 1日(木)	防災学習 平成25年台風18号の教訓から園部の地域のために 中学生の自分たちが出来ることを考える。

※胡麻郷小学校：PTA主催の親子人権学習として福祉教育を位置づけされ、認知症サポーター養成講座を行った。地域包括支援センターと地域福祉部が講師を務めた。講座を通して子供たちに福祉を身近に感じてもらうことが出来た。また講座後の保護者アンケートでは、大変勉強になったという声が多くみられた。

◆「次世代の担い手育成事業」

・南丹保健所、京都府社協と連携し、以下の2つの小学校における福祉の総合学習を支援

	園部小学校 4年生 98名 (3クラス)	園部第二小学校 4年生 46名 (2クラス)
1学期		6月5日(月) 手話学習 6月29日(木) 車椅子体験
2学期	11月13日(月) アイマスクを使用した視覚障がい者の疑似体験授業 11月20日(月) 車椅子の体験授業 11月29日(水) 人権学習「ユニバーサルデザインについて考えよう」	10月24日(火) 京都太陽の園、あしたー工房、だんない、はぎの里オアシス 10月26日(木) 園部まごころステーション陽だまり、だんない、長生園、はぎの里オアシス 11月28日(火) 次世代の担い手育成事業 学習発表会

※手話学習協力：ふない聴覚言語障害センター、

※車椅子体験協力：はぎの里オアシス

※施設訪問協力施設：6施設

①長生園、②はぎの里オアシス、③京都太陽の園、④園部まごころステーション陽だまり、

⑤あしたー工房、⑥小規模多機能ホームだんない

・京都府社協の次世代の担い手育成事業として、園部第二小学校では、4年生 46名が、1学期に事前学習に取り組まれた学校側の丁寧な準備と施設側の協力によって子ども達にとって非常にいい体験となっている。

- ・「関係機関合同研修会」
日 時：8月8日（火）14：00～15：00
場 所：園部第二小学校
内 容：1学期の授業内容報告、昨年度の施設体験内容の共有
参加者：14人（施設職員7人、小学校教員2人、保健所2人、府社協1人、南丹市社協2人）
- ・「平成29年度 次世代の担い手育成事業 職業体験協力施設との意見交換会」
日 時：11月28日（火）16：00～17：00
場 所：園部第二小学校
内 容：職業体験を終えて
参加者：14人（施設職員7人、小学校教員2人、保健所1人、府社協1人、南丹市社協3人）

② ボランティア振興 ～「ボランティアの広がりにつながりづくり」

◆ボランティア基金の運用益活用

- ・「ボランティアグループ活動助成」 10,000円×58グループ、2,500円×1グループ
- ・「ボランティア連絡協議会活動助成」 130,000円×4町連絡協議会
- ・「ボランティアグループ活動特別助成」 235,725円（8グループ合計）

◆「各町ボランティア連絡協議会」事務局

・園部町ボランティア連絡協議会

- 役員会等 …… 5/8、6/29、10/6、11/29、1/24、3/8
 4月11日（火） 代表者会議
 5月30日（火） 総会
 7月29日（土） 夏休みボランティア体験&バザー
 10月26日（木） ひとり暮らし高齢者のつどいアトラクション協力
 1月31日（水） 視察研修（京都市防災センター・オムロン京都太陽株式会社）
 3月1日（火） 会報誌「青い鳥」発行

・八木町ボランティア連絡協議会

- 役員会等 …… 5/8、5/18、7/12、7/20、8/3、8/31、9/7、9/20、11/20、12/11、1/16
 11月13日（月） グラウンドゴルフを楽しむ集い
 1月25日（木） 視察研修 木津川市社協山城支所にて山城地域ボランティア活動者との交流会
 内 容：昼食交流会、小グループ意見交換会、レクリエーション
 参加者：八木町15名 山城町15名 社協職員4名
 2月17日（土） 第33回八木町ボランティア交流会
 会 場：アイリス福祉会 地域交流多国山ホール
 内 容：（午前）ボランティア活動を元気に続けられるように、体の動かし方を教わろう
 [講師] 健康運動指導士 中原今日子氏
 （午後）レクリエーションタイム、小グループによる意見交換会
 参加者：96名

・日吉町ボランティア連絡協議会

- 役員会等 …… 4/14、5/12、9/8、10/20、2/28
 5月30日（火） 総会
 2月5日（月） 今後についての協議（会長、事務局）

・美山町ボランティア連絡協議会

- 役員会等 …… 4/7、6/15、7/21、9/14、10/10、11/27、12/12、1/22
 4月7日（金） 第一回役員会及び役員引継ぎ
 4月22日（金） 総会 28年度事業報告及び決算報告／新役員紹介／29年度予算／29年度事業予定

- 7月13日(木) 美山やすらぎホーム交流会参加
 8月25日(金) 広報紙「ふれあいネットワーク情報」46号 美山町各戸配布
 10月29日(日) 美山育成苑 苑まつり(中止)
 11月 3日(金) 美山ふるさと祭り、ふれあいバザー(中止)
 12月 2日(土) 美山福祉のつどい ふれあいバザー
 12月12日(火) 研修会「美山の福祉とボランティアのありかたについて考える」
 場 所：旧平屋小学校ランチルーム
 講 師：志藤修史(大谷大学教授)、名賀亨(華頂短期大学准教授)
 参加者：42名(講師・スタッフ含)
 3月23日(金) 広報誌「ふれあいネットワーク情報」47号 美山町各戸配布
 4月10日(火) 広報誌「ふれあいネットワーク情報」48号 美山町ボラ連関係者に配布(H29年度扱い)

◆夏休みボランティア体験

- 日 時：7月29日(土) 10:00～15:00
 参加者：104名 ボランティアスタッフ65名
 場 所：園部公民館(1Fロビー、2F和室、3F大研修室・中研修室・小研修室・練習室)
 内 容：①オカリナの音色にふれてみよう
 ②車いす体験
 ③おにぎり屋さんになろう
 ④点字を打ってみよう
 ⑤簡単小物を作ってみよう
 ⑥脳トレゲームをやってみよう ⑦要約筆記をやってみよう ⑧絵手紙を描いてみよう
 ⑨マジックに挑戦 ⑩将棋をやってみよう ⑪チャリティーバザー⑫輪投げコーナー

◆「音訳・朗読ボランティア(4町)」活動支援

・各種広報物の音訳 リスナー登録：11人

広報物	担当	録音方法
広報なんたん(奇数月)	園部(かわせみ)	デイジー
議会だより(年4回)	美山(こだまグループ)	デイジー
お知らせなんたん	八木(やまびこの会)	デイジー
民児協だより	各町	それぞれ
人推協だより(年2回)	日吉	テープ
社協だより(年4回)	園部(かわせみ)	デイジー

◆「音訳ボランティア講座」(5回シリーズ)の開催

	開催日	内 容	講師	参加人数
第1回	9月27日(金)	音訳ボランティアってなあに？① 文字を声で届けるには ～発声・発音の基本～	京都ライトハウス 澤江 功子 氏	19人
第2回	10月10日(金)	音訳ボランティアってなあに？② 聞きやすく、分かりやすい読み方		22人
第3回	10月24日(金)	音訳ボランティアってなあに？③ 広報を読んでみよう		18人
第4回	11月10日(金)	パソコンで録音してみよう①	京都ライトハウス 松田 裕美 氏	22人
第5回	11月24日(金)	パソコンで録音してみよう②		21人

◆第11回南丹市ボランティア交流会

日 時：11月21日（火）10：00～15：00

場 所：南丹市国際交流センター イベントホール

内 容：（講演）「楽しくなくっちゃボランティアじゃない！」

講師：motto ひょうご事務局長 栗木 剛 氏

（ステージ発表）ボランティアグループによる発表 他

参加者：184名

◆「ボランティアバンク運営委員会」の開催

※別紙参照（委員会開催状況）

◆「ボランティア連絡協議会・ボランティアバンク運営委員会合同会議」の開催

※「法人運営の状況」（ボランティアバンク運営委員会 開催状況）参照

③ 災害ボランティアセンター・地域防災活動 ～「リーダー育成とネットワークづくり」

◆八木町南地区総合防災避難訓練

実施日：9月24日（日）

場 所：八木中学校

内 容：災害救援ボランティアセンター設置、炊き出し訓練実施 ※ボランティア13名
ふれあい委員、消防団、民生委員と独居高齢者宅を訪問

◆南丹市総合防災訓練参加

実施日：10月1日（日）

場 所：美山中学校

内 容：①災害ボランティアセンター設置・運用訓練、②炊き出し訓練

参加者：59名（ボランティア43名、職員16名）

◆地域防災講座

開催日：3月10日（土）13時00分～16時00分

場 所：日吉町生涯学習センター遊 you ひよし

講 師：日本赤十字社京都府支部より

内 容：講義・実習「赤十字地域防災セミナー～災害時、高齢者等の生活支援のために～」

参加者：77名

◆防災出前講座

- | | | | |
|----------|--------------|------------------|--------|
| ・ 7月28日 | 和泉区人権学習会 | テーマ「災害時の配慮と支え合い」 | 参加：13人 |
| ・ 11月19日 | 内久保公民館地域防災講座 | テーマ「災害時の配慮と支え合い」 | 参加：12人 |

◆雪かきボランティア登録

2月10日からチラシ、郵送、社協HP、CATV等で、雪かきのボランティアを募集
有事の際に素早く対応できるよう、登録制とした。

登録人数：23人（2/28現在）

④ 広報 ～「情報発信による地域福祉活動の活性化」

- ・編集会議での紙面づくりの最初の段階で、広報委員の方からご意見をいただく機会を設けて編集を進めることとした。
- ・「あなたのまちの応援団」や「地域の未来をデザインする」のコーナーはシリーズ化し、社協事業や地域での取り組みをできるだけ多く紹介することで情報提供に努めた。

号(発行日)	主な内容
第 34 号 (7 月 14 日)	平成 28 年度の取り組み、平成 29 年度事業計画、平成 29 年度予算・平成 28 年度決算、平成 29 年度役員・委員等紹介、あなたのまちの応援団、日赤活動資金報告、社協会費納入ご協力をお願い、善意のご寄付、「地域の未来をデザインする」(テーマ：防災)、ニャンたんがいく！あなたのまちのふれあいいきいきサロン
第 35 号 (9 月 22 日)	「地域の未来をデザインする」(テーマ：地域福祉)、赤い羽根共同募金、善意のご寄付、社協会費お礼、あなたのまちの応援団、ニャンたんがいく！あなたのまちのふれあいいきいきサロン
第 36 号 (1 月 12 日)	新年の挨拶、見守り協定を締結しました、園部ライオンズクラブ様より福祉車両を寄贈いただきました、あなたのまちの応援団、シリーズ「地域の未来をデザインする」(テーマ：地域福祉)、「平屋地区×大谷大学」協働で進めるふれあい・支え合い、善意のご寄付、ニャンたんがいく！あなたのまちのふれあいいきいきサロン
第 37 号 (3 月 23 日)	シリーズ「地域の未来をデザインする。」(テーマ：地域福祉)、あなたのまちの応援団、地域ケア推進会議でまちづくり、自分町を良くするしくみ 共同募金、ニャンたんがいく！あなたのまちのふれあいいきいきサロン

- ・広報編集会議の開催 『なんたん社協だより』の誌面作成について、担当職員チームと広報委員で検討
(第1回) 4/10、(第2回) 4/25、(第3回) 6/28、(第4回) 7/13、
(第5回) 9/25、(第6回) 10/25、(第7回) 12/20、(第8回) 1/22

⑤ 共同募金 ～「募金運動の広報・啓発の強化」(※共同募金事業)

◆南丹市共同募金委員会「運営委員会」

	月日	内 容
第 1 回	5月19日(金)	H28事業及び会計決算の報告、H29度事業計画及び収支予算の提案・承認
第 2 回	8月30日(水)	H29募金運動の提案・承認、歳末たすけあい募金助成事業の提案・承認
第 3 回	3月23日(金)	H29助成中間報告、H28募金中間報告、会則の改定、H30助成計画<一般>案

◆南丹市共同募金委員会「審査委員会」

	月日	内 容
第 1 回	6月 6日(火)	じぶんの町を良くする活動助成(一次募集分)の審査、 当事者団体活動助成(公募分)の審査
第 2 回	8月30日(火)	じぶんの町を良くする活動助成(二次募集分)の審査、 福祉まつり等助成(公募)の審査
第 3 回	11月17日(金)	じぶんの町を良くする活動助成(三次募集分)の審査、 年末年始地域交流事業の審査

◆助成実績

助成事業名	件数	助成金額
じぶんの町を良くする活動助成(一次募集)	10 件	652,610 円
じぶんの町を良くする活動助成(二次募集)	4 件	370,000 円
じぶんの町を良くする活動助成(三次募集)	5 件	279,838 円
当事者団体活動助成(公募)	2 件	500,000 円
当事者団体活動助成(指定)	7 件	360,000 円
福祉まつり等助成(公募)	1 件	134,000 円
ボランティアグループ活動助成	59 件	582,500 円
生活困窮者支援助成事業	1 件	40,000 円
年末年始地域交流事業	2 件	70,000 円
歳末たすけあい見守り訪問事業	3,515 件	697,190 円
歳末激励金助成	406 件	2,030,000 円
ふれあい・いきいきサロン歳末助成	112 件	656,950 円

◆「赤い羽根共同募金運動」、「歳末たすけあい運動」

- ・募 金 期 間：10月1日～12月31日
- ・目 安 額：赤い羽根募金(一般募金) 500 円/世帯、歳末たすけあい募金 500 円/世帯
- ・街 頭 啓 発：南丹市共同募金委員会 市内 8 か所で実施
- ・募 金 箱 設 置：63 か所
- ・法人募金実績：21 事業所 (49 事業所に依頼)
- ・職域募金実績：市内 12 小中学校及び 4 事業所 (市役所、社協を含む)
- ・学校募金実績：2 高等学校
- ・イベント募金実績：5 団体
- ・募 金 額 実 績：赤い羽根募金 (一般募金) …… 4,384,651 円
歳末たすけあい募金 …… 3,613,600 円

⑥ 日本赤十字社員増強運動への協力

- ・赤十字運動の重要性を周知し、社資増強を図る。
- ・実 施 期 間：5月1日(日)～5月31日(火)
- ・実 施 方 法：各区長・自治会長に徴収依頼 社費目安 500 円
- ・実 施 結 果：3,811,200 円

⑦ 地域福祉活動計画 ～「第3期南丹市地域福祉計画・地域福祉活動計画の一体的策定」

◆南丹市地域福祉計画推進委員会

	月日	内 容
第1回	4月28日(金)	委員委嘱状交付、第3期計画概要、市民ワークショップについて 他
第2回	11月10日(金)	第3期計画素案について 他
第3回	2月19日(月)	パブリックコメント結果、第3期計画案について 他

◆南丹市地域福祉計画推進委員会 作業部会

	月日	内 容
第5回	4月18日(火)	ワークショップ実施内容について 他
第6回	6月 7日(水)	ワークショップスタッフ事前打合せ 他
第7回	7月25日(火)	ワークショップふりかえり、第3期計画骨子(案)について 他
第8回	9月21日(木)	第3期計画骨子(案)について 他
第9回	10月24日(火)	第3期計画素案について 他
第10回	1月18日(木)	パブリックコメント結果、第3期計画案について 他

◆地域福祉ワークショップ～助け合い・支え合いで「地域の課題」に取り組もう～ の開催

	日時	会場	参加者
園部町	6月25日(日) 9:00～12:00	南丹市役所 2 号庁舎	41 人
八木町	6月17日(土) 9:00～12:00	八木公民館	44 人
日吉町	6月18日(日) 9:00～12:00	日吉町生涯学習センター	34 人
美山町	6月11日(日) 9:00～12:00	美山保健福祉センター	37 人
計			156 人

〈内 容〉

1. 全体会（開会あいさつ／話し合いのための話題提供／ワークショップの進め方・ルール説明）
2. グループ討議
 - ・参加者自己紹介の後、テーマに基づいて話し合い、アイデア出し
 - テーマA「見守り」～見守りで誰もが安心して暮らせる地域をつくろう～
 - B「居場所・活動拠点」～誰もが安心できる居場所づくり、活躍できる活動の拠点づくり～
 - C「地域防災」～地域の防災力を高めよう～
 - D「移動支援」～地域での暮らしを続けられる移動支援のしくみを考えよう～
3. 全体会（班ごとの成果発表、まとめ／閉会あいさつ）

〈主 催〉 南丹市・南丹市社会福祉協議会

⑧ 生活支援体制整備事業 ～「新しい総合事業をいかした地域づくり」 （※南丹市委託事業）

◆園部町

〈全地域〉

- ・ 普段の生活（買い物・移動手段）に関するアンケート調査
対象：老人クラブ会員・ふれあいいきいきサロン参加者 / 回答数：1074通
11月30日 老人クラブ連合会講演会にてアンケート集計結果を持って御礼に伺う
- ・ 買い物移動支援について視察研修
11月15日 久御山町社協
11月28日 京丹後市社協
- ・ 住民参加型在宅福祉サービス事業視察研修
11月28日 宮津市社協
- ・ 買い物・移動外出支援検討会
1月17日 第1回検討会（府社協 渡邊氏・足立氏）
2月26日 第2回検討会
3月26日 「買い物しやすいまちづくり」意見交換会
- ・ 防災学習を通じて連携（園部中学校、南丹市、地域住民）
6月13日 園部中学校・・・園部中学校の未来を考える会に参画
会議（計4回：8/28、9/15、11/9、3/27）
実施（1/25・2/1）
事後研究会（3/1）

〈川辺ブロック〉

- ・ 5月22日 川辺活性協議会 懇談
- ・ 6月10日 三世代交流会 ふれあい委員と協力し実施
- ・ かわべ親子サロン訪問
- ・ 7月28日 防災委員会出席
- ・ 10月 6日・27日 防災フェスタ打ち合わせ
- ・ 10月25日 認知症声掛け訓練説明会（高屋公民館）10名参加
- ・ 11月12日 防災フェスタ 参加者（35人）
- ・ 12月 7日 船岡サロン訪問 民生委員とふれあい委員とサロン協力者で見守りマップづくり
- ・ 3月 9日 川辺活性協議会 懇談
- ・ 3月31日 川辺地域振興会結成祝賀会
- ・ 地域ネットワーク会議 計4回（7/28・11/28・12/19・2/15）

<摩気ブロック>

- ・ 4月21日 竹井区長来所 地域の移動手段について情報を要望
- ・ 5月 8日 社協より情報提供し、竹井区の動きを聞く（その後情報収集 南丹市地域振興課等）
- ・ 6月 7日 サロン訪問 半田サロン（駐在さんと連携）
- ・ 6月21日 里の公共員 NPO高山の郷振興会役員と懇談
- ・ 6月27日 振興会の取り組みや竹井区の取組の進捗を聞く。テダスや里の公共員や集落支援員で移動手段の勉強会を実施される予定で、社協にも呼び掛けてもらう。
- ・ 9月29日 竹井区長と懇談 竹井区で「買い物外出支援事業」の協力依頼
- ・ 9月29日、10月5日、10月25日 竹井区と買い物支援について話し合い
- ・ 10月 5日 竹井区長と懇談 竹井区に公用車使用を承認し、協力支援の回答
- ・ 10月23日 竹井区長と懇談 11月施行運転準備状況を確認
- ・ 10月27日 スーパーマツモトとAコープに協力依頼のため訪問
- ・ 10月30日 買い物支援の試行について協力依頼（町内スーパー2件）
- ・ 12月 5日 NPO摩気高山の郷振興会と懇談(モデル事業について)
- ・ 1月22日 ふれあい委員・民生児童委員懇談、区長会と懇談(モデル事業について)
- ・ 1月27日 宋人笑学校サロン訪問(取材)

<元町ブロック>

- ・ 7月12日 若松町サロン ニーズ調査

<元村ブロック>

- ・ 7月11日 栄町サロン…京都中部総合医療センターリハビリテーション支援センターからロコモ度テストと体操（サロンに普及するため、サロン協力者の全体会など希望されている）
- ・ 6月13日 園部中学校…園部中学校の未来を考える会に参画
昨年の避難所訓練から今年度は地域とともに防災訓練を実施するための打ち合わせ会議
- ・ 8月 8日 栄町サロン…靴と歩き方のはなし「いなふ」
- ・ 8月28日 園部中学校 防災教育を地域住民と実施するための打合せ会議
- ・ 9月13日 横田区長・市役所に協力依頼 承諾
- ・ 8月22日 美園町サロン助け合いカードゲーム 普段の生活（買い物・移動手段）調査

<元桐ブロック>

- ・ 9月 サロン立ち上げ(木崎町)
- ・ 12月19日 木崎町区長と懇談（モデル事業について）

<西本梅ブロック>

- ・ 4月 5日 大河内女子会参加 集落支援員・地域おこし協力隊の方と地元住民とIターン者との交流
- ・ 6月23日 大河内女子会参加 大河内の特産品づくりや地域おこし協力隊活動で主な活動者と懇談（特産品づくりにサロン参加者に協力してもらう等）
- ・ 4月10日 天引ふれあい委員と区内の情報誌について手掛けられていることを聞く
- ・ 6月 3日 サロン立ち上げと天引活性化委員会のむくむく市と企画のイベントを見学訪問
- ・ 11月10日 天引活性化と未来を考える会事務局長と懇談(西本梅地域の福祉活動推進について)
- ・ 12月28日 ふれあい委員と懇談(モデル事業について)
- ・ 2月15日 振興会理事会（モデル事業についての説明）

◆八木町

<全地域>

- ・ 八木町サロン交流会開催（40名参加）
介護予防体操
京都中部総合医療センター 地域リハビリテーション支援センター 理学療法士 高位 篤史 氏

<南地区>

- ・ぼこぼこクラブやJUJUを訪問し、若い世代のニーズ調査を行う一方で、新たな福祉の担い手となるきっかけづくりに取り組む [ぼこぼこクラブ参加者と座談会 (7/14) / マルシェ、おうちでごはん 訪問 (7/28)]
- ・サロンを訪問し、公立南丹看護専門学校との交流会を広報 [そよ風 (5/21) / ひまわり (5/19)]
- ・にこにこ会 訪問 (9/8、1/12、2/16)
- ・そよ風 「地域共生社会の実現に向けて」学習会開催 (10/22)
- ・JUJU 訪問 café (10/27 [第1弾 パエリアの日]、11/27、2/6)
 ハッピーハロウィン (10/28)
 みんなでごはん (隔月)
- ・ここからカフェ訪問 (11/14、12/12、1/9、2/13)
- ・気楽会 訪問 (2/15)

<東地区>

- ・サロン訪問し、支援とPRを積極的に行う。
NPO法人サンシャイン (4/27、6/22)
青戸ふれあいいきいきサロン (4/17、6/19、10/16、12/18、2/19)
西田ふれあいサロン (7/4、9/19、12/6)
サロン日置 (5/12、12/8、1/11、2/9)
カフェのどか (5/21、8/19)
刑部ふれあいサロン
(9/28 やぎ詩の郷と交流事業「身近な日用品で防災グッズ作りと防災ミニ講習会」、11/25、12/17)
おしゃべりサロン (1/29)
- ・支え合いマップづくり
日置区 (4/19)、青戸区 (6/5)
- ・NPO法人サンシャイン「顔の見える 支え愛・助け愛 マップ事業」支援
ワークショップ開催支援 (6/28)
- ・八木町東部青少年育成会「子ども会食を通して食育と子どもの居場所を考える事業」
第1回開催 (8/17)、第2回開催 (10/29)
- ・青戸ふれあいいきいきサロンとほほえみ八木通所介護事業所介護職員との協働
地域住民と専門職が課題に対して向かいあう体制づくりを目指して支援 (ふれあいイキイキサロン活動に詳細は記載)
[開催日と参加者] 4/17 サロン参加者29名、社協職員4名
 6/19 サロン参加者30名、社協職員4名
 10/16 サロン参加者23名、社協職員3名、実習生1名

<西地区>

- ・吉富ノ庄運営委員会に情報提供・意見交換
- ・西地区区長会に参加
- ・南広瀬サロン発足 (6/1)
- ・西地区地域別懇談会開催 (10/6)
- ・南広瀬サロン訪問 (12/2)

<北地区>

- ・新庄振興会との関係連携体制を図る
- ・ふれあいサロンについて情報提供(助成金・マップ等)・意見交換
新庄サロン発足 (10/23)
第1回サロン [新庄産薬味で食べる手作りうどん] 開催 (10/28)
- ・北地区ふれあい事業を新庄振興会の収穫祭と同時に開催予定のため、収穫祭の実行委員会に社協八木事務所も参画
実行委員会参加 (10/28)、収穫祭実施 (11/12)
- ・サロンむろはしに南丹地域リハビリテーション支援センターの方来訪。ロコモティブシンドロームの講義や測定を行い、介護予防の重要性を確認 (7/21)

- ・サロンむろはし毎月訪問（12/15、1/19、1/16）
- ・新庄サロン訪問（12/16）

＜神吉地区＞

- ・サロン杉の子訪問（5/25、7/6）
- ・神吉地区地域別懇談会開催（7/12）
- ・神吉公民館運営協議会に出席し、地域別懇談会報告及び今後について提案（7/26）
- ・Iターン移住者との懇談会を計画。若い世代ともつながりを図る。[神吉Iターン移住者座談会 開催（12/15）]
- ・ふれあいネットワーク会議臨時開催（10/25：ふれあい事業に向けて）
- ・サロン杉の子訪問（10/19、12/7、2/15）

◆日吉町

＜全地域＞

- ・日吉地域会議への参画
 - 【メンバー】 ローソン、日吉ゆう薬局、明治国際医療大学付属病院、南丹市地域包括支援センター、南丹市、民生児童委員、南丹市社協日吉事務所 等
 - 4月18日 日吉地域での今後の取り組みについて
ミニデイサービスでの薬についての講演、就労継続支援B型事業所「ひより舎」製品の販売（ローソン）
日吉コミュニティールームの活用方法について
南丹市主催の精神障害者相談会（7/5、11/15、3/2）
禁煙相談（7/3、11/30）
認知症カフェ「ひよしのまちカフェ」（4/20開始）
まちの保健室「明治国際医療大学」（8月～）
 - 6月20日 ひよしのまちカフェについて
ローソンによる日吉町内での移動販売について
 - 8月22日 ローソン、ユニクロによる移動販売について
初回は南丹市五ヶ荘地域活性化センター「旧五ヶ荘小学校」にて実施
 - 9月27日 ローソン、ユニクロによる移動販売の実施（来場者約100名）
 - 10月17日 移動販売の振り返りと今後の方向性について
コミュニティールームの活用について（新たな利用団体について）
ひよしのまちカフェについて（状況報告）
ひより舎製品をローソンで販売することについて（進捗状況）
 - 12月19日 これまでの振り返り（地域ケア推進会議の報告、まちカフェ報告含む）
会議への新規参加団体（南丹市商工会日吉支所、南丹市地域振興課）を迎え、今後の取り組みについて意見交換
 - 2月20日 各参画団体の事業目標、ミッション、強み等を共有し、平成30年度の取り組みについて検討する
- ・ひよしのまちカフェ「認知症カフェ」
 - カフェ（4/20、5/18、6/22、7/27、8/24、9/21、10/19、11/16、12/21、1/25、2/22、3/22）
 - カフェ実行委員会（4/13、6/15、9/12、12/4、3/8）
- ・地域ケア推進会議にて「ひよしのまちカフェ」について報告（11/14）
- ・移動販売の状況確認
 - 2月14日 京都生協（志和賀）
京都生協担当者との意見交換（販売箇所の一部変更、追加、3月以降の曜日変更等の情報をいただく）
 - 2月19日 胡麻屋たすかる企画（新町、畑郷）
 - 2月20日 ゆきちゃん号（木住区） → 販売業者と出会うことができず、次年度に持ち越し。

<世木地区>

- ・世木の里づくり委員会〔世木地域振興会〕生活関連グループ会議への参画（H27年度より継続）
 - 4月18日 地域づくりについて
 - 5月24日 我が事・丸ごと地域共生社会について
 - 6月21日 地域別懇談会の概要説明、参加協力依頼
 - 7月13日 地域別懇談会への参加
 - 10月24日 地域別懇談会のまとめ、今後の取り組みについて
殿田区内での「おためしカフェ」実施にむけて（進捗状況の報告）
 - 12月 7日 里づくり委員会合同会議
 - 1月28日 おためしカフェ（殿田区下）開催
- ・世木地域振興会事務局長との意見交換（6/21）

<五ヶ荘地区>

- ・モデル地区としての支援を継続（別記→地域福祉推進モデル事業）
 - 2月15日 住みよいむらづくり協議会役員との懇談会
参加者：役員7名、社協職員4名、日吉町企画小委員1名

<胡麻地区>

- ・NPO法人胡麻地域振興会 「たべる・輪」（子ども食堂） 開始
 - 9月15日より1回/月 で開催（9/15、10/20、11/17、12/15、1/19、2/16、3/16）
 - 「たべる・輪スタッフ」との意見交換会（10/26）
- ・上胡麻区：「福祉防災マップ」「見守りマップ」作成についての説明と協力依頼（10/31）
参加者：区長、副区長、日吉町企画委員（上胡麻地域ふれあい委員）、社協日吉事務所
 - 12月16日 上胡麻区組長会にて説明
 - 1月27日 木戸地域懇談会
 - 1月28日 大戸地域懇談会
 - 2月28日 塩貝地域懇談会
 - 3月 9日 上胡麻区長、副区長との打ち合わせ（懇談会の報告及び今後の取り組みについて）
- ・畑郷区：畑郷いきいきサロン（12月発足）
- ・地域づくり勉強会 in 胡麻 への参加〔南丹市地域振興課主催〕（11/11、12/12）
先進地事例の講演と地域住民とのワークショップ
- ・胡麻地域づくり組織準備会発足記念イベント 「笠置ROCK」上映会・監督講演会（3/31）

<田原地区>

- ・興風交流センターでの新たな居場所づくりについて協議
 - 9月28日 興風交流センター館長、南丹市日吉支所市民生活課長、社協にて意見交換
 - 1月17日 南丹市人権政策課との意見交換
 - 3月13日 関係者打ち合わせ（センター、南丹市日吉支所、社協本所、日吉事務所、はぎの里）
※南丹市により「隣保館デイサービス事業」として実施予定（事業開始時期は未定）。社協、はぎの里等は、実行委員のメンバーとして協力していく予定。

◆美山町

<知井地区>

- ・5月 食工房いろどり お弁当事業の内、独居高齢者宅への配達等生活支援活動の情報収集し、課題を把握、事業支援策を探る。
- ・5月31日 平成29年度活動計画（懇談会等）の打合せ会議

- ・ 6月21日 住みよい安全安心のまちづくり委員会 総会
地域福祉ワークショップを報告する。
懇談会では、サロン活動の現況の共有、課題把握を行い、今後の取り組みへの提案を引き出す。
- ・ 7月27日 懇談会の振り返り会議（まちづくり委員会役員と）
社協で記録まとめをした懇談内容を役員と共有
サロン活動への支援（活動への保険の活用、施設送迎車両の利用、運転ボランティアの呼びかけ等）
- ・ 8月 8日 知井ふれあいホームと施設送迎車両の利用について打ち合わせ
- ・ 8月19～28日 ワークキャンプ受け入れ
- ・ 8月26日 ワークキャンプ10周年記念行事（知井小学校）
- ・ 9月30日 災害時要援護者避難支援者の確認（民生委員、ふれあい委員、消防団、区長）
- ・ 11月26日 知井地区文化のつどい
- ・ 2月12～18日 ワークキャンプ受け入れ（2月15日 知井地区一斉高齢者等訪問アンケート調査）

＜平屋地区＞

- ・ 平屋地区地域福祉推進協議会 役員会への出席
(5/15、6/13、7/15、9/15、11/9、12/11、1/15、2/2、2/9、2/16)
- ・ 6月 5日 平成29年度 総会および研修会
研修会：介護保険制度改正について新総合事業と生活支援体制整備の説明
(南丹市役所高齢福祉課、社協美山事務所より)
- ・ 「平屋尚学校」を訪問し活動を取材（旧平屋小学校図書室を拠点に、各種教室の開催、団体のミーティング、児童の放課後活動を実施）
- ・ 6月19日 京都府社協コミュニティーワーカー実践研修会（平屋地区高齢者の訪問聴き取り調査）
平屋地区の独居・高齢者世帯約10世帯に対し、京都府内の市町村社協18名が訪問し、話を伺い、抱える課題や思いを把握し、どのような支援や繋がりが必要かを考える。
- ・ 7月15日 平屋ふれあいカフェに参加
- ・ 8月14日 世代間交流事業（竹細工遊び）
- ・ 8月30日 平屋地区サロン従事者交流会
平屋地区のサロン活動従事者同士の交流と勉強会。社協の貸出物品の説明、ドレミグループの坂本二三恵さん指導による体操や手遊びなどを行った。
- ・ 10月 7～ 8日 高齢者とのふれあい・ささえあい活動〔大谷大学（志藤ゼミの学生22人）との協働〕
7日：ふれあいカフェの開催（学生の企画運営） 参加者100人
8日：高齢者世帯9世帯を個別訪問し、家の手伝い等を行い交流
- ・ 第2期 平屋地区住民福祉活動計画 の策定作業
第1期計画の実施項目の評価点検（12/11、1/15役員会にて実施）
1～3月、作成作業。（評価事項を元に、基本目標・実施活動内容等をレイアウトし作成）
3月13日 全体会（福祉懇談会）で承認後印刷し3月下旬に完成
- ・ 11月26日 平屋文化のつどい
- ・ 2月26日 平屋地区民生児童委員とふれあい委員交流会
テーマ「地域で気になること」：事例紹介、意見交換等
- ・ 3月13日 平屋地区福祉協全体会（福祉懇談会を兼ねる）
第1期 平屋プラン について活動報告とふりかえり
第2期 平屋プラン について意見交換
- ・ 3月27日 平屋地区住民福祉活動計画（第2期 平屋プラン）の策定 []
パンフレット（700部）を作成し平屋地区で各戸配布。行政、社協他関連施設に配架。

＜宮島地区＞

- ・ 5月22日 ふれあい委員・民生児童委員交流会
社協より、事前にふれあい委員代表者と内容について打合せを行う。
当日は社協から、事業計画、地域別懇談会やサロンの場での交流へのヒントを説明
集落別にふれあい委員と民生児童委員との情報共有に社協も情報提供等行う。

- ・ 7月28日 和泉区人権学習会において「災害時の配慮と支え合い」をテーマに、避難場所での福祉避難コーナー設置や配慮、また認知症の方への理解について説明を行った。包括支援センター職員と協力して行った。
- ・ 10月26日 宮島地区の地域福祉推進協議会立ち上げ準備会設置に向けての調整会議
- ・ 宮島振興会 買い物ツアー事業
宮島地区在住の独居高齢者等を対象に定期的な買い物ツアーを実施(11/30、12/14、1/18、2/15、3/15)

＜鶴ヶ岡地区＞

- ・ 6月23日 第1回住み続けられる町づくり推進会議
ふれあい委員の任務、サロンの役割を説明について／移住コンシェルジュの話／懇談会
- ・ 2月23日 第2回住み続けられる町づくり推進会議
地域医療を考える（美山診療所医師確保検討・住民説明会）

＜大野地区＞

- ・ 虹の湖ネットワーク推進会議に出席し各種情報提供、提案を行う。
5月23日 役員と年間計画を打合せ
5月26日 総会へ参加し、モデル事業の説明および懇談会の内容を提案
9月29日 虹の湖ネットワーク推進会議
10月13日 虹の湖ネットワーク推進会議
11月26日 大野虹の湖福祉フェスティバル（大野虹の湖交流センター）
1月24日 大野虹の湖ネットワーク 地区別懇談会
講演：「東日本大震災・熊本地震から学ぶ ～一般避難所での状況と日頃からの課題について～」
講師：京都福祉ネット 代表取締役、京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター 今井 昭二 氏

3. 地域の暮らしを支える事業（※南丹市委託事業・京都府社協委託事業）

① 介護予防・生活支援事業（※南丹市委託事業）

(1) 食の自立支援サービス事業

◆支援実績（3月末現在）

	園 部	八 木	日 吉	美 山	合 計
利用登録者数	21 人	38 人	43 人	68 人	170 人
延べ配食数	3,208 食	11,100 食	9,511 食	8,746 食	32,565 食
備 考	夕食	昼食、夕食 (特別食あり)	夕食 (特別食あり)	昼食、夕食 (特別食あり)	

(2) 外出支援サービス事業

◆支援実績（3月末現在）

	園 部	八 木	日 吉	美 山	合 計
利用登録者数	177 人	119 人	150 人	139 人	585 人
延べ利用件数	2,804 件	2,676 件	2,442 件	1,390 件	9,312 件
延べ運行距離	76,336 km	38,176 km	120,912 km	93,960 km	329,384 km

◆交通安全教室

・南丹警察から講師を招き、外出支援運転手等を対象に、交通安全教室を開催

開催日	開場	参加人数
7月 6日(木) 14:00～	園部公民館	19名
7月10日(月) 14:00～	美山保健福祉センター	27名
7月19日(水) 14:00～	社協本所農事研修室	19名

◆福祉有償運送運転協力者講習会

6月10日(土)・11日(日) 2人(対象：園部・八木外出支援運転手)

9月 9日(土)・10日(日) 5人(対象：園部・八木外出支援運転手)

◆交通空白地有償運送運転協力者講習会

5月13日(土) 5人(対象：日吉・美山外出支援運転手)

◆車いす対応研修

・外出支援運転手を対象に、車いすの操作方法や利用者への配慮について各事務所にて研修実施

3月19日(月) 10人(八木事務所)

3月27日(火) 8人(美山事務所)

3月29日(木) 11人(園部事務所)

3月30日(金) 6人(日吉事務所)

(3) 生きがい活動支援通所事業

◆支援実績（3月末現在）

	園部	八木	日吉	美山	合 計
利用登録者数	※受託なし	28 人	51 人	94 人	173 人
延べ利用人数		1,181 人	804 人	2,002 人	3,987 人
開 催 箇 所		4 ヶ所	5 ヶ所	5 ヶ所	14 ヶ所

(4) 各事業のあり方検討

- ・生きがい活動支援通所事業のあり方について市との協議（5/23、6/23、7/31）
- ・H30 年度より委託方式変更。H32 で事業は廃止し、総合事業等へ移行する見込み。

② 福祉サービス利用援助事業（※京都府社協委託事業）

◆支援件数状況（3月末現在）

事務所	支援件数					内、生活保護 受給世帯
	内 訳				合計	
	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他		
園 部	0	18	13	7	38	17
八 木	7	5	3	3	18	5
日 吉	5	5	3	2	15	7
美 山	1	6	2	2	11	3
合 計	13	34	21	14	82	32

◆各種研修

研修・会議	開催日	参加人数
専門員新任研修（府社協）1回目	4月21日（金）	2人
専門員新任研修（府社協）2回目	7月 7日（金）	2人
生活支援員新任研修（府社協）〔南部〕	10月 6日（金）	2人
生活支援員現任研修（府社協）	10月12日（木）	3人
第1回専門員・担当職員会議・テーマ別研修交流会（府社協）	6月22日（木）	4人
第2回専門員・担当職員会議・テーマ別研修交流会（府社協）	3月 9日（金）	4人
専門員事例検討会（南丹・乙訓ブロック）	10月18日（水）	2人
生活支援員研修交流会（市社協）	8月17日（木）	29人
	3月14日（水）	31人
南丹ブロック現任生活支援員研修準備会	7月26日（水）	2人
	11月27日（月）	2人
南丹ブロック現任生活支援員研修	12月 6日（水）	35人

③ 福祉資金（生活福祉資金・くらしの資金）貸付事業（※京都府社協委託事業、南丹市委託事業）

◆生活福祉資金 町別相談件数内訳（4月～3月末）

園部町	八木町	日吉町	美山町	その他	不明	合計
46	25	10	4	3	1	89

※相談件数 89 件のうち、53 件は新規貸付相談、36 件は償還等に関する相談

◆生活福祉資金 相談件数内訳（4月～3月末 重複あり） ※空欄はゼロ

	総合支援資金			教育支援資金		不動産担保型 生活資金	緊急小口資金	臨時特例つなぎ	福祉費	不明や非該当	制度について	その他	合計
	生活支援費	住宅入居費	一時生活再建費	教育支援費	就学支援費								
相談	5			17	16		22		36		4	9	109
貸付				2	2		2		5				11

※国の教育支援拡充施策にともない、11月1日より生活福祉資金(教育支援資金)の取扱いが変更となった。

(主な変更点: 日本学生支援機構第二種奨学金を優先し同時貸付不可) → 変更以降の教育費の相談なし。

※償還について動きのない借受人にも角度を変えてアプローチし続け、状況に合わせた償還を促している。

※相談・貸し付け件数、昨年度に引き続き減少傾向にある。(府全体の件数も減少傾向にある。)

※生活困窮者支援事業との連携により、相談段階にて多極的な支援へとつなげている。

※初期滞納・中期滞納にアプローチし、早期解消を図っている。

◆くらしの資金貸付事業 申請状況

※()内は相談件数

	園部	八木	日吉	美山	合計
夏 期	1 (1)	1 (1)	0 (1)	1 (1)	3 (4)
年 末	3 (3)	2 (2)	0	0	5 (5)

④ 生活困窮者自立支援事業 (※南丹市委託事業)

◆相談受付件数 ※空欄はゼロ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規相談受付件数(総数)	5	5	7	7	3	2	6	3	3	4	8	8	61
プラン作成件数(総数)	1	3	1		2		4	4	4		4	4	27
事業等利用件数 法に基づく	住居確保給付金												0
	家計相談支援事業	1	1				2		1		2	1	8
	自立相談支援事業による就労支援		1				1	2			1	4	9

※町別内訳

園部町	八木町	日吉町	美山町	その他	不明	合計
29	9	13	5	2	3	61

※年代別内訳

～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	不明	合計
5	6	11	12	8	8	5	6	61

◆支援調整会議の開催

- ・12回開催(4/21、5/25、6/29、7/24、8/23、9/22、10/24、11/24、12/19、1/26、2/21、3/23)
- ・各関係機関の連携と支援の方向性、課題の整理、援助案の提供、支援プラン等について検討、承認。

◆生活困窮者自立相談支援事業緊急時助成要綱の制定

- ・共同募金を活用(2件適用)

◆生活困窮者自立相談支援事業 歳末激励金(対象者20名)

- ・赤い羽根募金を活用し、自立相談支援を継続している生活に余裕のない方へ、担当地区民生委員を通じて歳末の激励金を支給。

◆生活困窮者自立支援事業研修会

開催日:1月16日(火)13:30～16:30

場 所:園部公民館 大研修室

内 容: [報告] ①生活困窮者自立支援事業実施による成果と課題

②生活困窮社会における地域づくり研究会の中間報告について 他

(報告者) 大谷大学 文学部 社会学科 志藤 修史 教授

[演習] 事例検討(班に分かれて3つの事例を検討)

(助言者) 大谷大学 文学部 社会学科 志藤 修史 教授

参加者:19名(支援調整会議関係者)

◆法的解決支援プログラム

〔内 容〕生活困窮者自立支援事業を含む既存の事業運営に際し、法的な解決が必要な事案に対処するため、京都司法書士会と法的解決支援プログラムの委託契約を締結。案件ごとに委託通知を行い、対応チームからひとりの司法書士が派遣される。一般法律相談だけでは解決に至らない事案に対して、委任も想定し、事案が解決するまでアウトリーチによって対応できるしくみ。(無料)

〔実 績〕相談 6 件

※法的な解決が必要と思われる事案に対し、速やかに相談するルートを持つことが出来た。支援者にとって心強い連携先となっている。相談者は困窮している方が多く、相談費用が捻出できない方が多いため、金銭的な負担なく専門家へ相談することができる。また、早い段階で相談者に合わせた場所と面談日を決めることが出来、早期解決に繋がっていると考えられる。

◆フードバンク事業

〔内 容〕お金がなく、食べるものもないという方に対する緊急支援（社協内における試行的しくみ）

〔実 績〕配布先 10 名

〔配布物〕米、カップ麺、インスタントラーメン、水 等

◆くらしの相談会（出張相談）

実施日	場所	相談件数
9月27日(水) 13:30～15:30	地域活動支援センター・そよかぜ美山	0件
10月20日(金) 13:30～15:30	地域活動支援センター・園部ひだまり	1件
11月24日(金) 13:30～15:30	地域活動支援センター・そよかぜ八木	0件 (当日キャンセル:2件)
12月 8日(金) 13:30～15:30	地域活動支援センター・そよかぜ日吉	0件

⑤ 法人後見

- ・南丹市市民後見人養成講座 実践編（南丹市主催）の開催に協力
期 間：7月7日(金)～9月30日(土) 全9回
- ・南丹市市民後見人養成講座終了後にかかる勉強会（出席）
日 時：2月20日(火) 10:00～12:00
場 所：南丹市役所 福祉事務所
内 容：市民後見人の今後の活動・フォローアップについて
成年後見制度利用促進のための体制づくりについて 他

包括支援の部

総 括

南丹市からの受託事業である地域包括支援センター事業、認知症初期集中支援チームの活動について、職員 10 人が市内 4 カ所の包括支援センター事務所で業務を行った。

地域の高齢化とともに相談件数は増加傾向で、その内容は介護保険制度に関することが中心ではあるが、相談を受ける中で、家族全体で抱える困りごとが多岐にわたり、課題が複雑化していることもあった。また、セルフネグレクト(※1)状態の独居の方への対応では、民生児童委員や社協生活相談センター、介護サービス事業所などが、それぞれ本来の業務を超えた対応が必要だった。このような対応についての整理が今後の課題である。

多岐にわたる相談への対応ができるよう、職員は地域に積極的に出向き、医療機関、民生児童委員やふれあい委員、区長、介護保険事業所、ケアマネジャー、地域組織等々の関係機関と顔の見える関係をつくることに努力した。こうしたネットワークを築き、高齢者が住みよい地域で尊厳ある生活を継続できるように、地域包括ケアシステムの構築に向けて事業を推進した。地域ケア個別会議、地域ケア推進会議では、地域課題が明確になるように意識して、参加者がそれぞれの立場で取り組めることを検討してもらう機会となった。

平成 29 年度から総合事業が開始となり、事業対象者や要支援認定者の生活支援やケアプランの作成等業務量は増えている。市内居宅介護支援事業所へ約 7 割は委託していて、ケアマネジャーの負担が増えている状況である。

今年度から開始した認知症初期集中支援チームの活動については、活動の方法や会議の持ち方など認知症サポート医師と一緒に、試行錯誤を繰り返しながら、年度末にはある程度の形ができた。次年度は、さらに多くのケースに対応できるよう啓発に力を入れ、活動にあたりたい。

(※1) セルフネグレクト：自己放任。成人が通常の生活を維持するために必要な行為を行う意欲・能力を喪失し、自己の健康・安全を損なうこと。必要な食事をとらず、医療を拒否し、不衛生な環境で生活が続け、家族や周囲から孤立し、孤独死に至る場合がある。防止するためには、地域社会による見守りなどの取り組みが必要とされる。

1. 南丹地域包括支援センター事業（南丹市委託事業）

(1) 総合相談事業

新規相談件数は毎年増加傾向であり、今年度も昨年度比で増加している。

内訳はこれまでと同様、介護保険制度や福祉サービスについての内容が多くを占めている。依然として、認知症の相談も多い現状であるが、初期の段階の相談が増え「おかしいな」と感じたら早めに相談するという流れが浸透してきたように感じる。また、地域内での気づきから「状況確認」を依頼されることや、病院機関からの退院時支援の相談も多い。そのほかには、高齢者の車の運転がメディア等で取り上げられるなど社会問題になっているが、包括にも「親の運転をやめさせたい。」「免許証を返そうと思うが、生活に影響する。」など、切実な相談が寄せられている。

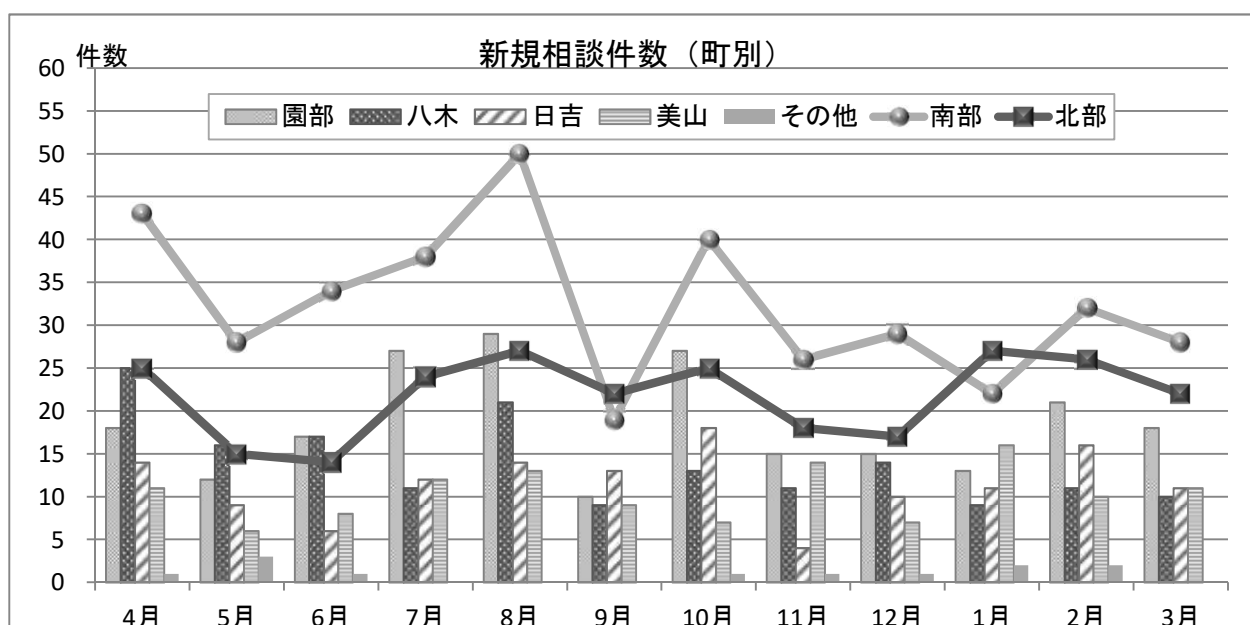
介護保険サービスの相談では、デイサービス利用の希望があっても定員いっぱい、すぐに利用できない状況がみられる地域もあり、引き続き行政、地域住民、社協との連携により、総合事業の緩和型や住民主体のサービスなどの整備も並行して進めていくことが大切であると感じている。

また、相談内容の中で、生活困窮や虐待、様々な要因が混在している状況など、内容も多様化しており、生活相談センターや行政、地域住民や民生委員、各関係機関との連携がますます必要となってきた。

相談経路として、親族が最も多く、次いで行政、ケアマネ、医療機関、民生委員からの相談が多くを占めている。今後も、様々な経路から気軽に相談してもらえる窓口として、職員の資質向上や包括支援センターの啓発等行っていきたい。

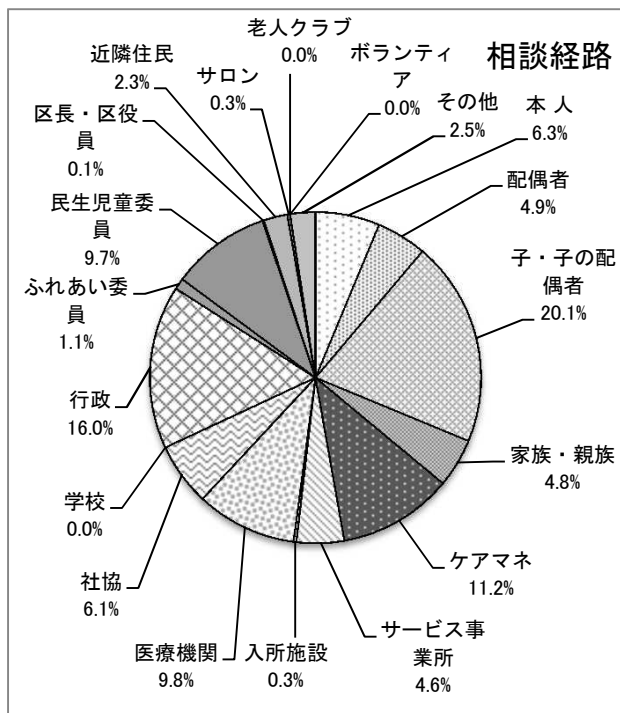
① 新規相談件数

		件 数												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
南 部 (内訳)		43	28	34	38	50	19	40	26	29	22	32	28	389
	園部	18	12	17	27	29	10	27	15	15	13	21	18	222
	八木	25	16	17	11	21	9	13	11	14	9	11	10	167
北 部 (内訳)		25	15	14	24	27	22	25	18	17	27	26	22	262
	日吉	14	9	6	12	14	13	18	4	10	11	16	11	138
	美山	11	6	8	12	13	9	7	14	7	16	10	11	124
その他		1	3	1	0	0	0	1	1	1	2	2	0	12
合 計		69	46	49	62	77	41	66	45	47	51	60	50	663



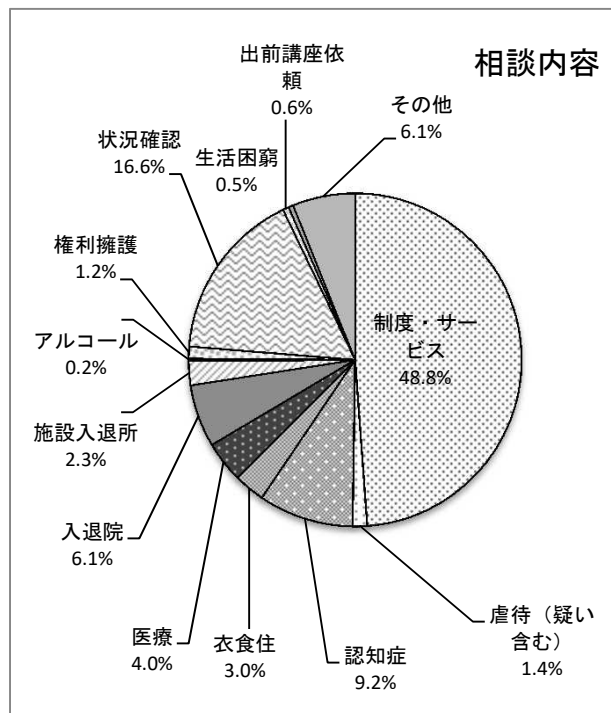
② 相談経路(重複あり)

相談経路	件数	割合
本人	46	6.3%
配偶者	36	4.9%
子・子の配偶者	147	20.1%
家族・親族	35	4.8%
ケアマネ	82	11.2%
サービス事業所	34	4.6%
入所施設	2	0.3%
医療機関	72	9.8%
社協	45	6.1%
学校	0	0.0%
行政	117	16.0%
ふれあい委員	8	1.1%
民生児童委員	71	9.7%
区長・区役員	1	0.1%
近隣住民	17	2.3%
サロン	2	0.3%
老人クラブ	0	0.0%
ボランティア	0	0.0%
その他	18	2.5%
合 計	733	100.0%



③ 相談内容(重複あり)

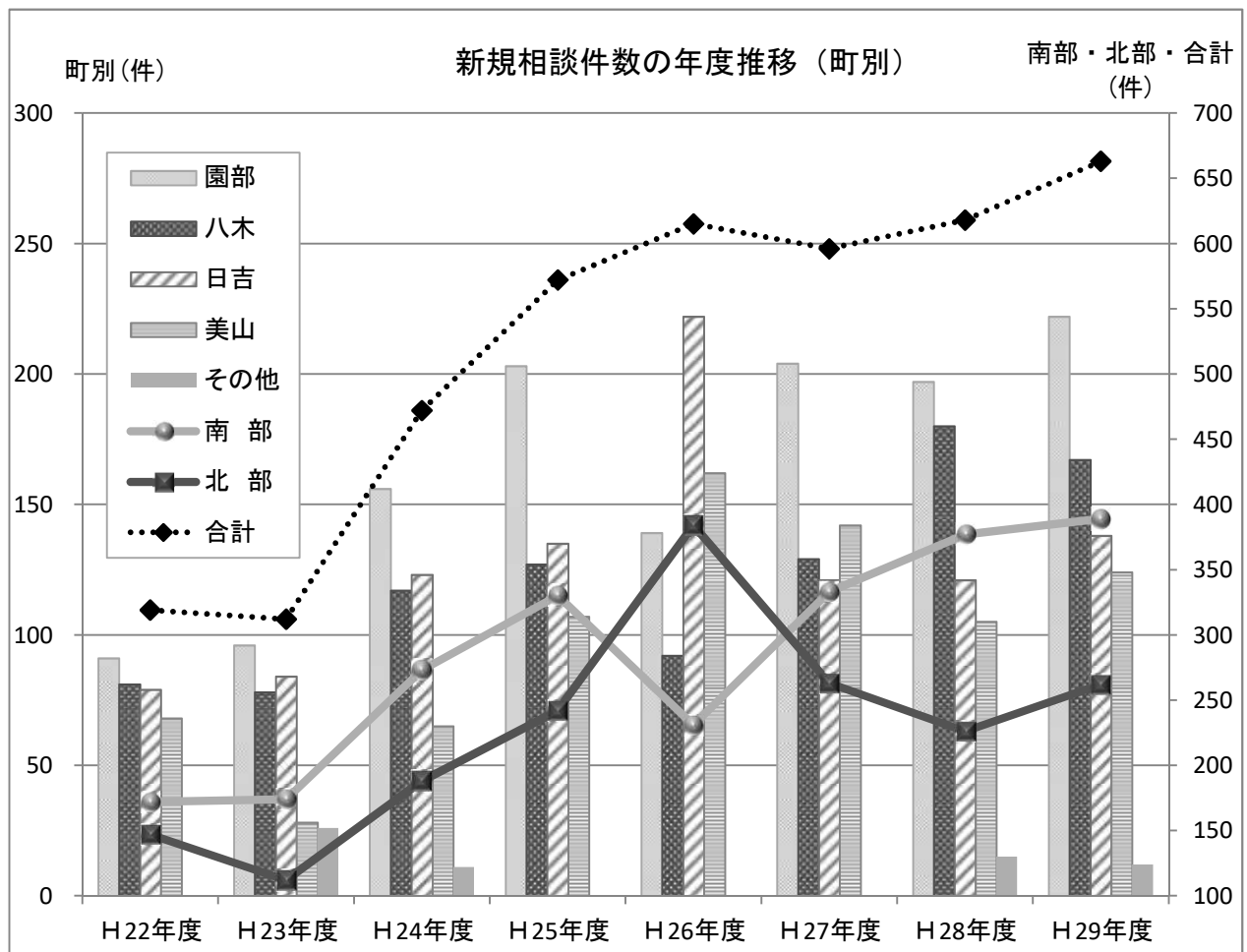
相談内容	件数	割合
制度・サービス	418	48.8%
虐待（疑い含む）	12	1.4%
認知症	79	9.2%
衣食住	26	3.0%
医療	34	4.0%
入退院	52	6.1%
施設入退所	20	2.3%
アルコール	2	0.2%
権利擁護	10	1.2%
状況確認	142	16.6%
出前講座依頼	5	0.6%
生活困窮	4	0.5%
その他	52	6.1%
合 計	856	100.0%



④ 新規相談件数の年度推移（町別）

		件 数							
		H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
南 部 (内訳)		172	174	273	330	231	333	377	389
	園部	91	96	156	203	139	204	197	222
	八木	81	78	117	127	92	129	180	167
北 部 (内訳)		147	112	188	242	384	263	226	262
	日吉	79	84	123	135	222	121	121	138
	美山	68	28	65	107	162	142	105	124
その他		0	26	11	0	0	0	15	12
合 計		319	312	472	572	615	596	618	663

※今年度は、平成22年度の約2.08倍に増加している。



(2) 権利擁護業務

虐待対応については、これまで正式に認定する場がなかったが、今年度、認定する場を設けることができた。認定されれば、関係機関がどのように対応していくかを検討し、支援を開始している。認定されなかったとしても、支援が必要な家庭であることにはかわりはないので、関係機関が継続的に関わっている。

違いがないように思えるが、「虐待である」と認定することで、措置などの法的手段をとれることが大きなメリットである。また、認定したからといって、養護者を悪者にしたり責めるのではなく、「支援の必要な方」として関わるのが重要になる。

内容を見ると、虐待者が息子というケースが半数を占めており、その全てに経済虐待が起こっている。これは、息子の経済基盤が不安定であることを示している。世帯収入が低いことから、本人の年金使途が生活費優先となり、必要なサービスが受けられず、結果、介護放棄にも繋がったりする。また、そういったケースは他の親族との関係が疎遠であるばかりか、自ら関係を断ち切っているケースもある。そのため、解決に向けて動こうにも、頼れる親族がおらず、市長申立での成年後見制度利用や措置でのサービス利用を選ばざるを得ない状況である。

センターとしては、こういった虐待ケースの分析をすることで、起こりやすい要因、環境を把握し、虐待の防止に努める必要がある。そして、ハイリスク要因や環境を知ること、必要な支援のありかたを探ると共に、政策への提言、社会資源の開発を行いたい。

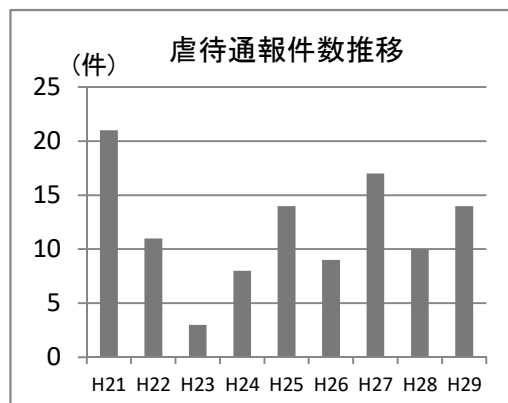
① 虐待通報件数（年間） 14 件（認定 10 件）

② 相談者内訳

相談者	件数
民生委員	0
ケアマネ	4
サービス事業所	1
医療機関	0
行政	5
その他	4
合 計	14

③ 虐待種別（重複あり）

種 類	件数
身体的虐待	7
心理的虐待	5
介護放棄	4
性的虐待	0
経済的虐待	8
疑い不適切な状況	0
合 計	24



④ 被虐待者の内訳

性 別	人数
男 性	1
女 性	13
合 計	14

年 代	人数
6 4 歳以下	0
6 5 ～ 6 9 歳	1
7 0 ～ 7 4 歳	1
7 5 ～ 7 9 歳	2
8 0 ～ 8 4 歳	6
8 5 歳以上	4
合 計	14

要介護度	人数
申 請 中	1
要支援 1	0
要支援 2	4
要介護 1	2
要介護 2	2
要介護 3	1
要介護 4	0
要介護 5	0
認定なし	4
合 計	14

認知症有無	人数
あ り	6
な し	6
不 明	2
合 計	14

⑤ 養護者の内訳

性 別	人数
男 性	9
女 性	5
合 計	14

年 代	人数
3 0 歳以下	0
3 1 ～ 4 0 歳	3
4 1 ～ 5 0 歳	3
5 1 ～ 6 0 歳	5
6 1 ～ 7 0 歳	2
7 1 歳以上	1
合 計	14

関係(続柄)	人数
夫	1
妻	1
息子	7
娘	2
息子の妻	2
娘の夫	0
孫	1
その他	0
合 計	14

同居の有無	人数
同 居	9
別 居	5
合 計	14

(3) 包括的・継続的マネジメント支援事業

高齢者は健康、身体機能、認知機能、居住環境などにおいて複数の課題を抱えながら生活をしている場合が多いが、その上経済的な問題や複数の介護が必要な場合など、ケアマネジャーの支援が複雑多様になっている。複数の生活課題を抱えているケースに対し、ケアマネジャーと情報共有、場合により地域ケア個別会議を開催し、解決に有効な方法を見出す機会とした。

ケアマネジャーの資質向上の為、ケアマネ連絡会では研修会を中心に開催し、事例検討会によりケース対応への援助を行った。通所部会ではサービス提供事業所の情報交換や研修に支援を行った。

① ケアマネ連絡会

	開催日	内容・講師	参加
第1回	5月19日(金)	関連機関(病院地域医療連携室・南丹市高齢福祉課)への質問とケアマネ業務の悩みについて	27名
第2回	7月21日(金)	関連機関(病院地域医療連携室・南丹市高齢福祉課)との情報交換会	21名
第3回	9月22日(金)	研修会「精神疾患について」	34名
第4回	11月20日(月)	研修会「事例研究発表会」 京都介護医療総研株式会社 吉良 厚子 先生	30名
第5回	1月26日(金)	研修会「2018年介護報酬改定について」 メディカル・テン代表 宮坂 佳紀 先生	26名
第6回	3月22日(木)	総合事業について(認定状況、各サービスの利用状況、生活支援コーディネーターの取り組み)・グループワーク	13名

② ケアマネ事例検討会

	開催日	タイトル	事例提供者	参加
第1回	4月20日(木)	施設サービス利用に消極的な認知症を抱える高齢者の支援	ほほえみかぐら 村山 ケアマネジャー	8名
第2回	6月15日(木)	特養に入所したい母親と入所を拒否する息子の支援	丹医会病院 大館 ケアマネジャー	11名
第3回	8月24日(木)	パーキンソン病独居高齢者の方の在宅生活支援	丹医会病院 梅本 ケアマネジャー	10名
第4回	10月19日(木)	知的障害の妻と対応力の弱い夫との高齢世帯の支援	地域包括支援センター 三宅	10名
第5回	12月21日(木)	利用者に混乱を招く介護者への関わりに対する支援について	ほほえみ八木 河村 ケアマネジャー	12名

③ なんとん通所サービス部会

	開催日	活動内容	参加
第1回	4月7日(金)	幹事会	3名
第2回	6月9日(金)	「信頼関係の構築」～人を大切にするととは～ 講師：認定コミュニケーショントレーナー協会 本部トレーナー 竹内 博士 氏	25名
第3回	7月6日(木)	幹事会	4名
第4回	9月15日(金)	「通所系事業所が担う地域貢献のあり方を探る」(食事交流会)	21名
第5回	10月17日(火)	幹事会	4名
第6回	11月21日(火)	幹事会	4名
第7回	12月26日(火)	幹事会	3名
第8回	2月23日(金)	「マンネリ化打開策・レクリエーション術」 講師：小林 康平 氏	28名
第9回	3月19日(月)	幹事会	4名

(4) 介護予防マネジメント業務

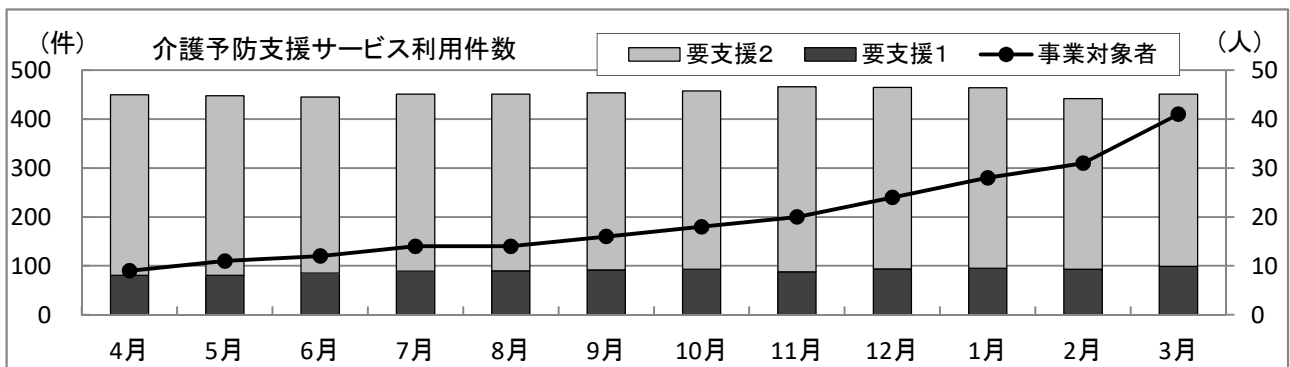
今年度総合事業が始まり、事業対象者の申請をして総合事業を利用したり、介護予防支援から介護予防ケアマネジメントAおよびBへの移行も徐々に増加している。地域住民の高齢化、介護予防の意識の向上、事業対象者認定の手続きの簡易さなどもあり、介護予防ケアマネジメント業務の対象者は年々増加がみられ、それに伴い、居宅介護支援事業所への委託件数、またセンターでの直接担当件数は年々増加がみられる。

地域やご利用者の状況により、ニーズの多様化がみられる中、支援の方法も多様化してきており、今後はさらに居宅介護支援事業所との連携を図っていく必要がある。

① 介護予防サービス・総合事業【介護予防・生活支援サービス（第1号事業）】

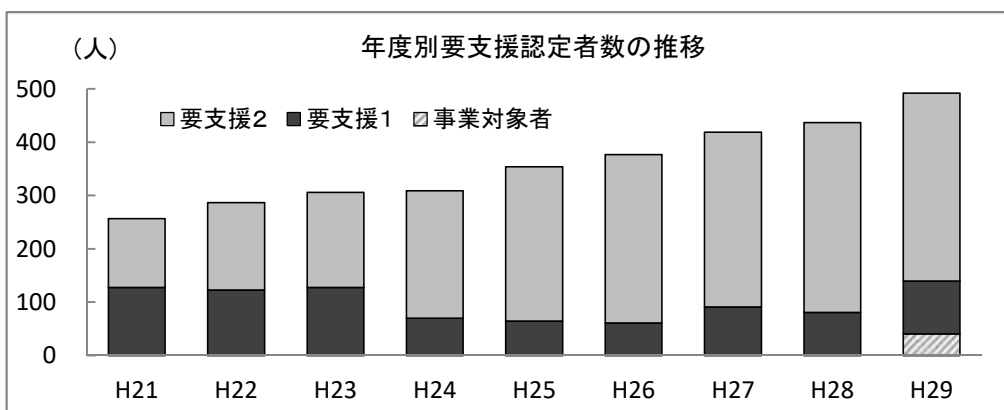
ア. 介護予防支援サービス利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業対象者	9	11	12	14	14	16	18	20	24	28	31	41
要支援1	81	81	85	89	90	92	93	88	94	95	93	99
要支援2	369	367	360	362	361	362	365	378	371	369	349	352
合 計	459	459	457	465	465	470	476	486	489	492	473	492



イ. 年度別介護予防支援サービス利用件数の推移

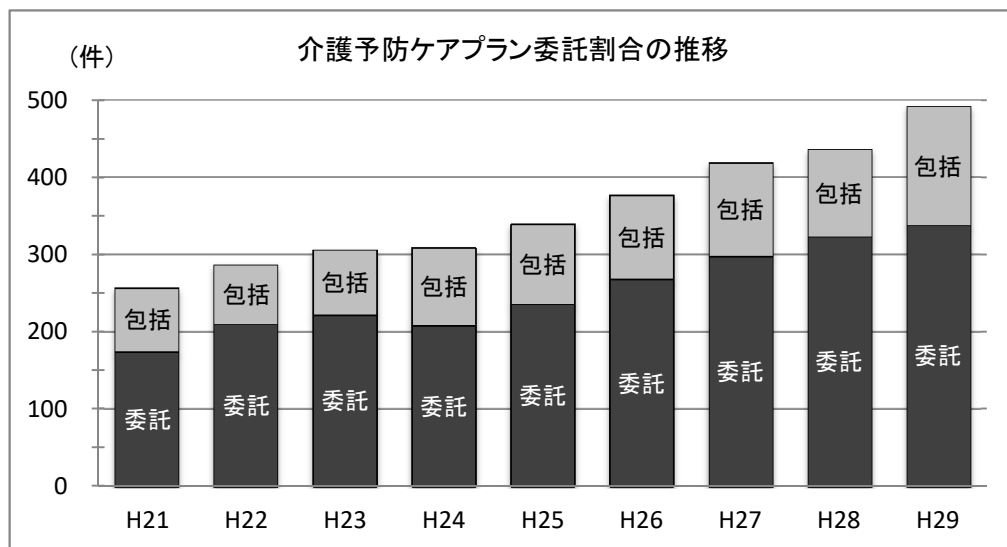
	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
事業対象者	—	—	—	—	—	—	—	—	41
要支援1	128	123	128	70	65	61	91	81	99
要支援2	129	164	178	239	289	316	328	356	352
合 計	257	287	306	309	354	377	419	437	492



※予防支援サービス利用者は、平成21年度比で約1.91倍に増加。

ウ. 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）委託状況

	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
委託	174	210	222	208	236	268	298	323	338
(委託率)	67.7%	73.2%	72.5%	67.3%	69.4%	71.1%	71.1%	74.1%	68.7%
包括	83	77	84	101	104	109	121	113	154
(職員数[人])	5	5	6	7	8	9	9	10	10
合 計	257	287	306	309	340	377	419	436	492



※ 南丹市内委託居宅介護支援事業所：18箇所／介護支援専門員数：42人

※ 平成30年3月に他市・他県でサービスを利用している要支援者：4人（京都府内：3人／他県：1人）

※ 南丹市内のケアマネジャー1人あたり平均担当数：8人

エ. 介護予防サービス計画・介護予防ケアプラン作成状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護予防支援	447	439	426	426	410	392	388	381	373	356	320	320
ケアマネジメントA	7	15	26	35	51	74	84	100	110	127	146	160
ケアマネジメントB	5	5	5	4	4	4	4	5	6	9	7	12
合 計	459	459	457	465	465	470	476	486	489	492	473	492

※ 介護予防支援 …………… 介護予防サービス利用（総合事業サービス含む）

※ ケアマネジメントA …… 総合事業サービス（現行相当）利用（くらし安心サポート含む）

※ ケアマネジメントB …… 総合事業サービス（くらし安心サポート）のみの利用

※ 介護予防サービス …… 通所リハビリ・福祉用具貸与・訪問看護・短期入所など

※ 総合事業サービス …… 通所型サービス（デイサービス現行相当）

訪問型サービス（訪問介護現行相当）

くらし安心サポート（旧 軽度生活支援事業が移行）

※ 事業対象者 …………… 基本チェックリストにより生活機能の低下がみられた方

② 介護予防啓発

生きがい活動支援通所事業（ミニデイ）、地域のサロンなどに職員が出向き、介護予防や介護保険制度等について出前講座を行った。最後まで自分らしい生活ができ、これからの人生のスタイルをまとめる意味でも、エンディングノートに関する講座を多く開催することができ、より良い生活向上の為の準備に役立つ機会となった。

また、各グループホーム運営委員会、障がい者ネットワーク会議、地区別懇談会、地域の会議等に出席し、顔の見える関係づくりを深め、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みをしている。また、医療との連携では、地域で安心して継続的に医療が受けられるよう、相互の円滑な連携を目的に活動している。

各地域を回り、情報発信や介護予防についての取り組みをすることで、包括支援センターを知ってもらい、さらに繋がりをもっていただけるような視点を大切に活動を続けている。

ア. 出前講座

	実施日	地域	団体・対象	内 容
1	4 月 4 日（火）	園部	ふれあい教室（南部）	エンディングノートについて
2	4 月 11 日（火）	園部	ふれあい教室（埴生）	エンディングノートについて
3	4 月 14 日（金）	八木	民生児童委員（南地区）	包括の業務などについて
4	4 月 21 月（金）	日吉	ヘルパー研修会	新総合事業について
5	4 月 25 月（火）	日吉	ミニデイ	介護予防・介護保険の話
6	5 月 9 月（火）	園部	ふれあい教室（半田）	エンディングノートについて
7	5 月 22 月（月）	美山	身障福社会美山支部	脱水症の話 13人
8	5 月 25 日（木）	日吉	殿田ミニデイ	介護予防・介護保険の話
9	6 月 11 月（日）	日吉	はぎの里後援会	新総合事業について 40人
10	6 月 27 日（火）	園部	ふれあい教室（大西）	エンディングノートについて
11	7 月 4 月（火）	園部	ふれあい教室（船岡）	エンディングノートについて
12	7 月 11 日（火）	南丹市	南丹看護学校講義①	在宅看護論
13	7 月 18 日（火）	南丹市	南丹看護学校講義②	在宅看護論
14	7 月 26 日（水）	美山	宮島ミニディサービス	眠りに関する講座 14人
15	7 月 28 日（金）	美山	和泉公民館	災害時の配慮と支え合い 13人
16	8 月 1 日（火）	園部	ふれあい教室（曾我谷）	エンディングノートについて
17	8 月 22 日（火）	園部	ふれあい教室（大河内）	エンディングノートについて
18	9 月 5 日（火）	園部	ふれあい教室（美園）	エンディングノートについて

	実施日	地域	団体・対象	内 容
19	9 月 12 日（火）	美山	平屋ミニディ	お花のリースづくり 11人
20	9 月 19 日（火）	園部	ふれあい教室（小山西）	エンディングノートについて
21	10 月 3 日（火）	園部	ふれあい教室（越方）	エンディングノートについて
22	10 月 5 日（木）	八木	生き通（西）	エンディングノートについて
24	10 月 10 日（火）	園部	ふれあい教室（黒田）	エンディングノートについて
23	10 月 13 日（金）	八木	生き通（南）	エンディングノートについて
25	10 月 24 日（火）	園部	ふれあい教室（天引）	エンディングノートについて
26	10 月 25 日（水）	八木	生き通（神吉）	エンディングノートについて
27	10 月 29 日（日）	南丹市	京都中部総合医療センター	講演 退院支援支援について
28	10 月 31 日（火）	八木	生き通（北・東）	エンディングノートについて
29	11 月 24 日（金）	園部	人権学習（竹井）	認知症の理解と関わり
30	11 月 28 日（火）	園部	ふれあい教室（竹井）	エンディングノートについて
31	12 月 5 日（火）	園部	ふれあい教室（高屋）	エンディングノートについて
32	12 月 10 日（日）	日吉	畑郷いきいきサロン	介護保険・健康について
33	12 月 26 日（火）	園部	ふれあい教室（仁江）	エンディングノートについて
34	2 月 6 日（火）	園部	ふれあい教室（北部）	エンディングノートについて
35	2 月 13 日（火）	園部	ふれあい教室（殿谷）	エンディングノートについて
36	2 月 16 日（金）	美山	大野ミニディサービス	ジェノグラムについて 15人
37	2 月 24 日（土）	八木	人権学習（屋賀）	エンディングノートについて
38	2 月 26 日（月）	美山	平屋地区民生児童委員 ふれあい委員交流会	地域で気になること
39	3 月 6 日（火）	日吉	下田原老人会	介護予防の話、脳トレ
40	3 月 20 日（火）	日吉	中世木サロン	介護予防の話、脳トレ
41	3 月 23 日（金）	八木	夜カフェ（ほっこり）	認知症初期集中支援事業について
42	3 月 24 日（土）	美山	深見サロン	認知症サポーター養成講座 上級編 10人

イ. 会議等への出席

	月日	地域	会議名	内 容
1	4 月 13 日 (木)	日吉	ひよしまちカフェ実行委員会	認知症カフェの運営について
2	4 月 14 日 (金)	園部	障がいNW会議	管内障がい者の支援状況共有
3	4 月 15 日 (土)	八木	ふれあい委員研修	
4	4 月 18 月 (火)	南丹市	南丹市地域福祉計画推進委員会 第4回作業部会	ワークショップ実施に向けて
5	4 月 21 月 (金)	日吉	ふれあい委員研修会	ふれあい委員の役割について
6	4 月 22 月 (土)	園部	ふれあい委員研修会	ふれあい委員の役割について
7	4 月 26 月 (水)	日吉	ふれあいホーム運営推進会議	施設運営等について
8	5 月 10 日 (水)	日吉	ひよしまちカフェ実行委員会	認知症カフェの運営について
9	5 月 12 月 (金)	園部	障がいNW会議	管内障がい者の支援状況共有
10	5 月 16 日 (火)	園部	オアシス 運営推進会議	運営状況報告など
11	5 月 16 月 (火)	八木	障がいNW会議	管内の障がい者の情報共有
12	5 月 17 日 (水)	八木	かたらいの家運営推進会議	施設運営について
13	5 月 18 日 (木)	園部	だんない運営推進会議	29年度事業計画・利用状況についてなど
14	5 月 18 日 (木)	八木	ちくりんえん運営推進会議	施設運営について
15	5 月 18 日 (木)	美山	大野地区福祉ネットワーク会議	民生委員、関連機関との情報交換会
16	5 月 22 日 (月)	美山	グループホーム 美山やすらぎホーム運営推進会議	利用者の状況及び活動報告 外部評価結果報告
17	5 月 22 日 (月)	南丹市	南丹市老人ホーム入所判定委員会	入所判定
18	5 月 23 日 (火)	日吉	障がいNW会議	管内障がい者の支援状況共有
19	5 月 29 日 (月)	美山	鶴ヶ岡地区福祉ネットワーク会議	民生委員、関連機関との情報交換会
20	5 月 31 日 (水)	美山	グループホームみやま運営推進会議	今年度の事業目標 避難訓練報告 他
21	6 月 5 日 (月)	美山	知井地区福祉ネットワーク会議	民生委員、関連機関との情報交換会
22	6 月 5 日 (月)	園部	ケアリングみそのまち運営推進会議	28年度事業報告・29年度事業計画について
24	6 月 6 日 (火)	京都府	認知症初期集中支援チーム連絡会	取組状況についての情報共有・意見交換など
23	6 月 7 日 (水)	南丹市	南丹市地域福祉計画推進委員会 第6回作業部会	ワークショップ実施に向けて
25	6 月 9 日 (金)	園部	障がいNW会議	管内障がい者の支援状況共有
26	6 月 9 日 (金)	美山	平屋地区福祉ネットワーク会議	民生委員、関連機関との情報交換会
27	6 月 13 日 (火)	美山	宮島地区福祉ネットワーク会議	民生委員、関連機関との情報交換会
28	6 月 15 日 (木)	日吉	ひよしまちカフェ実行委員会	認知症カフェの運営について
29	6 月 17 日 (土)	八木	地域福祉ワークショップ	地域福祉ワークショップ
30	6 月 20 日 (火)	全域	南丹市虐待防止ネットワーク会議	虐待事例、虐待対応マニュアルについて
31	6 月 21 日 (水)	八木	NISリハビリセンター運営推進会議	施設運営について
32	6 月 21 日 (水)	美山	知井住みよい 安心安全の町づくり委員会	28年度報告事項 高齢者宅の見守りについて他
33	6 月 23 日 (金)	美山	鶴ヶ岡 住み続けられる町づくり推進会議	29年度事業計画案について 地域福祉研修会他
34	6 月 25 日 (日)	園部	地域福祉ワークショップ	テーマ別にグループ討議

	実施日	地域	団体・対象	内 容
35	6 月 27 日 (火)	京都府	認知症リンクワーカー連絡会	講演会・本人ミーティングについて
36	6 月 30 日 (金)	園部	ふれあいハート運営推進会議	施設内見学、意見交換など
37	7 月 6 日 (木)	八木	ふれあいネットワーク会議 (西A)	情報交換、ふれあい事業について
38	7 月 7 日 (金)	八木	ふれあいネットワーク会議 (南C)	情報交換、ふれあい事業について
39	7 月 10 日 (月)	八木	ふれあいネットワーク会議 (東B)	情報交換、ふれあい事業について
40	7 月 11 日 (火)	八木	ふれあいネットワーク会議 (北)	情報交換、ふれあい事業について
41	7 月 12 日 (水)	八木	地域別懇談会 (神吉)	地域課題について
42	7 月 13 日 (木)	八木	ふれあいネットワーク会議 (南A)	情報交換、ふれあい事業について
43	7 月 13 日 (木)	園部	だんない運営推進会議	利用状況・避難訓練報告など
44	7 月 13 日 (木)	日吉	世木地区 地域別懇談会	地域課題について
45	7 月 14 日 (金)	八木	ふれあいネットワーク会議 (東A)	情報交換、ふれあい事業について
46	7 月 14 日 (金)	園部	元桐地区 地域別懇談会	「地域課題の解決に向けて」サロン活動の充実・交通手段の確保について
47	7 月 18 日 (火)	京都府	認知症地域支援推進員 ネットワーク会議	情報交換・認知症カフェについて
48	7 月 18 日 (火)	八木	障がいNW会議	管内の障がい者の情報共有
49	7 月 18 日 (火)	美山	グループホーム 美山やすらぎホーム運営推進会議	グループホームの様子 各委員からの意見
50	7 月 19 日 (水)	八木	かたらいの家運営推進会議	施設運営について
51	7 月 20 日 (木)	八木	ふれあいネットワーク会議 (南B)	情報交換、ふれあい事業について
52	7 月 21 日 (金)	八木	ふれあいネットワーク会議 (東C)	情報交換、ふれあい事業について
53	7 月 21 日 (金)	園部	摩気地区 地域別懇談会	「地域課題の解決に向けて」サロン活動の充実・交通手段の確保について
54	7 月 21 日 (金)	日吉	佐々江、四ツ谷地区地域別懇談会	地域課題について
55	7 月 25 日 (火)	南丹市	南丹市地域福祉計画推進委員会 第7回作業部会	ワークショップまとめ、計画骨子案について
56	7 月 25 日 (火)	日吉	障がいNW会議	管内障がい者の支援状況共有
57	7 月 26 日 (水)	八木	やぎ詩の郷運営推進会議	施設運営について
58	7 月 26 日 (水)	美山	グループホームみやま運営推進会議	事業所より報告 各委員からの意見 報告事項
59	7 月 26 日 (水)	日吉	ふれあいホーム運営推進会議	施設運営等について
60	7 月 28 日 (金)	八木	ふれあいネットワーク会議 (西B)	情報交換、ふれあい事業について
61	7 月 28 日 (金)	日吉	田原地区 地区別懇談会	地域課題について
62	8 月 3 日 (木)	日吉	胡麻屋福祉懇談会	取り組み、課題について
63	8 月 4 日 (金)	日吉	胡麻地区 地区懇談会	地域課題等について
64	8 月 4 日 (金)	園部	川辺地区 地域別懇談会	「地域課題の解決に向けて」見守りやサロン活動の充実・交通手段の確保につい
65	8 月 10 日 (木)	日吉	保野田・志和賀地区地区懇談会	地域課題等について
66	8 月 25 日 (金)	園部	元町地区 地域別懇談会	「地域課題の解決に向けて」見守りやサロン活動の充実・交通手段の確保につい
67	8 月 26 日 (土)	日吉	ふれあいホーム運営推進会議 夏祭り	施設運営等について、夏祭り
68	9 月 8 日 (金)	園部	障がいNW会議	管内の障がい者の情報共有
69	9 月 8 日 (金)	園部	西本梅地区 地域別懇談会	「地域課題の解決に向けて」見守りやサロン活動の充実・交通手段の確保につい

	実施日	地域	団体・対象	内 容
70	9 月 12 日 (火)	日吉	ひよしまちカフェ実行委員会	認知症カフェの運営について
71	9 月 14 日 (木)	園部	だんない運営推進会議	施設運営について
72	9 月 19 日 (火)	園部	オアシス運営推進会議	施設運営について
73	9 月 19 日 (火)	八木	障がいNW会議	管内の障がい者の情報共有
74	9 月 20 日 (水)	八木	ちくりんえん運営推進会議	施設運営について
75	9 月 20 日 (水)	八木	かたらいの家運営推進会議	施設運営について
76	9 月 21 日 (木)	美山	障がいNW会議	構成団体間の情報交換・今後の支援について
77	9 月 21 日 (木)	南丹市	第8回地域福祉計画作業部会	第3期計画素案について
78	9 月 22 日 (金)	園部	元村地区 地域別懇談会	「地域課題の解決に向けて」見守りやサロン活動の充実・交通手段の確保について
79	9 月 25 日 (月)	美山	知井ふれあいホーム 運営推進会議	状況報告・今後の取り組みについて
80	9 月 26 日 (火)	日吉	障がいNW会議	管内障がい者の支援状況共有
81	9 月 27 日 (水)	美山	グループホームみやま 運営推進会議	利用者の様子や委員からの意見交換
82	9 月 29 日 (金)	美山	美山やすらぎ GH・DS運営推進会議	利用者の様子や委員からの意見交換
83	10 月 13 日 (金)	園部	障がいNW会議	管内の障がい者の情報共有
84	10 月 17 日 (火)	八木	障がいNW会議	管内の障がい者の情報共有
85	10 月 17 日 (火)	日吉	日吉地域会議	日吉地域関係機関の情報共有、協議
86	10 月 24 日 (火)	京都府	認知症施策連絡会	若年性認知症支援について
87	10 月 24 日 (火)	南丹市	第9回地域福祉計画作業部会	第3期計画素案について
88	10 月 25 日 (水)	南丹市	第2回高齢者福祉計画 ・介護保険事業計画策定委員会	高齢者福祉施策状況・第7期計画骨子
89	10 月 25 日 (水)	園部	認知症声かけ訓練住民説明会 (川辺地区)	認知症声かけ訓練の実施について
90	10 月 25 日 (水)	日吉	長生園幸せの里グループホーム運営推進会議	利用者の生活状況や取り組みについて
91	10 月 31 日 (火)	南丹市	南丹地域保健医療協議会 ・同地域医療構想調整会議	南丹地域保健医療計画の見直しについて
92	11 月 8 日 (水)	園部	ふれあい本町運営推進会議	施設運営について
93	11 月 9 日 (木)	南丹市	「高齢者等見守り活動 に関する協定」締結式	南丹市内郵便局と協定
94	11 月 10 日 (金)	園部	障がいNW会議	管内障がい者の支援状況共有
95	11 月 14 日 (火)	美山	グループホーム 美山やすらぎホーム運営推進会議	グループホームの様子・各委員からご意見
96	11 月 15 日 (水)	八木	かたらいの家運営推進会議	施設運営について
97	11 月 16 日 (木)	八木	ちくりんえん運営推進会議	施設運営について
98	11 月 16 日 (木)	園部	だんない運営推進会議	施設運営について
99	11 月 21 日 (火)	八木	障がいNW会議	管内の障がい者の情報共有
100	11 月 22 日 (水)	日吉	ふれあいホーム運営推進会議	施設運営等について
101	11 月 28 日 (火)	日吉	障がいNW会議	管内障がい者の支援状況共有
102	11 月 29 日 (水)	美山	グループホームみやま運営推進会議	避難訓練について・事業所より報告事項
103	11 月 30 日 (木)	八木	地域別懇談会 (南地区)	地域の希望・強み・課題を整理して、出来ること、やりたいことを考える
104	12 月 6 日 (水)	八木	地域別懇談会 (北地区)	地域の希望・強み・課題を整理して、出来ること、やりたいことを考える

	実施日	地域	団体・対象	内 容
105	12 月 8 日（金）	八木	地域別懇談会（東地区）	地域の希望・強み・課題を整理して、出来ること、やりたいことを考える
106	12 月 8 日（金）	園部	障がいNW会議	管内の障がい者の情報共有
107	12 月 8 日（金）	南丹市	南丹地域保健医療協議会 ・同地域医療構想調整会議	南丹地域保健医療計画策定最終案について
108	12 月 13 日（水）	八木	NISリハトレセンター運営推進会議	施設運営について
109	12 月 19 日（火）	日吉	日吉地域会議	日吉地域関係機関の情報共有、協議
110	12 月 20 日（水）	日吉	長生園幸せの里グループホーム運営推進会議	利用者の生活状況や取り組みについて
111	12 月 20 日（水）	南丹市	京都中部総合医療センター 認知症疾患医療連携協議会	認知症疾患医療センターの活動内容について
112	12 月 27 日（水）	南丹市	第3回高齢者福祉計画 ・介護保険事業計画策定委員会	南丹市高齢者福祉計画・第7期計画素案について
113	1 月 11 日（木）	園部	だんない運営推進会議	施設運営について
114	1 月 12 日（金）	園部	障がいNW会議	管内の障がい者の情報共有
115	1 月 16 日（火）	園部	オアシス運営推進会議	施設運営について
116	1 月 16 日（火）	八木	障がいNW会議	管内の障がい者の情報共有
117	1 月 17 日（水）	八木	かたらいの家運営推進会議	施設運営について
118	1 月 23 日（火）	美山	美山やすらぎグループホーム運営推進会議	グループホームの様子・各委員からご意見
119	1 月 24 日（水）	美山	グループホームみやま運営推進会議	事業所より報告・各委員から意見、報告
120	1 月 24 日（水）	日吉	ふれあいホーム運営推進会議	施設運営等について
121	2 月 19 日（月）	南丹市	南丹市老人ホーム入所判定委員会	入所判定
122	2 月 20 日（火）	日吉	日吉地域会議	日吉地域関係機関の情報共有、協議
123	2 月 28 日（水）	南丹市	第4回高齢者福祉計画 ・介護保険事業計画策定委員会	パブリックコメントの結果等について
124	3 月 1 日（木）	南丹市	見守り協定懇談会	活動報告、認知症の理解
125	3 月 5 日（月）	南丹市	南丹保健所難病対策地域協議会	圏域内の活動報告、協議
126	3 月 8 日（木）	園部	だんない運営推進会議	施設運営について
127	3 月 8 日（木）	日吉	ひよしまちカフェ実行委員会	認知症カフェの運営について
128	3 月 12 日（月）	八木	やぎ詩の郷運営推進会議	施設運営について
129	3 月 14 日（水）	美山	グループホームみやま運営推進会議	事業所より報告・各委員からのご意見
130	3 月 16 日（金）	八木	かたらいの家運営推進会議	施設運営について
131	3 月 16 日（金）	園部	ふれあい本町運営推進会議	施設運営等について
132	3 月 20 日（火）	八木	障がいNW会議	管内障がい者の情報共有
133	3 月 20 日（火）	美山	美山やすらぎ GH・DS運営推進会議	事業所より報告・職員と委員の意見交流
134	3 月 20 日（火）	南丹市	南丹市・京丹波町民生児童委員研修会	包括支援センターの取り組み内容発表会
135	3 月 22 日（木）	日吉	ふれあいホーム運営推進会議	施設運営等について
136	3 月 23 日（金）	南丹市	南丹圏域リハビリテーション連絡会	地域リハビリ支援センター事業報告、協議
137	3 月 27 日（火）	日吉	障がいNW会議	管内の障がい者の情報共有
138	3 月 29 日（木）	園部	ふれあいハート運営推進会議	施設運営等について

(5) ネットワークの構築

今年度は、町を越えての交流会を深められるようにと会長会の機会をもち、各家族会の交流会の内容や会の現状など共有を行った。また、8月には南丹市全体の取り組みとして、合同勉強会と交流会をすることができた。

それぞれの家族会の共通する課題として、現役介護者の会員が減少してきていることがあり、理由として、現役介護者の就労形態が変化してきていることや、介護者の高齢化、介護保険サービス利用やケアマネジャーの関わりによる介護者の心身の負担軽減化があげられる。そういった中、地域住民に広く会の活動を知ってもらえるよう、家族会の広報、入会の啓発の為、社協のホームページを改訂し、家族会の開催案内等を都度発信できるようにした。

① 介護者(家族)の会

南丹市介護者家族の会

月 日	内 容
4 月 6 日 (木)	会長会：各町の情報共有、合同研修会・交流会について
8 月 24 日 (木)	会長会：各町の情報共有、合同勉強会について
8 月 30 月 (水)	南丹市介護者家族の会合同勉強会 31人(八木10人)

園部町介護者の会 なごみの輪 [会員数：25人 内、OB会員 7人]

月 日	内 容
4 月 21 日 (金)	平成29年度総会、交流会平成(11人) 事業報告、決算報告、事業計画、予算計画の承認。会則一部変更(庶務→副会長)
6 月 22 日 (木)	オムツ・尿とりパットのあて方、選び方についての勉強会 講師：(株)リブドゥコーポレーション、交流会(6人)
8 月 30 月 (水)	南丹市家族会合同勉強会&交流会「総合事業について」講師：高齢福祉課内藤主任 勉強会31名(内7名)、交流会29名(内7名)参加
10 月 19 日 (木)	8月の合同勉強会の振り返り、基本チェックリストの実施。 交流会(6人)
2 月 23 日 (金)	交流会(お茶会) ・出張カフェ(ヒーローズ JAPAN) ・認知症あんしんサポート相談口の活動について(はぎの里オアシスより2名)(12名)

八木町介護者の会 たんぽぽ [会員数：40人 内、OB会員34人]

月 日	内 容
4 月 14 日 (金)	役員会：総会について協議・調整、会報誌と総会資料の印刷製本作業
4 月 21 日 (金)	総会、交流会 (18人)
5 月 18 日 (木)	役員会：今年度の計画(詳細)について協議
6 月 29 日 (木)	介助方法の学習会(20人) 講師：京都中部総合医療センター理学療法士
8 月 30 日 (水)	南丹市介護者家族の会合同勉強会 31人(八木10人)
9 月 1 日 (金)	役員会：男のお料理教室、懇親会について協議
10 月 12 日 (木)	男のお料理教室(18人)
11 月 10 日 (金)	役員会：懇親会、男のお料理教室、おしゃべり&交流会について
12 月 8 日 (金)	懇親会(20名)終了後、役員会：男のお料理教室、おしゃべり&交流会について
12 月 8 日 (金)	役員会：男のお料理教室、おしゃべり&交流会について
2 月 14 日 (水)	男のお料理教室(17人)
3 月 2 日 (金)	役員会：おしゃべり&交流会、来年度総会について
3 月 9 日 (金)	おしゃべり&交流会について(16人)

日吉町介護者の会 絆の会 [会員数：27人 内、OB会員14人]

月 日	内 容
4 月 24 日 (月)	平成29年度 総会 (10人)
6 月 26 日 (月)	「食事や栄養のお話」～楽しい食生活を送るコツ～ 講師：明治国際医療大学附属病院 住野あつみ氏 (12人)
8 月 30 日 (水)	南丹市介護者家族の会合同勉強会・交流会 (11人)
10 月 27 日 (金)	「ええる家 歌カフェ 交流会」 (6人)
12 月 18 日 (月)	「クリスマス交流会」 (10人)
2 月 28 月 (水)	「押し花しおりづくり・アロママッサージ」 (12 人)
3 月 16 日 (金)	役員会 年度振り返り、次年度へ向けて

美山町介護者の会 あいの会 [会員数：12人 内、OB会員 4人]

月 日	内 容
4 月 19 日 (水)	平成29年度総会 意見交流会 (8人)
5 月 17 日 (水)	事業計画の具体化 次月行事に向けて (7人)
6 月 21 日 (水)	「出張あいの会」大野地区開催 (会員9人 非会員7人)
7 月 11 日 (火)	意見交流会 合同勉強会について (3人)
8 月 30 日 (水)	南丹市介護者家族の会合同勉強会・交流会 (3人)
9 月 20 日 (水)	交流会 合同勉強会の振り返り、他町の活動について (3人)
10 月 19 日 (木)	社会福祉士実習生の講座、意見交流会、今後の活動計画 (5人)
11 月 15 日 (水)	介護職不足についての意見交流、次月行事に向けて (6人)
12 月 13 日 (水)	生け花教室&クリスマス会 (9人)
1 月 24 日 (水)	編み物教室 意見交流会 (6人)
2 月 14 日 (水)	交流会 次月交流会について 次年度総会に向けて (5人)
3 月 14 日 (水)	「おでかけあいの会」美山やすらぎホームでの交流会・施設見学 (8人)

② 地域ケア推進会議

今年度、第一回目は「ゆるやかな見守り～自己決定を尊重して～」をテーマに個別のケースに関する事例のもとに、専門職の関わりと地域の支援者の連携により、住み慣れた地域で自分らしく生活しているケースを紹介した。そして、見守りとは自己決定とは何かということについて、改めて考えることができ、前年度からのテーマである「居場所づくり」につながる会議とすることができた。また、4月に完成した地域包括ケアシステム図は、地域での資源が一目でわかるように4町それぞれのものが作られており、会議の参加者にも配布することができた。

第二回目の会議は「みんなでつくる地域包括ケアシステム～まちカフェの取り組みを通して～」と題し、認知症カフェの立ち上げから運営に至るまでの取り組みについて、パネルディスカッション方式で紹介した。日吉地域で活動している民間企業、社会福祉法人、行政、地域住民の方々の思いが一つになり、「まちカフェ」と言う一つの形ができたことは大きな成果であった。このような取り組みを他の地域にも参考にしてもらい、居場所づくりに関して、住民や関係機関の連携について意識を持つことができた。

第三回目の会議は「みんなでつくる地域包括ケアシステム～気づいたら介護予防～」をテーマに、身近なサロンの取り組みが介護予防に繋がっている事例を紹介した。グループワークでは出席者それぞれの専門性や立場での強みを出し合っていたいただき、異なる専門性や立場の方々と連携をすることで、新たな取り組みが生まれたり、顔の見える関係から地域のネットワーク構築に繋がること、そのことが介護予防にも繋がっていくことということを共有し、出席の方々に今後の地域活動の参考としていただくことができた。

	月	テーマ / 開催場所	内 容
1	8 月	ゆるやかな見守り ～本人の 自己決定を尊重して～ ／ 遊youひよし	地域の支援者によるパネルディスカッション 区長・民生委員・ふれあい委員・ケアマネジャー ＜参加者＞ 117人 民生児童委員、ふれあい委員、サロン、介護保険事業所、行政、社協、見守り協定事業者、医療機関 ＜まとめ＞ ゆるやかな見守りを通して、自己決定の大切さ。それを取り巻く地域資源の関わり。助けられ上手でいることと、支援者の立ち位置について検討することができた。4町ごとの地域包括ケアシステム図を見ることで、地域資源を具体的に目で確認することもできた。
2	11 月	みんなでつくる 地域包括ケアシステム ～まちカフェの 取り組みを通して～ ／ 遊youひよし	地域の支援者によるパネルディスカッション ゆう薬局・はぎの里・社協・地域包括支援センター ＜参加者＞ 99人 民生児童委員、ふれあい委員、サロン、介護保険事業所、行政、社協、居場所代表者、地域医療連携室、集落支援員 等 ＜まとめ＞ 認知症カフェの無かった日吉地域でゆう薬局、はぎの里、社協、行政などの思いが一つになり、居場所として一つの成果をあげることができた。その取り組み内容を聞く中で、今後さらなる充実と、新たな活動へと発展させるための意見交換ができ、参加者からは積極的な発言をいただくことができた。
3	3 月	みんなでつくる 地域包括ケアシステム ～気づいたら介護予防～ ／ 遊youひよし	サロン代表者・社協・行政による話題提供とグループワーク 府営向河原団地ふれあいサロン、高齢福祉課、社協地域福祉部 ＜参加者＞ 123人 民生児童委員、ふれあい委員、サロン、介護保険事業所、行政、社協、居場所代表者、地域医療連携室 等 ＜まとめ＞ 介護予防と地域のニーズが上手くマッチしたサロンを開催されている府営向河原団地に協力願い、情報提供いただく中、今回は参加者が自由に話し合える場としてグループワークの時間を設けた。参加者からは「互いの情報共有と横のつながりの大切さを感じた」など積極的な意見を聞くことができた。

③ 地域ケア個別会議

今年度は地域ケア個別会議を42回（35ケース）開催した。認知症の課題、見守りや、家族関係、近隣との関係にまつわる課題が目立った。

会議参加者はケースにより異なるが、主には南丹市職員、ケアマネジャー、ヘルパー事業所、通所事業所、社協職員、地域包括支援センター職員等が参加している。ケースにより、家族、本人、親戚等が出席したり、民生児童委員、ふれあい委員、障害施設、司法書士等が参加している。

個別のケースについて、関係者で情報を整理し、課題の解決に向けて検討する場として機能しており、ケアマネジャーからも、支援に行き詰っている時に事例を出し、積極的に参加したいという意見を聞くことができた。

一方で、本人の課題解決を目指すだけでなく、地域で、認知症や障がい、高齢者虐待・権利擁護について周囲の理解が得られるような啓発の機会を作っていくことも課題として上げられる。

また、経済困窮等により保険料の滞納やサービス料が支払えないケースの場合は特に、公的なサービスの利用だけでは課題の解決につながらない。

今後は、住み慣れた地域でどうすれば生活が続けることが可能かという個別ケースの課題を、地域の課題として捉え、検討する場へつなげて行くことが必要である。今後も地域の課題を意識しながら、地域ケア個別会議を開催できるようにしていきたい。

	開催	内 容	ケース課題・地域課題等
1	4 月	介護認定のある母親と障害、難病、精神疾患のある嫁。様々な関係機関が関わっているため、関係者の情報共有。障害サービスが使えるように申請をしてもらう方向。	関係機関が多いと、それぞれで動いていることがあり、一定の期間で情報共有する機会が必要。
2	4 月	うつ病の娘の体調で子供や高齢の母親の生活に影響が出る。娘について社会福祉課相談員につなぎ、定期的に医療にかかることの支援をすることによって、家族みんなの安定につながることを確認し合う。包括は母親のサービス利用の調整。	関係者間で、一番関わりの強いところから、その人の支援に適切な窓口スムーズにつないでいくタイミング。
3	4 月	独居。デイの利用月2回程度。安心見守りに救急の要請が多い、救急を呼んでもカギがかかっていて入れないことがあった。デイの安定利用につなげる方法を協議。	近所は今まで通りの見守り。近所が合いカギを持つことを構わないと言ってくれているので、家族と要相談。デイは本人が利用しやすい曜日に変更。今回会議を開くことで、近隣の人と顔の見える関係を作ることができた。
4	4 月	独居の高齢者。希死念慮の心配があったが、娘の死で更に落ち込みが予測される。民生委員が交代し、詳しい状況までは知らなかったが、この会議をきっかけに見守りをしてくれることになる。ケアマネと包括で定期的に訪問し、つかず離れずの関係を保っていく。	近所の付き合いがあるので、そこを中心にして、さらに関係者も離れることなく関係を保っていく。サロンやふれあい給食は訪問のきっかけづくりとして有効。
5	5 月	隣人への攻撃的な発言で隣人のストレスが溜まっている。保健所に相談し入院を勧められるが同居の兄にその気はない。隣人には、こちら何もしていないわけではないことを理解してもらい、何かあれば警察に通報する方法を伝える。	近隣住民同士の諍いへの介入について。法的にできることはなく、方法がない。
6	5 月	障害の息子と母。母親が高齢になってきている。息子の体臭、ショートの準備ができない。家の中の片づけができない。ゴミが溜まっている。⇒息子は将来の入所を見込んでショートを増やしていき、母親には生活の困り感を聞き出す方向で。	母親は近所との行き来があるので、地域の方の関わりについてもう少し情報を集めていき、力になってもらえる部分をさぐる。民生委員と情報を共有していく視点を持つ。

	開催	内 容	ケース課題・地域課題等
7	5 月	母親を介護している息子の飲酒について。飲酒しているときの関係者の対応の確認。本人の大変さをねぎらい、家族会への誘いや近所は今までと変わらない付き合いを続ける。	本人、母親が今まで通りの生活が続けられるようにサポートしていく。専門職とのつながりも持ってもらうために、保健師も関わりの中に入ってもらおう。
8	5 月	障害のある人の運転について。かかりつけ医より「運転していることを関係者はどう思っているのか。」と問題提起があり、これをきっかけに、主治医とかかりつけ医の連携が取れるように動いていくことになった。運転については、次の更新までにサービス利用で運転しなくてもいい状況にしていくことになる。	病院の主治医と地域のかかりつけ医の連携が取れてない。医者同士の連携は医者同士ですが、いいと思うが、なかなかうまくいかない場合もあり、今回は計画相談が間に入り、連携を取ることになる。
9	6 月	認知症の夫と精神疾患の妻の高齢世帯。言い合いが絶えない状況。どちらかからの虐待が起こりかねないので、何か対策はないか。夫婦を分離する方法はないか。	再婚同士で、子たちの感情面での問題もあり効果的な解決策が出にくい。対応方法について、保健所へも相談をしていく。
10	6 月	関係者で情報共有と今後のサービスについて、過去の経過からサービス利用料の支払いが滞るのではないかと。対応可能な事業所が有るか。ご本人は閉じこもりがち。	経済的な課題と、ご本人のサロン等地域との関わりが必要である。家族関係について
11	6 月	認知症高齢者。近くの文化センターに頻回に行かれており、民生委員に電話連絡が入って対応している。1日10回以上にもなり、その対応で民生委員の生活にも影響を及ぼしている状態。	サービス利用の調整、電話対応でも落ち着くので、電話がつながるように環境整備。施設入所も視野に入れていく。民生委員が地域の見守り役をしているが、どこまで関わるのか。
12	6 月	独居高齢者。猫を大切に飼っていたが、繁殖して増えすぎている猫をどうするか。衛生環境的にも問題になって来ている。また、身近に身寄りがいないので、今後の生活をどうしていくのか検討する。	災害時等の見守りについても検討が必要。
13	7 月	高齢夫婦。夫が近所を散歩していると、近所から徘徊しているいるとみられる。また猫や掃除について気になるが、同居の息子となかなか話し合いが持てない。今まで妻が家のことを切り盛りしてきたが、年を取りできなくなっている。	しっかりしていた妻が、対応できないことが出始めていて、子供も今まで親任せで関りが薄く、突然の対応に戸惑いがでている。今までのバランスが崩れると家全体が落ち着かなくなる状況。
14	7 月	73才と67才の兄弟。医療ニーズの高い兄と障害があり兄の言いなりで過ごしている弟について。関係者間で状況共有する。	弟については、すぐにサービスにはつながらず。兄のサービス関係者が二人の状況を見守っていく。
15	7 月	長男と認知症の母親の2人暮らし。腕に誰かにきつくつかまれたような跡や、大きな声が外まで聞こえたりしている。今後の支援の確認。本人や息子には悪い気持ちはないのかもしれないが、第三者から見て対応が不適切だと思われる場面があるので、何かの変化があるときには対応を考える。	介護者へ間接的に啓発できる機会として、認知症理解や高齢者虐待・権利擁護についてなど地域で人権学習の開催ができないか。
16	7 月	障害の息子と母。母親が高齢になってきている。息子の保清と今後施設入所のことを考え、SSの利用を増やしていくことの検討。兄の思いを確認していく。民生委員さんに地域での現状を確認したり、母との面談をし、母の思い・現状を確認していくことで、親子の生活全体の支援について検討する。	障がいのある方について、昔からの馴染みの高齢の方なら受け入れてくれているが、若い世代（子ども含む）からは怖がられてしまっている。（庭先に勝手に入ってしまったこともある。）悪いことという本人の認識がなく、地域の理解が追い付かない。

	開催	内 容	ケース課題・地域課題等
17	7 月	対応力の弱い夫と知的障害の妻の高齢世帯。医療につながる動きができたので、次に介護保険料滞納や年金手続きについての動きを関係者で確認。	介入が難しかったが、民生委員からの働きかけと職員の根気よく関わった結果、夫の信頼を得ることができた。時間はかかるが、相手の気持ちに寄り添い、動き始めたときのタイミングを逃さず関係者が動くことが支援につながる。
18	7 月	認知症の独居。火の元の心配があるが、息子の同居は難しい。ケアハウス入所に向けて準備を進めているが、金銭面や将来的なこと、本人の思いはどうか、入所までの間の生活をどう支えるのか。	無理のない範囲での見守り体制の継続し、何かあれば民生委員さんへつないでもらう。
19	7 月	認知症の高齢者と息子の二人暮らし。サービス内容が合わなくなってきたので、息子を交え話し合う。息子は母親に関心はなく、自分ができないことについては、サービスを使い支払いをする意思があり、保険外サービスも盛り込むことになる。	
20	8 月	認知症高齢者と、夫、息子の三人暮らし。近所の人々がゴミ出しをしていたところ、蹴ってくる行動やゴミ置き場の大きな石を人に向けて投げってくる行為が出たため、近隣との関係をどう保っていくか。	本人が落ち着いて過ごせるケアを検討。ゴミ収集場所の変更を検討してもらうこと含め、近隣住民の理解を得ることが課題。認知症が進行してからの介入、サービス利用ではない流れが必要。認知症に対する理解の啓発活動、相談窓口、サービスに対する啓発活動が課題である。
21	8 月	在宅酸素使用の独居高齢者。呼吸苦になりパニック状態になり救急車にて搬送を繰り返すも、サービスについて拒否がありヘルパー以外は寄せ付けない。身寄りがない中今後の在宅生活をどのように支えていけばよいのか。	甥にあたる方に支援者としての協力を求め、一度話し合いをもつ。訪問看護、民生委員、ケアマネ、ヘルパーでチームを組んで、サービス利用について粘り強く話をしていく。
22	8 月	集合住宅にて独居。以前からある被害妄想の訴えが、関係者の枠を超えて周囲にまで拡大してきている。生活面や医療面において、今後の支援の方向性をどうするか。	近隣住民へ訴えに行ったり、110番通報をしたり、またサービス事業所でも同様に訴えをして、人間関係にも影響が出始めている。地域住民との関係の希薄化による孤立化も今後考えられる。
23	8 月	64歳独居。アルコール依存、生活困窮状態で権利擁護事業を利用している。アルコールが抜けず、もの忘れの進行や生活状態の悪化があり、今後の対応（医療面など）をどうしていくか。	認知症やアルコール等、医療にかかる必要がある。往診を勧めていく。室内の整理もできておらず、不衛生。65歳になれば介護保険申請を勧めていく。
24	9 月	認知症の本人が近所を頻回に訪問することで、訪問を受けた側がノイローゼになった。頻回に訪問しなくても良いよう本人へのケアや家族の理解、介護力の整理。ご近所のストレス軽減について。	家族、地域の認知症に対する理解の低さ。支える側の介護人材不足もあり、必要な本人へのケアが賄いきれない現状がある。医療との連携の難しさ。
25	9 月	障がいの息子がパトロールと称して地域をまわってしまう。サービスを広げることや着替えを入れてもらうことについて家族の理解を得いき、増回できるようにする。お金の管理について、詳細が不明。	信頼関係のある支援者から指摘することでパトロールはなくなる。サービスも増回につながり、安定しているためケア会議を終了。情報共有は継続する。
26	10 月	認知症の本人をどう支えるか。夫の病気が発覚し、本人のみで過ごす時間も増えることが予想できるため、必要な支援と、どう実現するかを検討。	介護人材不足もあり、施設入所提案するが、家族の受け入れが悪い→施設入所のイメージが悪い状況があるのか？ 介護人材不足→自費ヘルパーが代わりとなるか？

	開催	内 容	ケース課題・地域課題等
27	11 月	認知症の母と障がいの息子の二人暮らし。別棟で娘夫婦が住んでいる。 母の認知症が進み攻撃性が高まり受診できておらず、今後医療保護入院予定。入院してから、息子の生活をどう支えるか。	家族含め、認知症への周囲の理解が難しい。 息子は現在利用中の就労支援利用後、日中一時のサービスを利用することで生活が送れるめどが立つ。一方で、緊急対応等は家族が迎えに行く必要が出るが、就労状況によりむずかしければ、姉が離職するかもしれない負担がある。
28	11 月	母は精神面での波があり落ち込むと子供の世話や送り出し、祖母の介護、必要な家事が出来ない状態となる。課題が多岐にわたる為、本家庭に関わる関係機関の連携と情報共有により、支援について検討し役割を確認する。	サービスで賄える部分だけでなく、家庭内のこととなると近隣の力を借りることも難しい。家庭内で課題が抱え込まれてしまう場合の支援の難しさ。
29	12 月	独居。以前から、コンビニのトイレを借りて生活するなど住環境が整わない中で生活をしており、清潔を保持できない。また、ギャンブルにお金を使用してしまい、借金や滞納がありお金の管理ができていない課題がある。どう支援をしていくか、検討する。	生活を送るのが困難な住環境において、他の場所でのサービス提供となると介護保険にかかってくる。そこに滞納の問題、医療受診の問題が合わさると、介護保険利用が支援策として機能せず、他の支援策をとることが難しくなる。
30	12 月	介護保険サービス利用料の滞納、本人名義で水道代の滞納がある。キーパーソンの次男に連絡をするが遠方に出稼ぎに行かれており繋がらず、今後のサービスについて検討。	滞納分については、長男が支払うと言ってくれるが、今後のサービスについては利用料が支払えないなら止めて欲しいと、自費サービスは孫と事業所相談。息子が帰ってくるまでの期間限定で生活保護申請する。
31	1 月	介護サービス費・医療機関へ的高額滞納金があるが、妻は支払いに応じない。回復の見込みが低い本人の今後について、入院の継続が可能か。	金銭の話になると豹変する妻と返済計画を立てていけるか。支援を拒まれる傾向にあるが、福祉用具の貸与などで接点をもつなどし、関わりを続ける。
32	1 月	夫は寝たきりで意思疎通困難。本人は施設に入居。もともとの理解力の低さもあり、成年後見の申立てが必要と考えられる。後見の必要性や申立人、手続き等についての検討、確認	夫は寝たきりで意思疎通困難。長男は障がいGHに入居中。夫の妹は協力的な部分と非協力的な部分がはっきりしており、金銭的な負担は難しい。本人の兄弟も遠方。頼れる親類がいない場合のキーパーソンの設定が難しい。
33	1 月	独居。筋力低下があるが、自身のADLについて認識の低さがあり、度々外出し、転倒・転落→頭部裂傷、転倒→打ち身を繰り返す。 依存心強く、一人で過ごす時間が長いことに耐えられない孤独を感じている。 本人が生活を送るにあたり、どのような見守り・支援ができれば良いか。	サービス利用以外の安全な居場所が、地域にない。特に、活動的ではあるが、歩行能力の低下している人について、安全な移動の確保が難しい。
34	1 月	もの忘れが元で近隣とのトラブルが発生。本人と近隣住民との関係性を知り、これまで通り暮らしていける支援方法を検討。	プライドの高さや性格、もの忘れをすることへのまわりの理解と受容が難しい。地域での居場所の確立が課題。家族や支援者と協力体制をとる為にも、それぞれの考えや思いを確認し合うことが必要。
35	2 月	息子と同居であるが、帰宅が遅く一人での時間が長い。デイケアやデイサービスから帰宅後にお金をおろすことを目的に出歩かれる。周囲へ「あんぱんが食べたい」という訴えへが頻回であり、対応の仕方について確認。	外出しても安全に帰宅できるよう、社協や行政で送りの対応を行う。 頻回に出歩いてしまう等、認知症の方を地域で見守り、支援する方法が難しい。
36	3 月	・もの忘れの進行と判断能力の低下に伴い日常生活の維持が困難となる中、どのような支援が必要で、地域にはどれだけの協力が期待できるか。 ・家族（主に長男）が現状把握と理解をしているのか。	・家族に危機感がない。送電停止に陥るなど家族による金銭管理が不十分であり、本人の不安を煽る。 ・地域の介入がないと孤立し、住環境も荒れ果ててしまう。

	開催	内 容	ケース課題・地域課題等
37	3 月	生活を送るのが困難な住環境の上、筋力の低下、食事の確保が難しい状況になり入院に至った。 退院後、自宅での生活を送る事が可能かどうか検討。	様々な滞納がある中、生活の課題が積み重なっていった方。ライフライン、税金等の滞納から暮らしづらさを抱えている為、いかに早期の関わり（若い頃から）を持っていけるかが課題。
38	3 月	・認知症が進行する中、在宅生活をどのように支えるか。 ・家族の協力体制が希薄な中、地域との関わりは期待できるのか。	家族（長男・長女）の関わりがなく、近隣ともよい関係ではない。専門医への受診もできていない状態。地域で、と言われてもどのような支援をすればよいのか判断できない。現在、徘徊行動が見られないがいつ再開するかわからない。
39	3 月	・現在生活しているアパートから退去通告を受けている ・頻回な訪問で近隣住民が迷惑している。訪問時に失禁もある ・息子がアパートに居座り、支援者に対しての恫喝がある	病気や障害・支援が必要な人が多く入る集合住宅の大家は個人負担が大きいと思われる。（大家に対しての支援が必要ではないか？）
40	3 月	1月にも会議。独居で、地域に出歩く気持ちはあるが、ADL低下あり見守りが必要となっている人に対して。その後のそれぞれの対応状況を確認し、本人の生活の場と、見守りについて協議。	本人の外へ出たい希望を叶え、ADL維持・QOL向上のためには、地域や出先の店に見守りの目があると良い。
41	3 月	・運転が危険。性格や風貌も変化している。 家族関係もよくない。 ・服薬管理が不十分で、体調が悪い。	車を見かけたら注意を払うなど、見守りの継続。 サロンや行事への参加を呼びかけ、運転以外に興味をもてる働きかけをする。 認知症様の症状もあり、行動の注意も必要。 家族の関わりがどこまで可能か。
42	3 月	高齢の夫婦支援。夫の認知症による免許返納に向けて、また体調等の安定について。 妻の介護サービスについて、施設入所について。 家族との関係について。	免許がなくても安心して生活できる支援体制、地域づくり 経済状況は余裕なく、介護サービス費の負担が大きい 物事（手術や施設入所）を進めていくのに家族の関わりが必要（疎遠）

④ 認知症を知り地域で支える活動の推進

認知症サポーター養成講座の件数、人数とも少ない1年であった。新規で認知症キャラバンメイト連絡会に入っていたものの、意欲のある方に活動機会を提供できなかった。そのような機会を逃すことなく、認知症にやさしいまちづくりを推進していきたい。

ア. 認知症サポーター養成講座の開催

	月日	地域	対象者	サポーター数	キャラバンメイト	使用教材・内容
1	5月15日(月)	美山	北桑田高校美山分校 4年生	2人	高野(包括)	PPT・標準教材 ・ビデオ・独自資料
2	5月19日(金)	全体	さくら楽習館 (南丹市教育委員会 生涯学習推進事業)	42人	平井・上菌 (包括)	PPT・標準教材 ・ビデオ・独自DVD
3	6月19日(月)	日吉	胡麻郷小学校 4年生・保護者	39人	高野・山田 ・三宅(包括)	PPT・標準教材・ビデオ ・絵本・寸劇 ・グループワーク
4	7月7日(金)	美山	安掛サロン	18人	河岸 (ロバの会)	PPT・標準教材 ・独自資料

イ. 認知症サポーター養成講座年度推移

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
開催回数(回)	10	14	25	16	22	16	20	4
サポーター数(人)	214	302	401	347	535	500	768	101

ウ. 認知症サポーターフォローアップ講座の開催

	月日	地域	対象者	受講者数	キャラバンメイト	使用教材・内容
1	3月24日(土)	美山	深見サロン	10人	河岸 (ロバの会)	独自資料

エ. 認知症キャラバンメイト活動支援(「なんたんロバの会」事務局)

認知症キャラバンメイト：所定の講習を受け、認知症サポーター養成講座の講師を務める。

会員数	43人	平成29年度 新規登録：2人
活動数	2回	1人[養成講座(7/7)、フォローアップ講座(3/24)]

オ. 南丹市徘徊SOSネットワーク「つながろう南丹ネット」事業

南丹市の事業の関係機関として、高齢者の方が外出時の行方不明時に備え、事前登録の案内と協力機関登録の依頼を行い、また、行方不明発生時にFAXを送信して情報提供を呼び掛けている。

包括内の情報共有の方法、行方不明発生時に送る情報提供と解除依頼のFAXをどのようなタイミングで送るかなど課題が確認できた。市役所と連携し、調整していきたい。

■事前登録(行方不明の心配のある方)

事前登録	16人	平成29年度 新規登録：10人 / 登録抹消：2人
------	-----	------------------------------

■協力機関登録(行方不明発生時に見守り・情報提供を行う)

協力機関登録	113箇所	平成29年度 新規登録：17箇所 / 登録抹消：1箇所
--------	-------	--------------------------------

■FAX送信

実送信	1件	事前登録有：0件、無：1件 / 発見：当日0件、翌日0件
-----	----	------------------------------

2. 認知症初期集中支援チーム（南丹市委託事業）

今年度から開始されたチーム活動では6件のケースの支援を行った。医療と介護の専門職複数名で初期に集中的に関わり、認知症サポート医の助言を受けながら関わりが出来、今まで以上に手厚い認知症ケアが出来ると感じている。件数が増えてもこのような丁寧な支援が継続して行えるよう体制の構築に努めたい。

性別	男性：3人 女性：3人	
年齢	70歳～74歳：1人 75～79歳：2人 80歳～84歳：1人 85歳以上：2人	
把握ルート	家族：2人 介護支援専門員：2人 民生委員：1人 その他：1人	
終了ケース	認知症：2人 軽度認知障害：1人	要支援1：1人 要介護2：1人 認定なし：1人

■啓発 …… パンフレット・ポスター等の作成、医療機関への配布・社協ホームページに掲載

■チーム担当者会議（包括内）

包括への総合相談から支援対象者をスクリーニング

	月 日	内 容
1	5 月 23 日（火）	10件のケースを検討 → 4件のアウトリーチを決定

■チーム員会議（チーム員・チーム員医師）

訪問・アセスメント結果の共有、支援目標・支援計画の検討

	月 日	内 容
1	6 月 2 日（金）	新規ケース1件の検討
2	7 月 14 日（金）	新規ケース2件、継続ケース1件の検討
3	9 月 7 日（木）	新規ケース1件、継続ケース3件の検討
4	11 月 2 日（木）	新規ケース1件、継続ケース4件の検討（1件終了）
5	2 月 1 日（木）	新規ケース1件、継続ケース1件の検討（1件終了）
6	3 月 23 日（金）	継続ケース4件の検討（1件終了）

■サポート会議（南丹市主催）

チーム員の活動についてのアドバイス・地域課題についての検討

メンバー：認知症サポート医、看護師、薬剤師、PT、OT、司法書士、介護福祉士、包括、南丹市、京都府

	月 日	内 容
1	6 月 2 日（金）	今年度の事業計画・相談ケース・チームに繋がらなかった事例について など
2	9 月 7 日（木）	初期集中支援チームの活動報告、 京都府認知症疾患医療センター（府立医大）精神保健福祉士と情報交換
3	12 月 14 日（木）	初期集中支援チームの活動報告、介護保険通所系事業所に実施した アンケートの結果報告（南丹市役所）、情報交換

■検討会議（南丹市主催）

メンバー：認知症サポート医、看護師、司法書士、PT、OT、薬剤師、介護福祉士、生活相談員、
CM、民生児童委員、PSW、PHN、包括、南丹市、京都府

	月 日	内 容
1	2 月 22 日（木）	南丹市認知症初期集中支援事業について報告・情報交換・意見交換

■その他会議等

	月 日	内 容
1	6 月 6 日（火）	京都府認知症初期集中支援チーム連絡会 「取組状況についての情報共有・意見交換など」
2	7 月 1 日（土）	船井医師会学術講演会 「南丹市における認知症初期集中支援チームについて」南丹市 他
3	11 月 10 日（金）	京都府認知症初期集中支援チーム連絡会 「取組状況についての情報共有・意見交換など」
4	12 月 9 日（土）	京都府認知症初期集中支援チーム員養成研修 （3名受講）
5	1 月 12 日（金）	京都府認知症初期集中支援チーム員フォローアップ研修 （3名受講）

居宅介護の部

総 括

平成 30 年度の介護報酬改定では、利用者の自立支援に向けた新たな加算要件や医療保険制度との同時改正となる見通しであったが、年度末には、各課で報酬改定への対応に向けた情報の収集など、次年度に向けて対策を練ってきた。

居宅介護部では、1 年を通して防災について学び、緊急時・平常時の対応についてサービス事業所毎に話し合う機会を持ち、通所系サービス事業所では、防災訓練等も実施した。利用者の暮らしを守るため、防災の面からいかに地域の住民の方々とのつながりが重要であるかを再認識できた。次年度に向けて、防災マニュアルの整備と実利用化を目指す。

また今年度から始まった南丹市総合事業の担い手養成について、南丹市と協力し取り組むことができたが、実際には担い手不足の地域もあり、引き続き住民の地域貢献事業として積極的な広報が必要である。

事業所によっては、昨年度に引き続きサロン活動や認知症カフェに毎月参加協力できた。一方、様々な生活課題・家庭環境の中、家族からの虐待ケースも増してきており今後ますます社協が担うべき複雑な相談が増加するなど、職員の業務負担も増加してきている。そのような中でこそ、民生児童委員やふれあい委員をはじめとする地域住民の方々や他職種、行政ともしっかり話し合い、一人で抱え込まずチームで対応する事業所となることが重要である。これこそが『市民から愛される事業所』として大切にしなければならないことである。

今年度は、学生の実習生をこれまで以上に多く受け入れることができ、事業所の行事にも実習生自ら参加して高齢者と関わる姿を多く目にした。社協の事業所に魅力を感じて実習後も引き続き関わっていただける若い力に、事業所としても大きな勇気が得られ、将来への期待が持つことができた。これらの経験から、福祉職場の働きがいや魅力を広く住民に発信し、福祉・介護職を一人でも多く増やし、市民の望む「住みよい地域で暮らし続けられるまちづくり」が、私たち社協事業所の最大の使命と受けとめ、次年度につなげていきたい。

1. 居宅介護支援事業

〈事業所〉	ほほえみ園部 居宅介護支援事業所	[介護保険]
	ほほえみ八木 居宅介護支援事業所	[介護保険]
	ほほえみかぐら 居宅介護支援事業所	[介護保険]

【今年度スローガン】住み慣れた地域で「望む暮らし」の支援をめざして

【今年度達成目標】全てのケアマネジャーが、法令1人あたり上限数までケースを担当できるよう、ケアマネジメントスキルの向上を図る

【目標達成状況】※ケアマネジャー1人あたり法令上限数：40件

事業所	ケアマネジャー 配置数(常勤換算)	1人あたり換算件数 (要介護+要支援×0.5)	目標達成率 (上限40件に対して)
ほほえみ園部 居宅介護支援事業所	1.8人	36.4件	91.00%
ほほえみ八木 居宅介護支援事業所	5.0人	33.8件	84.50%
ほほえみかぐら 居宅介護支援事業所	3.6人	32.0件	80.00%

後継者育成・離職者ゼロとケアマネ業務の魅力発信については、業務中や、毎週のミーティングで処遇困難ケースの相談をし、主任ケアマネジャーを主として、支援困難なケースに関しては情報を常に共有し、適時スーパーバイズ、OJTに取り組むことができた。

法人外からケアマネや看護学生、社会福祉士実習生の実習を受け入れ、福祉人材の後継者育成と共に自らのサービスの質・支援姿勢について振り返りも行えた。実習受入は事業所にとっても有益であるため、次年度以降も継続して受け入れたい。

① 法令に定められた基準を守り、多くの利用者確保に努める。

サービスの質的向上と利用者の信頼確保について、自立支援が柱の一つである介護保険サービスではあるが、望まれる暮らしが必ずしも自立支援とならない際にも、できる限り本人が望む暮らしに近づくよう支援を行ってきた。八木では作成したケアプランについて定期的評価を行い、ご利用者の在宅生活継続を目指し、かぐらでは毎月のモニタリング訪問等で、困り事を聞きながら問題解決へつなげていった。

各相談では認知症の他、個々に抱える課題に対して支援を行ったが、医療との連携、調整にケアマネが大きい負担を負うことや、リハビリの調整について課題があった。また、生活・地域課題の要素が多く、介護保険サービスのみでは対応できない支援に関しては、包括へ個別地域ケア会議開催の依頼を掛け、時には地域住民を巻き込んで、支援の方向性を検討していった。

さらに、複数の事例検討会等に参加し、提供事例を通し、課題解決スキルの向上を図ることができた。また、法人内外での事例研究発表を通し、支援に対する一方法について学んだ。

平成30年度報酬改定、制度改定に向けても、各自が研修や勉強会等への参加などで知り得た情報を共有し、理解を深めることができた。

また、サービスの質の評価のため利用者満足度調査を実施し、ご利用者、ご家族の思いを聞かせて頂くことができたが、年々回収率が低下しており、今後はアンケート内容や協力依頼の方法などの検討が必要である。

(1) 外部研修

ほほえみ園部居宅介護支援事業所

開催日	内 容	場 所	参加
5月17日(水)	介護保険サービス事業者集団指導	ガレリア亀岡	1人
6月23日(金)	京都府社協いっせい会議	京都府社協	1人
12月14日(木)	京都府介護支援専門員実務研修 実習受入協力事業所指導者講習会	京都テルサ	1人
12月26日(火)	京都丹波福祉応援プロジェクト 認証取得支援セミナー 「評価・面接制度の構築」	南丹市国際交流会館	1人
1月22日(月)	市町村社協介護保険事業担当部署会議	京都テルサ	1人
1月23日(火)	京都丹波福祉応援プロジェクト キャリアアップ研修 「リスクマネジメント研修」	南丹市国際交流会館	1人
3月20日(火)	介護報酬改定説明会	京都国際会館	1人

ほほえみ八木居宅介護支援事業所

開催日	内 容	場 所	参加
4月18日(火)	京都府認定調査員初任者研修	京都平安ホテル	1人
5月17日(水)	介護保険サービス事業者集団指導	ガレリア亀岡	2人
9月21日 ～10月 3日	介護支援専門員更新研修(課程Ⅱ)3日間	京都テルサ	1人
9月23日(土)	第7回なんたん在宅医療連携研究会	京都中部総合 医療センター	1人
10月 5日(木)	社会福祉専門セミナー アンガーマネジメント研修	京都テルサ	1人
10月12日(木)	在宅酸素療法研修会	京都中部総合 医療センター	1人
10月24日(火)	福祉職場組織力向上セミナーⅠ 他職種連携を考える(チームづくりを学ぶケースメソッド)	京都市内	1人
11月13日(月)	京都府介護支援専門員会 中部ブロック研修会 「いまさら聞けないケアマネジャーの法令順守」	口丹波勤労者福祉会館	5人
11月16日(木)	福祉職場組織力向上セミナーⅡ～集まるのが楽しくなる!会議のすすめ方～	京都市内	1人
11月28日(火)	平成30年診療報酬&介護報酬同時改定に向けて 機能訓練加算の取得を目指すセミナー	大阪市内	1人
11月30日(木)	感染症対策研修会	南丹市内	1人
12月14日(木)	京都府介護支援専門員実務研修 実習受け入れ協力事業所指導者講習会	京都テルサ	1人
12月14日(木)	京都丹波福祉応援プロジェクト 認証取得支援セミナー 「人材育成計画の作成」	南丹市国際交流会館	1人
12月19日(火)	京都丹波福祉応援プロジェクト キャリアアップ研修 「管理職研修①人材育成を中心に」	南丹市国際交流会館	1人
12月20日(水)	京都丹波福祉応援プロジェクト キャリアアップ研修 「OJT推進者研修」	南丹市国際交流会館	1人
1月22日・23日	安全衛生推進者養成講習会(2日間)	京都市内	1人
1月22日(月)	市町村社協介護保険事業担当部署会議	京都テルサ	1人
1月15日 ～ 3月 7日	京都府 主任介護支援専門員 更新研修(8日間)	京都テルサ	1人
3月17日・18日	第17回 近畿ブロック研究大会 in 滋賀	滋賀県米原市	2人
3月10日(土)	第8回なんたん在宅医療連携研究会	京都中部総合 医療センター	2人
3月20日(火)	介護報酬改定説明会	京都国際会館	1人
3月23日(金)	障がい福祉サービス報酬改定説明会	中丹文化会館	1人

ほほえみかぐら居宅介護支援事業所

開催日	内 容	場 所	参加
4月18日(水)	京都府認定調査員初任者研修	京都平安ホテル	1人
5月17日(水)	介護保険サービス事業者集団指導	ガレリア亀岡	2人
6月23日(土)	京都府市町村社協いっせい会議	京都府社協	1人
6月29日 ～ 9月 9日	京都府介護支援専門員更新研修(課程1) 8日間	京都テルサ	1人
8月24日 ～9月13日	京都府相談支援従事者初任者研修(6日間)	京都テルサ	1人
9月 7日・ 8日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 管理職員編(2日間)	京都平安ホテル	1人
9月23日(金)	第7回なんたん在宅医療連携研究会	京都中部総合 医療センター	2人
10月 5日(木)	社会福祉専門セミナー アンガーマネジメント基礎編	京都テルサ	1人
11月13日(月)	京都府介護支援専門員会 中部ブロック研修会 「いまさら聞けないケアマネジャーの法令順守」	口丹波勤労者福祉会館	2人
12月14日(木)	京都丹波福祉応援プロジェクト 認証取得支援セミナー 「人材育成計画の作成」	南丹市国際交流会館	1人
12月15日(金)	京都府介護支援専門員実務研修 実習受入協力事業所指導者講習会	中丹勤労者福祉会館	2人
12月19日(火)	京都丹波福祉応援プロジェクト キャリアアップ研修 「管理職研修①人材育成を中心に」	南丹市国際交流会館	1人
12月26日(火)	京都丹波福祉応援プロジェクト 認証取得支援セミナー 「評価・面談制度の構築」	南丹市国際交流会館	1人
1月22日(月)	市町村社協介護保険担当部署会議	京都テルサ	1人
1月23日(火)	京都丹波福祉応援プロジェクト キャリアアップ研修 「リスクマネジメント研修」	南丹市国際交流会館	1人
2月11日(日)	京都在宅リハビリテーション研究会	明治国際医療大学 付属病院	1人
2月21日・22日	市町村社協介護サービス経営研究会	全社協	1人
2月26日(月)	障がい者・高齢者虐待の困難事案への 対応に係る事例検討会	プラザ福知山	1人
3月18日・19日	第17回 近畿ブロック研究大会 in 滋賀	滋賀県米原市	1人
3月20日(火)	介護報酬改定説明会	京都国際会館	1人

(2) 内部研修

居宅介護部全体研修

開催日	内 容	参加
6月29日(木)	居宅介護部研修(第1回 防災学習) 「事業所職員の災害対応と“社協職員”として大切にしたい視点」	10人
9月21日(木)	居宅介護部研修(第2回 防災学習) 「台風接近! 何が不安? 土砂災害・通行止めその時どうする?」(グループワーク)	10人

ほほえみ園部居宅介護支援事業所

開催日	内 容	場 所	参加
5月19日(金)	南丹市ケアマネ連絡会	社協 本所	1人
7月21日(月)	南丹市ケアマネ連絡会	社協 本所	1人
8月23日(水)	南丹市地域ケア推進会議	遊 you ひよし	1人
11月20日(月)	南丹市ケアマネ連絡会	社協 本所	1人
1月26日(金)	南丹市ケアマネ連絡会	社協 本所	1人

ほほえみ八木居宅介護支援事業所

開催日	内 容	場 所	参加
4月20日(木)	包括主催 事例検討会	社協 日吉	1人
5月19日(金)	南丹市ケアマネ連絡会	社協 本所	3人
6月15日(月)	デイサービスセンター消防訓練	社協 八木	5人
6月15日(木)	包括主催 事例検討会	社協 日吉	2人
7月21日(月)	南丹市ケアマネ連絡会	社協 本所	4人
8月23日(水)	南丹市地域ケア推進会議	遊 you ひよし	5人
8月24日(木)	包括主催 事例検討会	社協 日吉	2人
9月22日(金)	南丹市ケアマネ連絡会	社協 本所	2人
10月19日(木)	包括主催 事例検討会	社協 日吉	2人
10月26日(木)	消費生活出前講座	社協 本所	3人
11月14日(火)	南丹市地域ケア推進会議	遊 you ひよし	5人
11月20日(月)	南丹市ケアマネ連絡会	社協 本所	5人
12月21日(木)	包括主催 事例検討会	社協 本所	2人
1月26日(金)	南丹市ケアマネ連絡会	社協 本所	4人
3月15日(木)	南丹市地域ケア推進会議	遊 you ひよし	4人
3月22日(木)	南丹市ケアマネ連絡会	社協 本所	4人

ほほえみかぐら居宅介護支援事業所

開催日	内 容	場 所	参加
4月20日(木)	包括主催事例検討会	社協 日吉	3人
5月19日(木)	南丹市ケアマネ連絡会	社協 本所	4人
6月15日(木)	包括主催事例検討会	社協 日吉	3人
7月21日(水)	南丹市ケアマネ連絡会	社協 本所	1人
8月23日(金)	地域ケア推進会議 ※パネラーとして出席（事例提供）	遊 you ひよし	3人
8月24日(木)	包括主催事例検討会	社協 日吉	3人
9月22日(木)	南丹市ケアマネ連絡会	社協 本所	3人
10月19日(木)	包括主催事例検討会	社協 日吉	3人
11月14日(火)	南丹市地域推進会議	遊 you ひよし	4人
11月20日(月)	南丹市ケアマネ連絡会（事例研究発表会）	社協 本所	3人
12月21日(木)	包括主催事例検討会	社協 日吉	3人
1月26日(金)	南丹市ケアマネ連絡会	社協 本所	5人
3月15日(木)	南丹市地域ケア推進会議	遊 you ひよし	3人
3月22日(木)	南丹市ケアマネ連絡会	社協 本所	4人

② 地域福祉部・包括支援部と連携しながら地域に貢献できる事業所を目指して

他部門との連携や地域社会貢献としては、八木事務所のエリア会議や地域で行われてた行事に社協職員として参加し、地域住民との交流や社協 PR が行えた。地区別懇談会、ひよしまちカフェ、サロンへ参加等、来年度も継続して参加をと考えている。

防災対策では、有事に備えマニュアル作成に取り組んだ。避難訓練が行われた事業所では訓練に参加したが、訓練をしていない事業所についても、次年度は合同での防災訓練の計画をしていきたい。

ほほえみ園部居宅介護支援事業所

地域ケア個別会議	年 4 回	延べ	4 人
ふれあい委員研修会	年 1 回	延べ	1 人
地域別懇談会	年 3 回	延べ	3 人

ほほえみ八木居宅介護支援事業所

京都丹波福祉職場応援プロジェクト促進会議	年 5 回	延べ	5 人
ふれあいネットワーク会議	年 2 回	延べ	10 人
民生委員・ふれあい委員懇談会	年 1 回	延べ	2 人
南丹市男女共同参画社会推進委員会	年 2 回	延べ	2 人
木村診療所勉強会	年 1 回	延べ	4 人
地域別懇談会	年 4 回	延べ	5 人
老施協 南丹ブロック施設長会議	年 2 回	延べ	2 人
街頭啓発 (八木駅)	年 1 回	延べ	1 人

ほほえみかぐら居宅介護支援事業所

日吉まちカフェ参加	年 12 回	延べ	14 人
村づくり協議会参加	年 3 回	延べ	7 人
地域別懇談会	年 2 回	延べ	2 人

③ 魅力あるケアマネ業務の発信と離職防止や後継者育成への取り組み

後継者育成・離職者ゼロとケアマネ業務の魅力発信については、業務中や、毎週のミーティングで処遇困難ケースの相談をし、主任ケアマネジャーを主として、支援困難なケースに関しては情報を常に共有し、適時スーパーバイズ、OJTに取り組むことができた。

法人外からケアマネや看護学生、社会福祉士実習生の実習を受け入れ、福祉人材の後継者育成と共に自らのサービスの質・支援姿勢について振り返りも行えた。また、地域ケア推進会議や医療法人が開催する地域リハビリテーション研究会においても事例提供者として演台に立ち多くの市民や医療職にケアマネジャーの役割りを理解していただけた。さらに、看護専門学校に出向き介護保険制度についての講師としての役割りを果たす機会もいただけた。実習受入は事業所にとっても有益であるため、次年度以降も継続して受け入れたい。

ほほえみ園部居宅介護支援事業所

受入日	受入先	受入人数	日 数
6月15日(水) 6月21日(水) 10月18日(水)	南丹看護専門学校	3人	3日間(半日)
3月26日(月) 3月30日(金)	介護支援専門員実務研修実習	1名	2日間

ほほえみ八木居宅介護支援事業所

受入日	受入先	受入人数	日 数
6月13日(火) 9月14日(木) 11月 1日(水) 11月20日(月) 12月 4日(月)	南丹看護専門学校生	5人	5日間
10月2日(月)～ 11月1日(水)	佛教大学社会福祉士(実習指導担当者として)	1人	24日間
3月21日(火) 3月29日(水) 4月 6日(木)	介護支援専門員実務研修	1人	3日間

ほほえみかぐら居宅介護支援事業所

受入日	受入先	受入人数	日 数
9月13日(水) 9月14日(木)	花園大学社会福祉科	1人	2日間
6月13日(火) 6月19日(月) 9月12日(火)	南丹看護専門学校	3人	3日間(半日)
3月14日(水)	介護支援専門員実務研修	2人	1日間
3月15日(木)	介護支援専門員実務研修	2人	半日
3月29日(木)	介護支援専門員実務研修	2人	半日
4月 4日(水)	介護支援専門員実務研修	2人	1日間

2. 訪問介護事業・居宅介護事業所

〈事業所〉	ほほえみ八木 訪問介護事業所	[介護保険]
	ほほえみ八木 居宅介護事業所	[自立支援]
	ほほえみかぐら 訪問介護事業所	[介護保険]
	ほほえみかぐら 居宅介護事業所	[自立支援]

【今年度スローガン】 まごころ・笑顔・チームワークでつなぐ暮らしのおてつだい

【今年度達成目標】 サービス提供数の増加（対前年度実績 2%増）

【目標達成状況】 ※介護保険・自立支援の合計数

事業所	前年度 サービス提供総数	今年度 サービス提供目標数	今年度 サービス提供総数	目標達成率
ほほえみ八木 訪問介護事業所	14,290 件	14,575 件	14,033 件	96.28%
ほほえみかぐら 訪問介護事業所	22,514 件	22,964 件	22,342 件	97.29%

今年度も通年で訪問介護員の応募を行っているがサービス提供責任者の不足は解消できず、訪問介護員の人員は多いが活動時間が限られ、サービス提供責任者の業務負担が大きくなっている。

提供時間数は昨年に比べ 429 回の減少となった。特に土日に対応できるヘルパーが少なく利用者ニーズに応じられない現状があった。今後人材確保に向け更なる具体的な改善策が急務となる。

次年度は利用者に寄り添った支援をしていき、社協の訪問介護事業所を利用してよかったと思われるように、また利用者様・市民に愛される事業所となるように勤務時間の調整をする必要がある。

新任ヘルパーの応募は近年全くなかった美山出張所において年度終わりに、新たな登録ヘルパーがあり、少しずつ仕事内容を覚え、無理のないところから動いてもらえている。くらし安心サポート事業の生活援助員に関しては、美山では登録者がなかったが 3 月に市役所主催の生活援助員養成講座に美山から 2 名の受講者があり、今後、利用希望が方あれば、登録をしていただけるように働きかけをしていきたいと思う。

年度末に地域福祉部からの依頼で外出支援担当者への車いす介助の方法を伝えることができた。又、事務所に来てくださる地域住民の方に、挨拶をするように接遇マナーの向上を心かけた。

① 人材育成と経営の安定を目指して

全訪問介護員が個々の目標に沿って研修に参加しスキルアップを図った。

各事業所でヘルパーミーティングを毎月開催し登録訪問介護員を含む全職員を対象にミニ学習に取り組みヘルパー間の交流を行った。外部研修への参加は7割～9割のヘルパーが参加することができた。

介護実技研修については、目標年6回だったが、すべての事業所で達成できず3～4回に終わった。介護技術研修が行える環境づくりが困難なことも一因であると思われる。

(1) ヘルパーミーティング

開催 月	内 容	参加人数		
		八 木	かぐら	
			日吉	美山
4 月	・総合事業について（包括支援センターからの学習会） ・平成29年度事業計画の周知 ・ミニ研修『寝返り・起き上がり・座位』（かぐら）	27 人	18 人	13 人
5 月	・接遇マナー ・ミニ研修『移乗・歩行』（かぐら）	24 人	14 人	13 人
6 月	・感染症について（食中毒予防）手洗いチェックで確認	21 人	16 人	16 人
7 月	・防災について（1回目）[消防署より救急対応等講習会]	26 人	15 人	16 人
8 月	・ホームヘルパーのグレーゾーンについて ・ミニ研修『更衣・排泄・食事』（かぐら）	25 人	17 人	17 人
9 月	・個人情報・プライバシーについて ・ミニ研修『現場で役立つ褥瘡予防』（かぐら）	25 人	14 人	16 人
10 月	・事故・ひやりはっと・苦情検討会 ・ヘルパーのための在宅介護技術	21 人	15 人	14 人
11 月	・防災について（2回目） ・難病患者ケアについて（かぐら）	22 人	14 人	14 人
12 月	・認知症について	23 人	13 人	16 人
1 月	・虐待について（嚥下困難食の調理実習：美山）	26 人	12 人	10 人
2 月	・ハラスメントについて・調理実習（かぐら）	25 人	15 人	16 人
3 月	・H29年度 事故・ひやりはっと・苦情報告振り返り ・1年間の振り返り（防災講座伝達・介護食調理伝達）	23 人	11 人	17 人

(2) 外部研修

日 時	内 容	場 所	参加人数		
			八 木	かぐら	
				日吉	美山
4月20日(木)	介護力を磨こう 第1回『寝返り・起き上がり・座位』	京都中部総合医療センター	0人	3人	2人
5月17日(水)	介護保険サービス事業者集団指導	ガレリア亀岡	1人	1人	1人
5月18日(木)	介護力を磨こう 第2回『移乗・歩行』	京都中部総合医療センター	—	1人	1人
5月13日(土) ～ 5月27日(土)	同行援護研修 一般課程 3日間	京都府社協	1人	—	—
5月24日(水)	高齢者・障害者に優しい調理	花ノ木医療センター	—	—	2人
6月 9日(金)	障害福祉サービス事業者集団指導	綾部市	1人	1人	1人
6月15日(木)	ステップアップ研修 更衣・排泄・食事	京都中部総合医療センター	—	1人	1人
6月23日(金)	キャリアアップリーダー研修 [3日間]	京都市内	—	—	1人

～ 8月29日(火)					
7月20日(木) ～ 8月9日(水)	相談支援従事者現任研修 [3日間]	京都テルサ	—	—	1人
8月23日(水)	現場で役立つ褥瘡予防	京都中部総合医療センター	—	3人	1人
9月22日(金)	京都府ホームヘルパー介護技術研修	京都保育福祉専門学院	—	1人	—
10月 2日(月)	難病患者等ホームヘルパー養成研修Ⅰ	福知山市	—	—	3人
10月 5日(木) ～12月19日(火)	介護支援専門員 更新研修 [10日間]	京都市	1人	0人	0人
11月19日(日)	介護福祉士会 介護職の魅力発信	京都市	—	—	1人
10月13日(金)	難病患者等ホームヘルパー養成研修 (基礎課程Ⅱ)	京都市	1人	—	1人
11月9日(木)	難病患者等ホームヘルパー養成研修 (基礎課程Ⅰ)	京都市	1人	1人	—
11月16日・17日	京都府同行援護従業者養成研修 (応用課程) [2日間]	京都市	1人	—	—
12月13日(水)	事例検討会 『介護で知っておきたい関節の動かし方』	京都中部総合医療センター	—	—	1人
12月15日(金)	福祉職場におけるケース記録の書き方	京都市	—	1人	
12月19日(火)	京都丹波福祉応援プロジェクト キャリアアップ研修 「管理職研修①人材育成を中心に」	南丹市国際交流会館	—	—	1人
1月11日(木)	京都丹波福祉応援プロジェクト キャリアアップ研修 「メンタルヘルス」	南丹市国際交流会館	1人	—	—
1月24日(水)	京都丹波福祉応援プロジェクト キャリアアップ研修 「介護記録の書き方」	南丹市国際交流会館	1人	—	—
2月14日(水)	事例検討会 『筋肉のみかたと筋力強化の考え方』	京都中部総合医療センター	—	—	4人
2月17日(土)	介護食調理実習	花ノ木医療センター	—	3人	—
3月10日(土)	南丹市防災講座	遊 you ひよし	—	4人	2人
3月16日(金)	苦情の意義と実際について	京都市	—	—	1人
3月20日(火)	サービス提供責任者研修	大阪市	—	1人	—
3月21日(水)	介護報酬改定説明会	京都国際会館	1人	1人	1人
3月23日(金)	障害福祉サービス等報酬改定説明会	中丹文化会館	—	1人	1人

(3) 内部研修

居宅介護部全体研修

開催日	内 容	参加
6月29日(木)	居宅介護部研修(第1回 防災学習) 「事業所職員の災害対応と“社協職員”として大切にしたい視点」	11人
9月21日(木)	居宅介護部研修(第2回 防災学習) 「台風接近! 何が不安? 土砂災害・通行止めその時どうする?」(グループワーク)	11人

② 利用者に寄り添う介護の提供を目指して

ご利用者のモニタリングなどを通して、ご利用者の話に耳を傾け、ヘルパーと一緒にできることがあれば、していただくように自立支援に向けたサービスについて考えていくことができた。

次年度は利用者の自立支援に向けた支援と職員間の報連相を密にして、ご利用者の変化の気づきをみんなで共有できるようにしていきたい。

③ 地域に愛される事業所づくり

パンフレット作成やヘルパー通信を作成し、アンケート結果と共にご利用者へお渡しすることができた。次年度は魅力あるホームページを目指して定期的に更新できるように取り組みたい。また、地域との交流の取り組みが不十分であったため、次年度の課題とする。

八木では制度外サービス対応時間が前年度より増え、毎月の定期受診付き添い対応がコンスタントにあった。引き続き利用者の自立に向けた支援と職員間の報連相を密にして、利用者の変化の気づきをみんなで共有できるようにしていきたい。

制度外サービス（社協独自サービス） 実績

事業所		サービス内容	件 数	時間数	合 計	
八木		通院介助	67 件	11,535 分	72 件	11,645 分
		身体介護	0 件	0 分		
		生活援助	5 件	110 分		
かぐら	日吉	通院介助	40 件	4,750 分	57 件	5,020 分
		身体介護	17 件	270 分		
		生活援助	0 件	0 分		
	美山	通院介助	6 件	1,800 分	16 件	2,045 分
		身体介護	10 件	245 分		
		生活援助	0 件	0 分		

南丹市くらし安心サポート事業 実績

事業所		利用者数(人)												担い手 (人)
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
八木		1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	2	2
かぐら	日吉	4	4	4	4	4	4	4	5	6	6	5	8	5
	美山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		5	5	5	5	5	5	6	6	7	8	7	10	7

実習生受け入れ状況

受け入れ先	受入日	人数
南丹看護専門学校	6月13日(火)	2人
	6月19日(月)	1人
	9月12日(火)	1人
	9月14日(木)	1人
	10月18日(水)	1人
	11月 1日(水)	1人
	11月20日(月)	2人
	12月 4日(月)	1人

八木・かぐら（日吉）で実習生を受け入れ、介護現場と医療の連携や在宅介護の実際を学んでもらった。



訪問先での身体介護の様子

3. 通所介護事業

＜事業所＞ ほほえみ八木 通所介護事業所

[介護保険・自立支援]

【今年度スローガン】 住み慣れた地域で暮らし続ける意欲と希望が生まれ、心輝く時間を提供する

【今年度達成目標】 稼働率（1日あたり利用定員充足率）平均 90%以上

【目標達成状況】 ※1営業日あたり目標利用者数 = 30人 × 90% = 27.0人

事業所	1日あたり 利用定員	今年度平均利用者数 (1営業日あたり)	今年度 利用定員充足率	目標達成率
ほほえみ八木 通所介護事業所	30人	26.3人	87.66%	97.40%

① サービスの質の向上と利用者確保

外部研修への参加や伝達研修を計画的に行い、また職員が講師となり「接遇マナー」や「感染症」、「虐待」、「応急処置」などの勉強会を重ねることで、サービスの質の向上を図った。利用者が馴染みの地域で暮らし続けられるよう、常に「自立支援、重度化防止」の視点を持ち、個別機能訓練にも力を入れた。中でも、専任機能訓練士の指導の下、介護職員も一緒になり、3ヶ月毎の筋力測定の実施、評価を繰り返すことができた。利用者や家族と評価結果を振り返ることで、新たな課題を見つけ出し、利用者の意欲向上、在宅生活継続の支援にもつなげていった。

(1) 外部研修

開催日	内 容	参加
5月10日(水) ～10月 6日(金)	市町村社会福祉協議会新任研修 [3日間]	3人
6月9日(金) ～ 9月 1日(金)	キャリアアップ研修3日間	1人
8月29日 ～10月20日(金)	感染症予防リーダー養成研修会 [3日間]	1人
10月 7日(土)	神経・筋疾患従事者研修会	1人
10月11日(水)	老人福祉施設等職員研修	1人
10月19日(木)	対人援助の基本姿勢・相談面接技術基礎セミナー	1人
10月25日(水)	第1回中間マネージャー会議	1人
11月13日(月)	福祉職場研修担当リーダー研修	1人
11月22日(水)	福祉職場研新規採用職員交流会	1人
11月28日(火)	京丹波福祉職場応援プロジェクト キャリアアップ研修「指導職研修」	1人
12月19日(火)	京丹波福祉職場応援プロジェクト キャリアアップ研修「人材育成を中心に」	1人
1月23日(火)	京丹波福祉職場応援プロジェクト キャリアアップ研修「リスクマネジメント」	1人
1月24日(水)	京丹波福祉職場応援プロジェクト キャリアアップ研修「介護記録の書き方」	1人
3月20日(火)	介護報酬改定説明会	1人
3月23日(金)	障害福祉サービス等報酬改定説明会	1人

(2) 内部研修

居宅介護部全体研修

開催日	内 容	参加
6月29日(木)	居宅介護部研修（第1回 防災学習） 「事業所職員の災害対応と“社協職員”として大切にしたい視点」	6人
9月21日(木)	居宅介護部研修（第2回 防災学習） 「台風接近！何が不安？土砂災害・通行止めその時どうする？」(グループワーク)	6人

事業所

開催日	内 容	参加
4月21日(金)	通所介護事業所研修（課長より）	15人
4月23日(日)	南丹市社会福祉協議会職員全体研修	4人
7月26日(水)	法人内実地研修（本所地域福祉課）	1人
7月28日(金)	法人内実地研修（やぎ詩の郷）	1人
8月19日(土)	法人内実地研修（やぎ詩の郷）	1人
9月 4日(月)	法人内実地研修（南丹地域包括支援センター）	1人
9月 4日(月)	法人内実地研修（ほほえみ八木居宅介護事業所）	1人
10月25日(水)	感染症研修	15人
11月17日(金)	総合事業と生活コーディネーターの役割についての研修（地域福祉課より）	6人
12月19日(火)	虐待についての研修	11人
1月18日(木)	だんない訴訟問題についての説明と学び	6人
2月23日(金)	応急処置研修	14人

② 介護者の負担軽減と支援強化

介護者の負担軽減の取り組みとして、緊急、延長などの利用希望には柔軟に対応し、レスパイト機能の強化を図った。また敬老祝賀会に合わせ介護者交流会を開催し、職員による「オレオレ詐欺被害」の寸劇を行い、防犯対策の周知徹底、介護者のリフレッシュやストレス軽減に努めた。胃ろうや褥瘡など医療ニーズの高い利用者、中重度の利用者を積極的に受け入れ、介護者の支援強化も図ることができた。

③ 住民主体の助け合い活動と協働ケアの強化

地域との連携としては、青戸ふれあいサロンに毎回参加し、健康づくりの推進、介護予防体操や認知症の勉強会も実施できた。今後はもっと、「住民主体」や「協働ケア」に力を入れ、住民同士の支え合い活動に対して、事業所の持つノウハウや資源を提供できるよう検討、協議を行っていききたい。また地域福祉課職員と共に、地区別懇談会やネットワーク会議にも参加し、地域住民の関係性構築が図れた。

開催日	内 容	参加
4月17日(月)	青戸ふれあい・いきいきサロン	2人
6月19日(月)	青戸ふれあい・いきいきサロン	2人
7月～ 8月	八木地区小学校ボランティア受け入れ	全職員
10月 6日(金)	地域別懇談会（西地区）	1人
10月11日(水)	南丹市八木中央幼児学園園児交流会（1回目）	全職員
10月16日(月)	青戸ふれあい・いきいきサロン	2人
10月30日(月)	南丹市八木中央幼児学園園児交流会（2回目）	全職員
11月30日(木)	地域別懇談会（南地区）	2人
12月 8日(金)	地域別懇談会（東地区）	1人
2月19日(月)	青戸ふれあい・いきいきサロン	3人
2月22日(木)	ふれあいネットワーク会議	1人

④ 事業経営の安定化

事業運営については、各曜日ほぼ 30 名の利用登録者確保はできているが、ショートステイなど他のサービスを併用している利用者が多く、平均稼働率 80%台となっている。毎月の職員会議で実績検討を行ってきたが、具体的な対策までへはつなげられず、達成目標の稼働率 90%以上には達しなかった。

次年度は、介護支援専門員との連携、通所系サービスの P R、デイサービスだからこその在宅介護支援の強化、選ばれる事業所づくり等、検討を重ねたい。

4. 地域密着型認知症対応型通所介護事業

＜事業所＞ やぎ詩の郷

[介護保険]

【今年度スローガン】住み慣れたあたたかな地域で暮らすために

【今年度達成目標】稼働率（1日あたり利用定員充足率）平均 80%以上

【目標達成状況】※1営業日あたり目標利用者数＝12人×80%＝9.6人

事業所	1日あたり 利用定員	今年度平均利用者数 (1営業日あたり)	今年度 利用定員充足率	目標達成率
やぎ詩の郷	12人	9.1人	75.83%	94.79%

① 個別援助の充実

利用者のパーソナリティを尊重し、一人ひとりが役割を持ち、生活意欲が引き出されるよう、活躍できる場の提供や環境作りに努めた。利用者の日々の様子を観察する中で、心身の変化があった場合には、早急に関係機関と連携を取り合い、事業所内でも適時会議を重ね、臨機応変にサービス内容の変更をする等、個別援助の充実を図った。

(1) 外部研修

開催日	内 容	参加
5月10日(水) ～7月14日(金)	市町村社協新任職員研修 [2日間]	1人
6月 2日(金) ～ 8月22日(木)	キャリアアップ研修（初任者）[3日間]	1人
6月 9日(金)	なんたん通所サービス部会	1人
8月30日(水) ～ 8月31日(木)	認知症リンクワーカー養成研修 [2日間]	1人
9月7日・8日	キャリアアップ研修（管理者）[2日間]	1人
10月 5日 ～12月19日	介護支援専門員更新研修 [10日間]	1人
10月18日(水)	認知症リンクワーカーフォローアップ研修会	1人
12月26日(火)	京丹波福祉職場応援プロジェクト キャリアアップ研修「評価・面談制度の構築」	1人
1月11日(木)	京丹波福祉職場応援プロジェクト キャリアアップ研修「メンタルヘルス」	1人

(2) 内部研修

居宅介護部全体研修

開催日	内 容	参加
6月29日(木)	居宅介護部研修（第1回 防災学習） 「事業所職員の災害対応と“社協職員”として大切にしたい視点」	2人
9月21日(木)	居宅介護部研修（第2回 防災学習） 「台風接近！何が不安？土砂災害・通行止めその時どうする？」(グループワーク)	3人

事業所

開催日	内 容	参加
4月21日(金)	接遇マナー研修	2人

利用者のできる力を住民に引き出していただくことも



花壇作り活動

② 地域福祉の推進を意識した事業所運営

地域福祉の推進としては、“地域に開かれたやぎ詩の郷”となるよう、地域住民との信頼構築に努めた。うどん作りや地域交流会（防災グッズ作り）など、新たな行事を企画し、多くの地域住民の参加につなげることができた。

ボランティア活動の場としての機能強化にも力を入れ、現在では毎月、個人やグループ（さくらんぼさん・みんなのゲームさん）など、延べ10人～多い時では25人程の来訪がある。少人数デイサービスであり、家庭的な雰囲気が高評価で、“詩の郷から活動スタート”と、ボランティアの入り口と位置付ける方も多く、ボランティア活動成長の一躍も担えたと考えている。

運営推進会議（年2回）開催や、ネットワーク会議参加などにより、やぎ詩の郷の機能や役割の理解を広げていくことができた。次年度は、地域住民と一緒に認知症サポーター養成研修を企画するなど、地域の認知症支援に積極的に取り組んでいきたい。

事業経営の面では、目標に掲げている稼働率（1日あたり利用定員充足率）80%には及ばなかったが、前年度に近い延べ利用者数は確保している。今後も、家族介護者や介護支援専門員の要望には真摯に向き合い、セーフティネットとして困難事例も積極的に受け入れる事で、“やぎ詩の郷”の信頼度を上げ、“選ばれる事業所＝安定経営”につなげていきたい。

(1) 地域交流の取り組み

開催日	内 容	参加
7月21日(金)	ふれあいネットワーク会議	2人
8月24日(木)	体験教室（うどん作り）	28人
9月12日(火)	ふれあいネットワーク会議	1人
9月15日(金)	ふれあいネットワーク会議	1人
9月28日(木)	地域防災講座（身近な日用品で防災グッズづくり）	18人
10月 6日(金)	地域別懇談会	1人
3月15日(木)	家族交流会	8人

(2) 実習生受入 …… 社会福祉士実習生：1名(10/2～11/1)



うどん作り



地域防災講座

③ 家族介護者支援の強化

家族介護者支援としては、家族交流会を開催しリフレッシュできる機会作りを行った。また緊急時や延長など個々のニーズに柔軟に対応し、介護者の休暇や休息を支援する機能強化にも努めた。一方で、専門職として介護力の限界を見極めることにも力を入れ、介護者に寄り添い、適切な助言なども行うことができた。

5. 小規模多機能型居宅介護事業

〈事業所〉 小規模多機能ホーム だんない

[介護保険]

【今年度スローガン】だれもが住み慣れたなじみの場所で暮らし続けられる地域づくりをめざして

【今年度達成目標】利用登録定員充足率 80%以上

【目標達成状況】目標利用登録数 = 25 人 × 80% = 20.0 人

事業所	利用登録定員	今年度利用登録者数 (月間平均)	今年度 利用登録定員充足率	目標達成率
小規模多機能ホーム だんない	25 人	19.6 人	78.40%	98.00%

① 地域に密着したサービスの提供

地域密着型事業所の役割として、恒例の行事となった夏祭りでは、学生ボランティアの協力もあり、今まで以上に活気づいたものになった。ただ近隣住民には多数お越し頂いたものの滞在時間が短く、「利用者と交流を図り、事業所の役割を理解して頂く」という目的はあまり果たされていない。他には区民運動会への参加、地元の朝市での買い物などの機会を通して、一部近隣住民と事業所、利用者の交流を図れた。

年間を通して、小規模多機能型居宅介護の特徴を活かし、通いを中心に宿泊・訪問を組み合わせ、馴染みの関係で利用者が生活できるようなサービスの提供に努めた。しかし、事業所が提案する本人の状態に応じたサービスと、本人・家族の希望するサービスが異なることがあり、在宅支援に適切なサービスの調整に苦慮することがあった。

そのような中でも、家族との信頼関係は構築されてきており、話し合い、折り合いをつけながら、納得できるようにサービスを調整することができた。また、利用者の体調不良、家族の急用、気象による災害の危険が予測される事態での緊急の宿泊利用等では、柔軟に対応を行った。

結果、退所者 6 名・新規登録 6 名と変動がありながらも、年間を通してほぼ 20 名の登録利用者数を維持し、安定させることができた。

次世代の担い手事業（職場体験学習）では、園部第二小学校から見学と体験実習を合わせて 4 日間、延べ 14 名の児童を受け入れた。これらの児童らから感謝の手紙が届き、学習発表会では、この経験をもとに認知症の方に対する関わり方について発表を行い、児童らの認知症についての理解が深まったと報告を受け、次世代の担い手事業での成果が確認できた。

(1) 地域交流の取り組み

開催日	内 容	参加	
5月18日(木)	運営推進会議	運営推進委員	11人
5月24日(土)	ぼぼたん音楽会	詩の郷利用者	1人
6月24日(水)	絵手紙教室	園部町民生委員(女性部)	21人
7月13日(木)	運営推進会議	運営推進委員	10人
7月29日(水)	だんない夏祭り	近隣住民	多数
9月10日(日)	内林地区運動会	だんない利用者	3人
9月14日(木)	運営推進会議	運営推進委員	11人
10月 4日(水)	地域ケア会議	だんない職員	1人
10月17日(水)	次世代の担い手事業(取材)	園部第二小学校4年生	7人
10月24日(火)	次世代の担い手事業(実習)	〃	4人
10月26日(木)	次世代の担い手事業(実習)	〃	3人
11月16日(木)	運営推進会議	運営推進委員	9人
11月28日(火)	次世代の担い手事業(園部第二小学校 報告会)	だんない職員	1人
12月 2日(土)	オープンデイ [人形劇サークル赤とんぼ]	詩の郷利用者	8人

1月11日(木)	運営推進会議	運営推進委員	11人
1月19日(金)	内林厄神さん	だんない利用者	5人
2月27日(火)	腹話術	利用者家族	2人
3月8日(木)	運営推進会議	運営推進委員	11人

(2) 実習生の受け入れ

受入日	受入先	内 容	受入
5月10日(月)	亀岡清泉荘	小規模部会職員交換研修	1人
5月12日(金)	新町小規模多機能ホーム	〃	1人
5月29日(月)	亀岡清泉荘	〃	1人
6月15日(木)	南丹看護専門学校	看護実習	1人
6月21日(水)	南丹看護専門学校	看護実習	1人
9月9日(土) ～10月28日(土)	日本福祉大学	社会福祉士実習 [6日間]	1人
11月22日(水)	南丹看護専門学校	看護実習	1人
3月29日(木)	明治国際医療大学	看護実習	1人
3月30日(金)	明治国際医療大学	看護実習	1人

(3) 年間行事

月	行 事	月	行 事
4 月	お花見・人形祭り、 お花見弁当	10 月	コスモス園見学、るり溪収穫祭、 日吉温泉足湯、誕生会
5 月	端午の節句・菖蒲湯・柏餅作り、 鯉のぼり見学、 バラ園見学	11 月	嵐山・トロッコ列車日帰り旅行、 回転寿司とコメダ珈琲、菊花展、 日吉温泉足湯、紅葉ドライブ、誕生会
6 月	美山外出と外食、誕生会、 ぽぽたん音楽会、紫陽花見学	12 月	クリスマス会、人形劇、 餅つき、ゆず風呂、しめ縄作り
7 月	七夕会、蓮見学・誕生会、 夏祭り	1 月	初詣、おせち料理、すき焼き、七草粥、 小豆粥、初釜、厄神さん、誕生会
8 月	声楽家の歌声・音楽鑑賞、 流しそうめん、納涼祭	2 月	つくし園と交流会、節分祭、 腹話術、避難訓練、誕生会
9 月	内林地区運動会、つくし園交流会(芋ほり)、 敬老祝賀会(日本舞踊と手作り松花堂弁当)、 彼岸花鑑賞、誕生会	3 月	ひな祭り、お彼岸ぼた餅作り、 ゆるはぐ体操、 梅の花見、誕生会

※誕生日会：利用者の希望に合わせ、食事メニューを手作りし、お一人ずつのお祝いをする。

※創作活動：陶芸（箸置き）、カレンダー作り、季節のモニュメント作りを実施。
(今年度初めて内林の文化祭に作品を出展)

※農 作 業：季節の野菜を作り、調理に使った。玄関のプランターに花を植えた。



クッキー作り



帝釈天に初詣



流しそうめん

③ 職員の資質の向上

サービスの質及び職員の資質向上に向けての取り組みとして、積極的に研修に参加し自己研鑽に努めた。自主的に時間を作って研修に参加する職員が数名あり、仕事に対する姿勢、意識が高まった。新たな取り組みとして、南丹市・亀岡市の小規模多機能型の事業所間で、職員の交換研修を行い、サービスについて情報を共有した。その中で手洗いうがい等、他事業所の参考になった取り組みは早速実践し、業務改善に努めることができた。

(1) 外部研修

開催日	内 容	場 所	参加
4月29日(水)	京都府認定調査員初任者研修	京都平安ホテル	1人
4月20日(木)	ステップアップ研修～介護力を磨こう	京都中部 総合医療センター	2人
5月10日(水) ～10月 3日(金)	市町村社協新任研修 [3日間]	こども未来館	1人
5月23日(火)	小規模多機能の管理運営・ ケアマネジメント業務のポイント	ウイングス京都	1人
6月29日(木) ～ 8月 8日(水)	京都府介護支援専門員実務経験者 専門研修(課程Ⅰ) [6日間]	京都テルサ	1人
8月18日(金)	社会福祉主事研修(自主研修)	横浜	1人
8月24日(木)	防火管理者研修	勤労福祉会館	1人
8月25日(金)			1人
9月 6日(水)	社会福祉主事研修(自主研修)	横浜	1人
9月 7日(木)			1人
8月29日(水)	感染予防リーダー養成研修	南丹保健所	1人
9月28日(木)			1人
10月20日(金)			1人
9月 6日(水)	京都府介護支援専門員実務経験者専門課程Ⅰ	ハートピア京都	1人
9月 7日(木)			1人
9月10日 ～9月15日	社会福祉主事研修(自主研修)	横浜	1人
9月29日(金) ～12月 5日(火)	キャリアアップ研修(初任者) [3日間]	京都社会福祉会館	1人
11月 8日(水)	福祉職場新規採用職員交流会	南丹市国際交流会館	1人
11月22日(火)		丹波自然運動公園	1人
11月28日(火)	京丹波福祉職場応援プロジェクト キャリアアップ研修 「指導職研修」	南丹市国際交流会館	1人
1月24日(水)	京丹波福祉職場応援プロジェクト キャリアアップ研修 「介護記録の書き方」	南丹市国際交流会館	1人
2月15日(木)	福祉サービス苦情解決事業 相談研修会	キャンパプラザ京都	1人
3月10日(土)	第8回なんたん在宅医療連携研究会 「介護保険サービスさえあればいいと思いませんか」 事例検討	京都中部 総合医療センター	2人
3月20日(火)	介護報酬改定説明会	京都国際会館	1人

(2) 小規模多機能部会

開催日	内 容	場 所	参加
4月17日(月)	今年度交換研修について	亀岡清泉荘	1人
5月12日(木)	職員交換研修	亀岡清泉荘	1人
5月15日(木)	職員交換研修	新町小規模多機能ホーム	1人
5月15日(木)	職員交換研修	はぎの里ふれあいホーム	1人
6月15日(木)	ケアマネ業務について	篠まごころホーム	1人
7月10日(月)	管理者業務について	はぎの里ふれあいホーム	1人
8月29日(月)	職員交換研修	新町小規模多機能ホーム	1人
9月12日(火)	レクレーション	だんない	1人
10月20日(金)	職員の資質向上に向けた取り組み	三愛の里うつね	1人
11月14日(火)	訪問について	篠まごころホーム	1人
2月23日(金)	介護保険改正について	はぎの里オアシス	1人

(3) 内部研修

居宅介護部全体研修

開催日	内 容	参加
6月29日(木)	居宅介護部研修(第1回 防災学習) 「事業所職員の災害対応と“社協職員”として大切にしたい視点」	2人
9月21日(木)	居宅介護部研修(第2回 防災学習) 「台風接近!何が不安?土砂災害・通行止めその時どうする?」(グループワーク)	3人

事業所

開催日	内 容	場 所	参加
4月23日(日)	社協職員全体研修	ゆうゆう日吉	1人
4月29日(木)	認知症ケアについての〇×クイズ	だんない	11人
9月28日(木)	「感染症予防」についての伝達研修	だんない	11人
10月30日(木)	伝達研修:「コミュニケーションと伝達」 自己評価・サービス評価	だんない	10人
11月 9日(木)	健康講座	八木事務所	1人
11月30日(木)	防災マニュアル作成のためのグループワーク サービス評価について読み合わせ	だんない	11人
12月28日(木)	防災マニュアル作成のためのグループワーク サービス評価総括表について	だんない	13人
2月22日(月)	介護保険制度について(課長)	だんない	11人

④ 広報活動の活発化と安定した事業経営

「認知症安心サポート窓口」での問い合わせ、相談は数件あり丁寧に対応を心掛けた。新たな取り組みとしては、涼やかスポットを設け近隣住民にお知らせをした。来年度は、早めに周知して、施設を地域住民に利用して頂き、交流の機会を増やせるように努力したい

ヒヤリハット事故報告については、前年同様、月別、時間別にグラフにしてまとめ、それに基づき職員に対して、注意自覚を促した。

安定した事業所運営のため、月ごとの必要経費を全職員に示した結果、1ヶ月にかかる費用を各自自覚し、節約に努めた。

自立支援の部

総 括

今年度は、障がい福祉部門である自立支援部としてスタートしてから2年が経過し、これまでの支援の方法を検証しながら各事業所でよりよい支援に向けて改善を図るため、協議検討を重ねた1年であった。職員が利用者に寄り添い、高い意識で持って真摯に取り組んだ結果、環境の改善を図り、利用者の障がい特性にあった空間の提供や新たな設備を導入して効率的な作業ができるように努めた。従来からの支援を見直し、利用者の真のニーズに応えられるよう必要なサービス提供を行った。

就労継続支援B型・生活介護事業では利用者の生活が少しでも豊かになることを日々考えて、就労支援事業の収入増に向けて努力をした。自主事業の品質向上に取り組み、幅広く広報することに力を入れ、新しいことにもチャレンジしてきた。

児童への支援では、療育を必要とする児童の受け入れを抜本的に見直し、より多くの児童を受け入れられる体制に変更したことで、待機児童をなくした。一方で、多くのニーズを受入れるにはハード面やソフト面の課題も残った。

相談支援分野では、個別ケースの支援に関係者とチームを組んで対応することで、利用者の障がい特性を関係者が共通理解することができ、年齢に応じた将来につながる支援の大切さを感じた。また、障がいがあり社会参加の機会が少ない方の居場所であって、新たな社会参加に向けたステップとしての役割を担う地域活動支援センターの存在も大きく、地域住民ともふれあう場にもなった。今後は、自立支援部門の各事業所でも、さらに誰もが共に暮らせる地域づくりに参画していきたい。

福祉人材不足が叫ばれる中、職員一人ひとりが、心身ともに健康で働くことへの意欲を持ち続け、利用者と一緒に成長できるような職場環境となる事業所運営に努めた。それぞれの事業所で、各職員が技能を磨き良質な支援を行うために、積極的に研修を受講し研鑽に励んだ。また、専門的な学び合いができるように、職員を講師として部門内で職員全体研修も実施した。

今後も、地域で暮らす障がい者の生活の質の向上と自立の支援に、社協が経営する事業所として、行政をはじめ関係機関と緊密な連携を図り、誰もが安心して暮らせる地域社会となるように努めていきたい。

1. 地域活動支援センター

それぞれの事業所の地域性を活かし、障害特性や個別性を重視し、社会参加を応援する場所として、地域活動支援センターの役割を果たせるように努めた。必要時には関係機関と連携、相談等をして支援を行った。常に、心穏やかに過ごせる居場所として様々な取り組みを行い生活の質の向上を目指した。生活困窮者の支援については、現状では実質ごくわずかな利用となった。今後も、より親しみやすいセンターとして、社会活動の支援を行っていききたい。

① そよかぜ八木

※利用登録者数 …… 26 人(前年度 : 26 人)

※1日あたり平均通所者数 …… 8.0 人(前年度 : 7.8 人)

ご利用者が安心して過ごせる場所として、それぞれの過ごし方を尊重し利用していただくことができた。活動については、地元住民とのつながりの場所として、利用者を始め地域の方やボランティアの方が参加しやすいように、行事や創作活動を実施した。

行事では、創作活動の作品を秋の文化祭に出展し利用者の皆さんの意欲向上につなげている。外出ができてにくい方への支援として定期的に楽しみを持ってもらえる企画も行った。

また、関係機関との連携により社会参加や必要に応じて専門機関につなげることができた。

② そよかぜ日吉

※利用登録者数 …… 22 人(前年度 : 24 人)

※1日あたり平均通所者数 …… 5.7 人(前年度 : 4.0 人)

今年度は日々の利用人数が増えたことにより年間を通して利用者が増加した。外出活動やプログラムの工夫、ティータイム等の実施によって参加しやすくなったと感じている。

また、開所以来初めて消防署のご指導をいただき、利用者と職員合同で避難訓練を実施した。安全に避難誘導をすることや、通報訓練、消化器取扱訓練を行ったことで防災意識が高まった。

前年度に引き続きオープンカフェを年間2回開催し多くの参加者で賑わった。地域との交流が充実した一年となった。

③ そよかぜ美山

※利用登録者数 …… 27 人(前年度 : 30 人)

※1日あたり平均通所者数 …… 11.0 人(前年度 : 10.7 人)

作業所通所者の利用が多い現状ではあるが、休み時間の静養や休息を目的にした居場所となっている。地域では社会参加ができてにくい方の第一歩の場所として市の相談員と連携し利用につながったケースもあった。

創作活動では、特に絵画教室で講師に指導いただき四季を感じる絵画に取り組み、利用者それぞれ個性のある作品を全体に一体化して大作ができ上がった。

また、必要な方には送迎ボランティアの活用をしていただくことで参加の機会が増えた

④ 活動の状況等

(1) 活動状況

プログラム	開催頻度		内 容
そよかぜ土曜日	定 期	月 1 回	昼食作り・レクレーション等
オープンカフェ	定期／不定期	月 1 回／年数回	お菓子や飲み物を食べながら交流
フリーサロン	不定期		
なんでも相談	定 期	月 1 回	障害者相談員が相談に応じる
カラオケ	定 期	月 1 回	カラオケを楽しむ
DVD 鑑賞	定 期	月 1 回	映画や娯楽の鑑賞
お出かけ	定期／不定期	月 1 回／年数回	リフレッシュを図る。
脳トレ	定 期	月 1 回	計算・塗り絵
調理実習	定期／不定期	月 1 回／年数回	自立生活力を高める

※全体の総括のため、事業所により内容、回数等違いがあり。

(2) 会議の状況

- 地域活動支援センター職員会議 月 1 回
- 南丹市地域活動支援センター会議 月 1 回

(3) 主な職員研修

開催日	内 容	参加
10月31日(火)	傾聴力トレーニング〈入門編〉 ～ 傾聴力のある援助者になるために～	3人
11月27日(月)	福祉職場におけるケース記録の書き方セミナー ～事実と判断を区別した書き方・使い方～	2人

2. 相談支援事業

① つくし園（障害児相談支援事業）

相談支援事業を児童と大人の方と共に情報共有をしながら支援に努め、児童の将来を踏まえての継続した支援の必要性を感じた。相談体制が充実し個別ケースの検討も迅速に行えた。

就学前の児童については、児童発達支援事業（つくし園）との連携で療育の相談や個別支援ができやすい環境にあるが、一方で、学童については、サービス事業所が多数ある中で新しい社会資源に結びつけるのに苦労を感じたが、実現したケースもあった。

継続課題としては、福祉と教育の架け橋となるような働きかけが今後必要であると感じる。相談支援専門員だけで、課題解決ができることではないので関係者との密な連携が必要である。

利用状況

	就学前利用児	学童利用児	サービスの種類
利用者数計	21 人	20 人	・ 児童発達支援（就学前） ・ 放課後等デイサービス（就学後） ・ 保育所等訪問支援（就学前・後）
男 子	20 人	15 人	
女 子	1 人	5 人	

② てのひら（特定相談支援事業）

課題を抱えた利用者については、継続的に関係者とチームを組んで支援を行ったことで生活の改善や社会とのつながりができた。

チームでそれぞれの役割を持って支援ができるように、相談員として関係機関との連携、情報共有が重要となり、必要に応じてケース会議を開催した。特に、基幹相談支援センターの相談員のサポートで困難ケースの対応も行うことができた。

今後も必要とする支援やニーズに対応できるように、専門職としてさらにスキルアップしていきたい。

利用状況

	身体障害	知的障害	精神障害	高次脳機能障害	難病	合計(※重複除く)
利用者数計	17人	38人	15人	1人	1人	64人
男 性	9人	20人	8人	1人		34人
女 性	8人	18人	7人		1人	30人

※重複障害：8人 / 65歳以上：6名（介護保険サービス併用利用者は1名） / 京都市：8人

※市の委託事業として**障害児・者一般相談**を実施し、サービス利用前の相談や生活面、社会参加への対応等を行っている。

③ 共通項目

両事業については、今年度からより連携を強化するために毎月情報共有の会議を行い、支援の状況やケースの協議を行うことができた。

職員が現任研修を受講し、日々の業務の見直しとなったことや専門的な視点に再度立ち直すことでスキルアップの機会となった。

今後も利用者支援に活かせるように研修等で学び職員間でも成長に努めていきたい。

④ 会議・研修等

(1) 会議の状況

職員会議 月1回

南丹市相談支援事業所連携会議 2ヶ月 1回参加

(2) 主な職員研修

開催日	内 容	参加
7月20日(木) 8月 8日(火) 8月 9日(水)	京都府相談支援従事者現任研修	3人
9月 5日(火)	相談支援事業所情報交換会（北部）	3人
12月25日(月)	虐待の防止とケア向上を考える研修会	1人

【今年度スローガン】 小集団の中で、一人ひとりにあった療育を行うとともに、その子の笑顔を引き出し、“やる気（意欲）”と“自信”をつけ、自分らしく生活する力を育てる

① 児童発達支援（療育）

つくし園を希望する保護者や子どもたちの思いに迅速に対応できるよう日々努めてきたが、平成 28 年度後期には、希望者の増加に伴い待機児童が出てしまった。

平成 29 年度からは、これまでの 10 時から 14 時までの療育時間を改正し、1 日 2 クラス開設していたところを、2 部制にし、午前・午後と 2 クラスずつ増設することで 1 日 4 クラス開設することとした。クラスを増設したことで待機児童を出すこともなく、保護者や子どもたちの思いに対応することができた。

一方で、利用を希望される方が年々増加していることを考えると、待機児童を出さないようにするためには、今以上にクラスを増やさなければならないことになるが、療育を行う場所の限界、指導員の不足など新たな課題に直面している。

また、開設時間の変更に伴い就労されている保護者においては午後からの送迎が困難という問題もあり、療育支援輸送サービスの内容を、療育後つくし園から並行通園先に送り届けるだけでなく、療育前に並行通園先に迎えに行く等サービスを拡大した。利用児の並行通園先が南丹市 4 町全域にあるため、決められた時間内に送迎するためには、車両不足・運転職員不足・添乗員不足の課題が残っている。

② 保護者支援・家族支援

親子療育後の談話や、個別面談、5 者面談など保護者と会話できる様々な機会において、つくし園での様子をきめ細やかに伝えるよう心がけてきた。

また、保護者が主体となって組織する「家族の会」も重要な役割を果たしていると考えている。毎年 11 月上旬に行われる『家族の会交流会』には親子全員で 100 名を超え特に父親の参加が多かったことに喜びを感じた。家族みんなでゆっくり参加できる場として楽しみにされている方が多いこともあり、今後も家族の交流の場として継続していきたいと思っている。

③ 学童期の支援

学童期の支援については『支援ファイル』『移行支援シート』の活用が定着しつつあり、子どもの特性やつくし園での支援等の連携の機会が増えた。

学校生活の支援だけでなく学童保育・放課後等デイサービス等、子どもたちが生活する様々な場面で関わっていただく方との連携が行えるようになってきたことは、子どもたちの過ごしやすさ、生きやすさにつながっていくようでうれしく感じている。



④ 保育所等訪問支援事業

振り返ると、保育所訪問支援事業の内容が少しずつ理解されてきたように感じられる。保育所・幼稚園への訪問は連携しやすくなってきたが、小学校に関しては保護者からの依頼があるにも関わらず訪問に結びつかないケースもあった。

その理由としては、双方の時間調整の難しさがあり実現に至らないこともある。事業所としてももっと積極的に関わっていく必要があると考えている。各学校には支援コーディネーターの方の配置もあるので、どのような形で幼児期に支援してきた内容や方法を連携することが望ましいのか今後関係者と協議していきたい。

⑤ 通所の状況・活動の状況等

(1) 通所状況

年度	登録児数	利用実人数	延べ利用数	1日平均
前年度	47人	43人	137人	6.9人
今年度	62人	60人	189人	9.9人

(2) 送迎利用児状況

年度	療育支援輸送事業(人)					つくし園送迎(人)				
	園部	八木	日吉	美山	合計	園部	八木	日吉	美山	合計
前年度	6	3	1	0	10	3	2	2	0	7
今年度	16	10	4	2	32	5	3	2	2	12

(3) 主な活動状況

開催日	内 容	場 所
4月 5日	はじまりの会	子育て発達支援センター 多目的ルーム (大)
5月25日	南丹市子育て発達支援センター 運営会議	市役所4号庁舎
5月19日、 6月 2日・ 5日・ 6日 [4日間]	年中児・年長児外出活動 船岡駅発 → 園部駅 → 亀岡駅 → (コミュニティバス) → ガレリアかめおか	ガレリアかめおか
7月25日	丹波支援学校より療育見学及び連携	子育て発達支援センター つくし園 療育室1
9月 5日・25日、 10月12日、11月 3日、 12月 1日	家族の会懇談会及び交流会	旧川辺小学校 ランチルーム 体育館
9月 8日	だんない交流会 (芋ほり・交流)	だんない
2月 2日	だんない交流会 (豆まき)	子育て発達支援センター 多目的ルーム (大)

(4) 会議の状況

開催日	内 容	場 所
4月 4日(火)	職員会議 (平成29年度開始に向けて)	つくし園 職員室
4月11日(火)	職員会議 (年中・年長児外出活動打ち合わせ)	つくし園 職員室
5月25日(木)	南丹市子育て発達支援センター 運営会議	市役所4号庁舎
7月13日(木)	職員会議 (後期受け入れ枠確認)	つくし園 職員室
8月 7日(月)	後期療育連携会議 (子育て支援課・社会福祉課・つくし園連携)	子育て発達支援センター
8月31日(木)	職員会議 (後期受け入れ態勢の確認)	つくし園 職員室
11月21日(火)	後期療育連携会議 (子育て支援課・社会福祉課・つくし園連携)	子育て発達支援センター
2月28日(水)	職員会議	つくし園 職員室
3月 6日(月)	丹波支援学校連携 (総括)	丹波支援学校
3月13日(火)	南丹市子育て発達支援センター 運営会議	市役所4号庁舎

(5) 主な職員研修

開催日	内 容	参加
7月24日(月)	京都府小児・障害児者リハビリテーション従事者研修会	1人
8月24日～ 8月30日	京都府相談支援従事者初任者研修 [3日間]	1人
8月31日～ 9月13日	京都府相談支援従事者初任者研修(演習コース) [3日間]	1人
9月 2日(土)	発達障害専門職研修(基礎理論研修)	1人
11月15日～11月29日	キャリアアップ研修 [3日間]	3人
3月15日(木)	虐待防止研修	1人

4. 就労継続支援B型・生活介護 多機能型事業 < あじさい園 >

【今年度スローガン】一人ひとりの思いに寄り添い、利用者と地域の明るい未来を担える施設へ
～ 利用者第一を基本に、敬愛の心をもって職員一丸となる ～

① 就労継続支援B型事業

就労継続支援B型事業では、ど・丹波クッキーの販売戦略を見直すため再度プロジェクトを立ち上げ、パンフレットなどのリニューアルを実施した。

また利用者の就労を目指すための基礎学習としての「はあとふるカレッジ」に1年を通して通うことであじさい園の就労に向けての仕組みの基礎を構築できた。

さをりについては、南丹市米寿記念品、成人式記念品を受注し、例年通りの成果であった。引き続き工賃向上につながる仕事や、利用者の特性に適した作業の開拓は大きな課題である。

② 生活介護事業

生活介護事業では、これまで同様、作業を通して集中する力、自身の役割が自信につながるよう支援を行った。一方で年齢や障がい特性の変化などで、通所そのものが難しくなり始めた利用者が増え、少しでも穏やかに過ごせるよう、一定のレイアウトの変更を実施した。また月1回のミュージックケアを継続し、発語に課題がある利用者にさらなる積極的な自己主張が出るなど、機能面の向上に成果を上げた。

③ 両事業共通事項

今年度は日帰り・宿泊旅行がない年度でもあったが、頻回にレクリエーションや学習会を実施し、利用者も充実した1年を過ごせたと評価できる。

また工賃の面では、3名の利用者が増えたことで授産収入の確保に努力をしたが、工賃の対象となる繰越金を配分できたことで例年並みの額が維持できた。

また、京都府の実地指導を受けたことにより、課題が明らかとなり、運営細部においての見直しと改善が図れた。

反省材料として、あじしろはっぴいまつりに代わる、地域交流のイベントが開催できなかったことは、次年度に向けての課題である。



夏の恒例 スイカ割り

④ 通所の状況・活動の状況等

(1) 通所状況

年 度	登録人数（月平均）	利用述べ人数	通所率
前年度	31.00 人	6,157 人	83.80%
今年度	30.02 人	6,533 人	90.35%

(2) 主な活動状況

開催日	内 容	場 所
4月26日（水）	新利用者歓迎会	あじさい園
5月21日（日）	京都府スポーツレクリエーションフェスティバル	丹波自然公園
6月 2日（金）	身障福祉会グランドゴルフ（八木）	運動公園
7月 4日（火）	4～6月お誕生会	亀山（焼肉店）
9月 2日（土）	南丹・船井母親大会	日吉町生涯学習センター
9月28日（木）	7～9月お誕生会	亀山（焼肉店）
12月19日（火）	10～12月お誕生会	ダイコクバーガー
1月26日（金）	もちつき大会	あじさい園
3月16日（金）	1～3月お誕生会	亀山（焼肉店）

(3) 会議の状況

開催日	内 容	参加
4月 6日（木）	家族会	全常勤職員
4月18日（火）	支援学校進路連絡会（1回目）	1人
6月18日（日）	支援学校進路連絡会（2回目）	1人
5月 9日（火） 7月19日（水） 9月13日（水）	ど丹波嵯峨大会議（全3回）	3人
5月25日（木）	中央幼児学園会議	2人
6月15日（木）	運営委員会	1人
8月 9日（水）	学大企画会議	3人
8月25日（金）	城山（作）運営委員会	1人
11月28日（火）	城山（作）運営委員会	1人
12月13日（水）	支援学校運営協議会	1人
2か月に1回	八木障害者支援ネットワーク会議	1人
月1回～随時	職員会議	全職員

(4) 主な職員研修

開催日	内 容	参加
7月20日（木） 8月 8日（火） 8月 9日（水）	京都府相談支援従事者現任研修	1人
8月25日（金）	支援学校夏季講座	1人
9月 6日（水）	音楽療法定期研修 ※職員内部研修	全職員
9月20日（水）	虐待権利擁護	1人
9月22日（金）	花ノ木学習会	2人

【今年度スローガン】きめ細やかにニーズに応え、地域に根ざした施設へ

平成 29 年度は「ひより舎」としての基盤を築き、さらなる発展に向けてチャレンジする 1 年となった。

年度初め 18 名の登録からスタートしたが、年度途中で 3 名の新規利用が加わり年度末には 21 名となった。

運営面では就労継続支援 B 型事業に 5 月から生活介護事業の指定を受け多機能型事業となったことで、さらなる支援の充実、運営の安定へとつながったことに加え、多くの行事や事業を通じてたくさんの地域の方にふれあい日ごろから支えてもらう仕組みづくりができた。



ひよりカフェ

① 就労継続支援 B 型事業

授産事業については、ひよりカフェの定着、さをり織の新規取引先としてローソン明治国際医療大学前店での販売開始、はぎの里での入所利用者を対象としたカフェの実施、旧五ヶ荘小学校での森の学び舎への参加など地域とのかかわりや販売機会が増え、利用者にとってやりがいと自信へとつなげることができた。また、下請け事業も各企業から安定して仕事をいただくことができ仕事が切れることがなかった。結果、生活介護事業と合わせ授産収入が昨年度に対し約 126% と伸ばすことができた。

支出の面では平成 29 年度から時給を実態に合わせて 160 円から 140 円へと下げたことで、毎月の工賃は、前年度の約 93% の支給額にとどまったが、全体の収入が増えたことでボーナスでの還元が 8 万円から 35 万円と大幅に増となり全体で約 12 万円の支給増となった。

今後もひより舎の柱となる安定した自主事業の立ち上げに向けて具体的に計画を進めていきたい。

② 生活介護事業

今年度 5 月より生活介護事業を開始し、対象者はよりゆったりとご自身のペースで施設利用ができるようになった。また看護師の配置により毎週の血圧測定や体重測定を実施することで、専門的なアドバイスを受けることができるようになり、日々の変化により早く気づき、ご家族の協力依頼や、他機関と連携し医療への支援へとつなげることができた。

③ 両事業共通事項

年間を通じ、ささやかな喜びを大切に作業以外のお楽しみを作るよう心掛けた。また、利用者が話しやすい環境を意識し、職員間では些細なことでも連携しあい小さな変化や声なき声にも応えられるよう意識を高めることができた。結果、利用者の病気に早期に気付くことができ、病状の改善につながった方や、不安や困りごとを聴く中で他機関と連携し利用者を守り良い方向へと導くことができた方など、日々の意識が形として見ることもできた。様々な事情で年度後半通所できない方が出たが、年間を通し安定した通所率を確保することができた。

まだ、十分な支援とは言えない点もあるが、今後も利用者から学び、より専門的な支援ができるよう努力をしていきたい。

④ 通所の状況・活動の状況等

(1) 利用者通所状況

年度	登録人数（月平均）	利用総人数	通所率
前年度	18.00 人	3,153 人	72.2%
今年度	20.08 人	3,440 人	69.1%

(2) 主な活動状況

開催日	内 容	場 所
5月16日(火)	民生委員交流会	ひより舎
5月21日(日)	京都府スポーツレクリエーションフェスティバル	丹波自然公園
9月27日(金)	お楽しみ企画「五ヶ荘小学校にローソンが来る」参加	旧五ヶ荘小学校
10月 7日(土)	はぎの里まつり	はぎの里
10月12日・13日	ひより舎 1泊旅行	彦根、雄琴、京都太秦方面
12月10日(日)	お楽しみ企画「サポートアワー鑑賞」	聖カタリナ高校
1月12日(金)	ひより舎新年会	ひより舎
1月26日(金)	あじさい園餅つき大会参加	あじさい園
月 1回	ひよりカフェ	ひより舎
年 7回	森の学び舎参加	旧五ヶ荘小学校

(3) 会議の状況

開催日	内 容	参加
6月15日(木)	運営委員会	1人
9月22日(火)	家族会	1人
12月15日(金)	運営委員会	1人
2か月に1回	日吉障害者ネットワーク会議	1人
月 2回	ひより舎職員会議	4人

(4) 主な職員研修

開催日	内 容	参加
6月29日(木)	ほっとはあと授産食品研修	1人
8月22日(火)	新規自主事業に向けての見学研修	5人
9月20日(水)	虐待権利擁護研修	1人
9月25日(月)	交通安全講習	1人
10月26日(木)	健康教室	2人
10月27日(金)	サービス管理責任者研修	1人
12月18日(月)		
12月19日(火)		
12月 6日(水)	福祉リーダー研修	1人
12月 7日(木)	対人援助研修	1人
12月14日(木)	認証セミナー	1人

6. 自立支援部門全体の取り組み

(1) 自立支援部職員全体研修

開催日	内 容	参加
9月 7日(木)	自立支援部研修 発達障害について	19人

(2) 自立支援部管理者会議 …… 月 1回 (メンバー：部長・課長・係長)

法人運営理念

すべての住民のこころが輝く福祉のまちづくり

法人運営基本方針

〔住民との福祉の共創〕

すべての住民が支え合い、学び合い、福祉活動に参加できる地域社会を目指します。

〔福祉協働社会の構築〕

地域のあらゆる機関・団体と協働し、すべての住民が、心豊かで安全に安心して暮らせる福祉のまちづくりに、計画的に取り組めます。

〔選ばれる福祉サービスの提供〕

地域に密着した支援体制の整備・開発を提言・実施し、質の高いサービスを提供します。

南丹市社会福祉協議会 サービス精神

- 一、お客様にあくまでも満足していただくサービスを提供しなければならない。
- 一、サービスは、高度で専門的でなければならない。
- 一、サービスの提供は、的確にかつ迅速・効率的に行わなければならない。
- 一、常に、お客様の側に立って、助言を与えなければならない。

南丹市社会福祉協議会 職員心得

- 一、お客様にはいつもほほえんで、その場にふさわしいご挨拶をしよう。
- 二、どのお客様にも誠心誠意をつくして、丁寧かつ好意的な言葉と態度で接しよう。
- 三、お客様の様々な質問と要求には迅速かつ的確に答え、その場で答えられない問題は、自ら責任を持って回答を得るようにしよう。
- 四、お客様からの要求がなくとも、お客様のニーズを察知することによって問題を解決しよう。